

「第2期富田林市子ども・子育て支援計画」策定のための
ニーズ調査

《報告書》

令和元年6月

富田林市

目 次

I	調査概要（就学前児童）	1
1	調査目的	1
2	調査対象・方法	1
（1）	調査対象	1
（2）	配布数・有効回収数・回収率	1
（3）	調査方法	1
（4）	調査時期	1
（5）	数値等の基本的な取り扱いについて	1
II	調査結果（就学前児童）	2
1.	お住まいの地域について	2
2.	お子さんとご家族の状況について	3
3.	子どもの育ちをめぐる環境について	5
4.	お子さんの保護者の就労状況について	7
5.	平日、定期的にご利用している施設やサービスなどについて	12
6.	地域子育て支援拠点事業などの利用について	18
7.	保育所や幼稚園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休業中の定期的な利用希望について	21
8.	お子さんが病気の際の対応について	23
9.	保育所や幼稚園などの不定期な利用や、宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	26
10.	小学校入学後の放課後の過ごし方について（現在のイメージ）	30
11.	子育てと仕事の両立支援制度などについて	35
12.	ひとり親家庭への支援や施策について	38
13.	子育てに関する情報源について	40
14.	本市の子育て支援全般について	41
III	調査概要（小学生児童）	51
1	調査目的	51
2	調査対象・方法	51
（1）	調査対象	51
（2）	配布数・有効回収数・回収率	51
（3）	調査方法	51
（4）	調査時期	51
（5）	数値等の基本的な取り扱いについて	51

IV 調査結果（小学生児童） 52

1. お住まいの地域について.....	52
2. お子さんご家族の状況について.....	53
3. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	55
4. お子さんの保護者の就労状況について.....	57
5. お子さんが病気の際の対応について.....	62
6. お子さんの一時預かりなどの利用について.....	65
7. お子さんの放課後の過ごし方について.....	67
8. ひとり親家庭への支援や施策について.....	76
9. 子育てに関する情報源について.....	78
10. 本市の子育て支援全般について.....	79

「就学前児童」のニーズ調査について

I 調査概要（就学前児童）

1 調査目的

本調査は、国の子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育や地域における子育て支援に関する事業の利用状況や、今後の利用希望などを把握するために実施しました。調査の結果は、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長できることを目的に策定する「第2期富田林市子ども・子育て支援計画」（2020～2024年度）に活用します。

2 調査対象・方法

（1）調査対象

- 調査対象：小学校就学前の児童が属する世帯

※平成31年2月1日時点の住民基本台帳をもとに対象児童を持つ世帯を無作為抽出し、ご協力をお願いしました。

（2）配布数・有効回収数・回収率

- 配布数：2,750世帯
- 有効回収数：1,288世帯
- 回収率：46.8%

（3）調査方法

- 郵送による配布・回収

（4）調査時期

平成31年3月6日～3月20日

（5）数値等の基本的な取り扱いについて

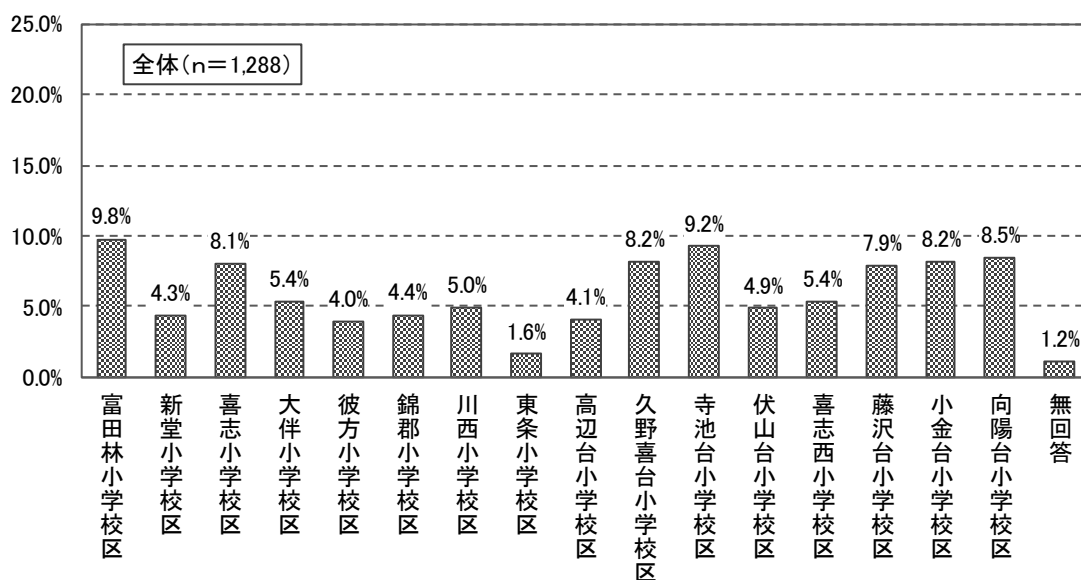
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- ・質問の終わりに【MA】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所や無回答の数値は、一部を除いて基本的に省略しています。
- ・質問の選択肢は、基本的に「」で表していますが、選択肢を2つ合わせて示す場合は“”で表してあります。
- ・時間などの数量データは、「～以上～未満」で集計してグラフを作成しています。

Ⅱ 調査結果（就学前児童）

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地域はどこか。

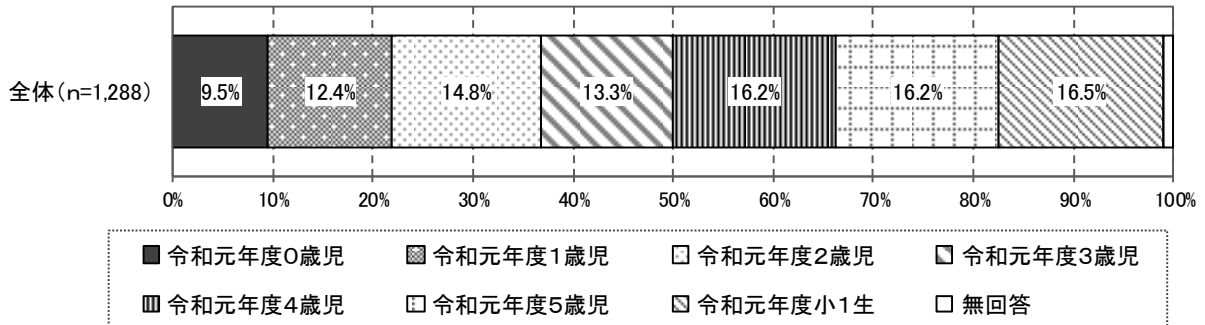
回答者の居住地は「富田林小学校区」が9.8%と最も高く、次いで、「寺池台小学校区」(9.2%)、「向陽台小学校区」(8.5%)の順となっています。



2. お子さんご家族の状況について

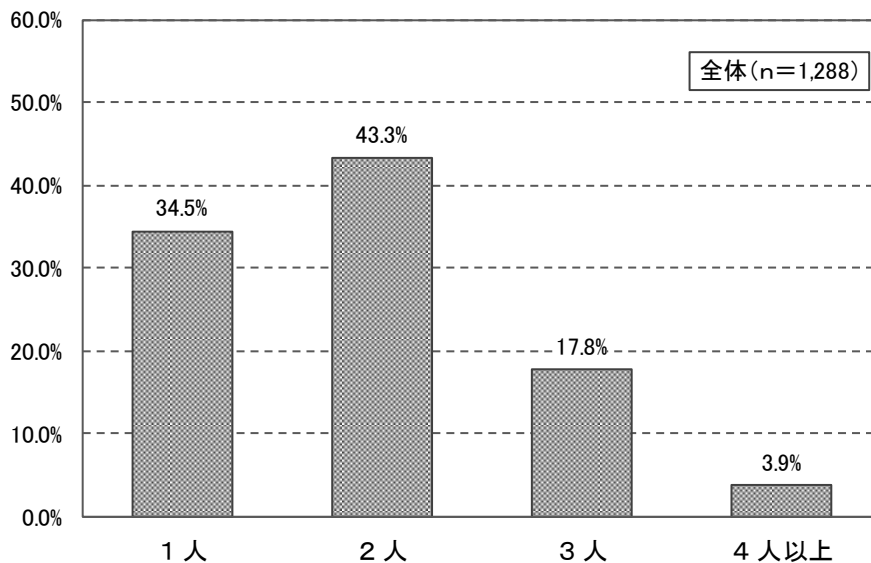
問2 お子さんの年齢区分。

「令和元年度小1生（調査時点5歳児）」が16.5%と最も高く、次いで、「令和元年度4歳児（調査時点3歳児）」・「令和元年度5歳児（調査時点4歳児）」（16.2%）の順となっています。



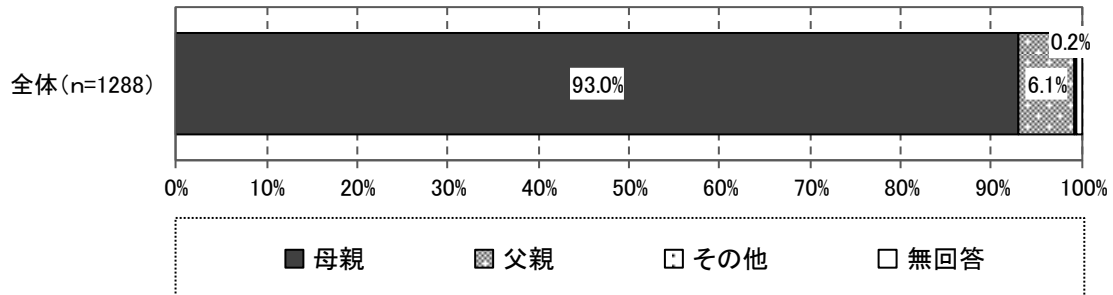
問3 お子さんは何人いるか。

「2人」が43.3%と最も高く、次いで、「1人」（34.5%）、「3人」（17.8%）の順となっています。



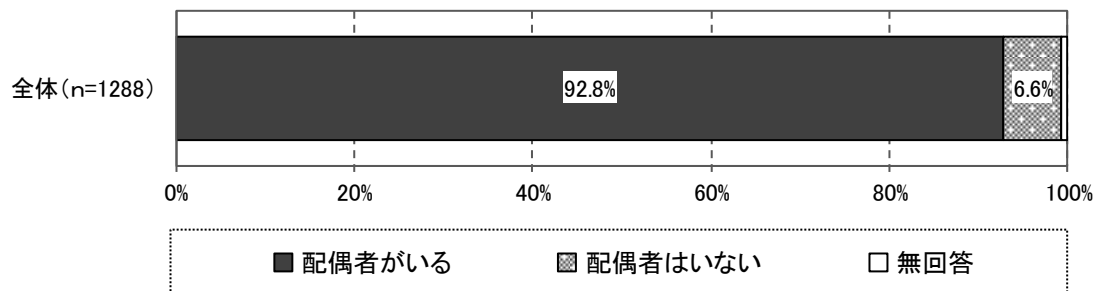
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたか。

「母親」が93.0%、「父親」が6.1%となっています。



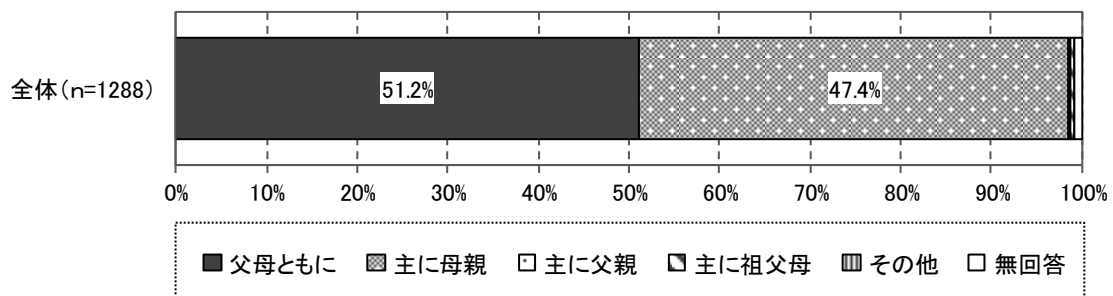
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係。

「配偶者がいる」が92.8%、「配偶者がいない」が6.6%となっています。



問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたか。

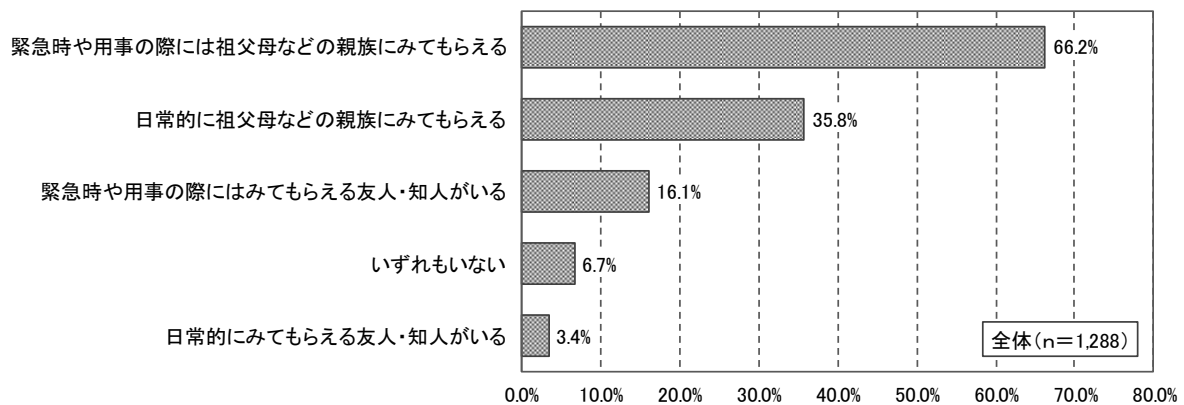
「父母ともに」が51.2%と最も高く、次いで、「主に母親」（47.4%）の順となっています。



3. 子どもの育ちをめぐる環境について

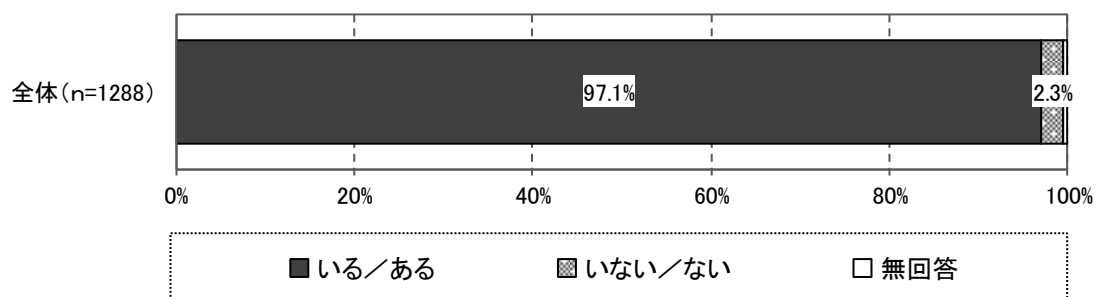
問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるか。【MA】

「緊急時や用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が66.2%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」（35.8%）、「緊急時や用事の際にはみてもらえる友人・知人がいる」（16.1%）の順となっています。



問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいるか。また、相談できる場所はあるか。

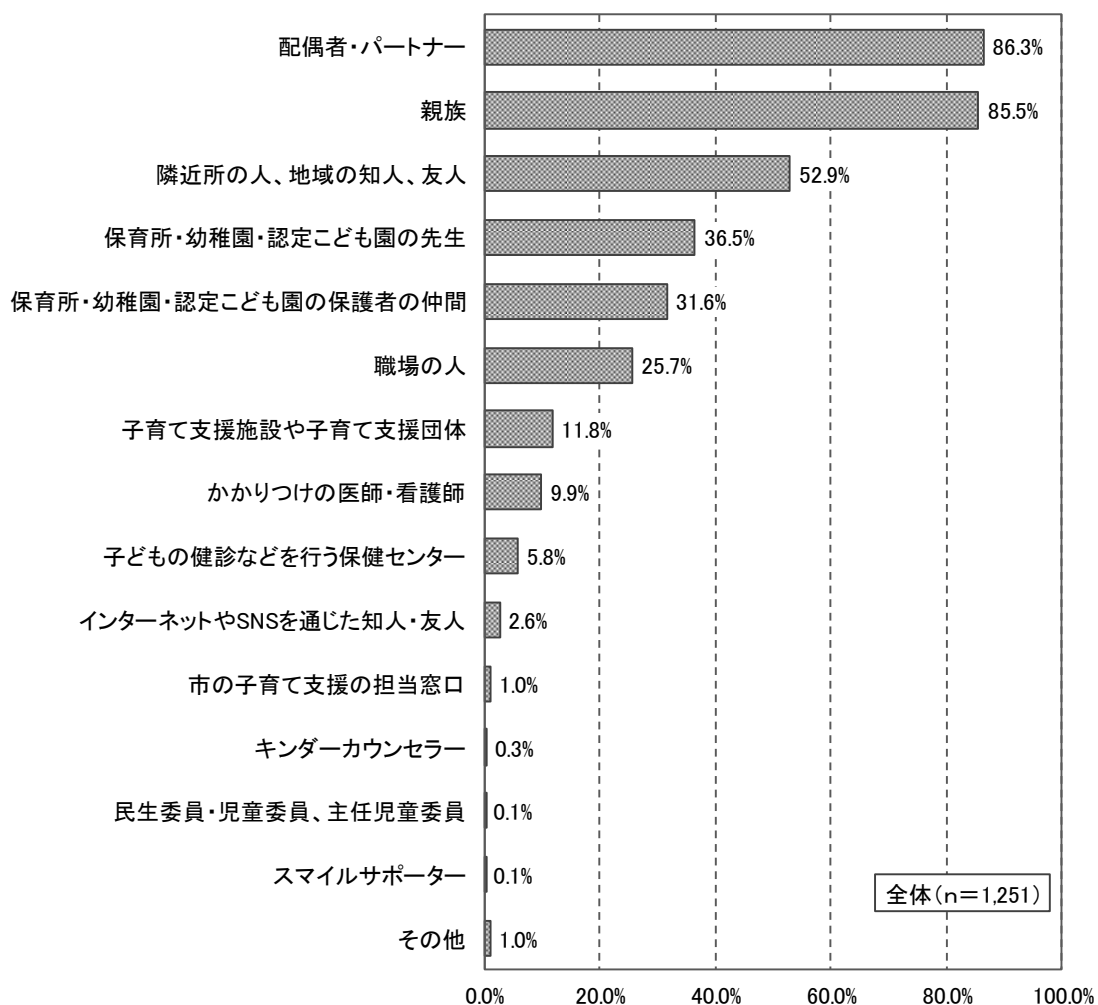
「いる／ある」が97.1%、「いない／ない」が2.3%となっています。



◆ 問8で「1. いる／ある」と回答した方。

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人（場所）は、誰（どこ）か。【MA】

「配偶者・パートナー」が86.3%と最も高く、次いで、「親族」（85.5%）、「隣近所の人、地域の知人、友人」（52.9%）の順となっています。

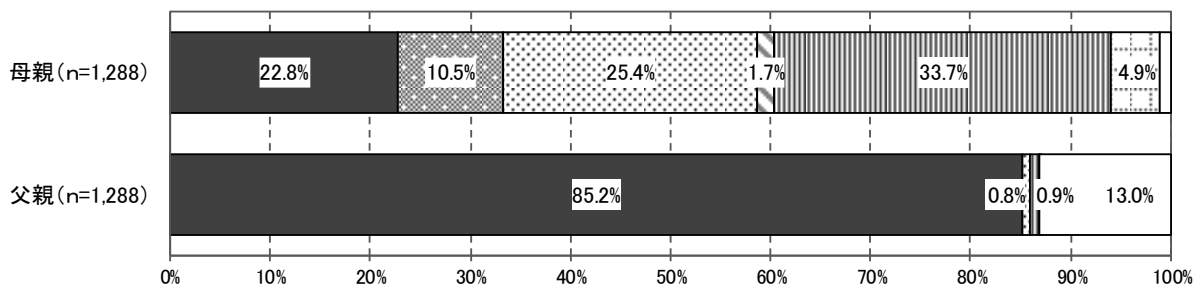


4. お子さんの保護者の就労状況について

問9及び問10 お子さんの母親・父親の現在の就労状況。

母親でみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が33.7%と最も高く、次いで、「パート・アルバイトなどで就労中」（25.4%）、「フルタイムで就労中」（22.8%）の順となっています。

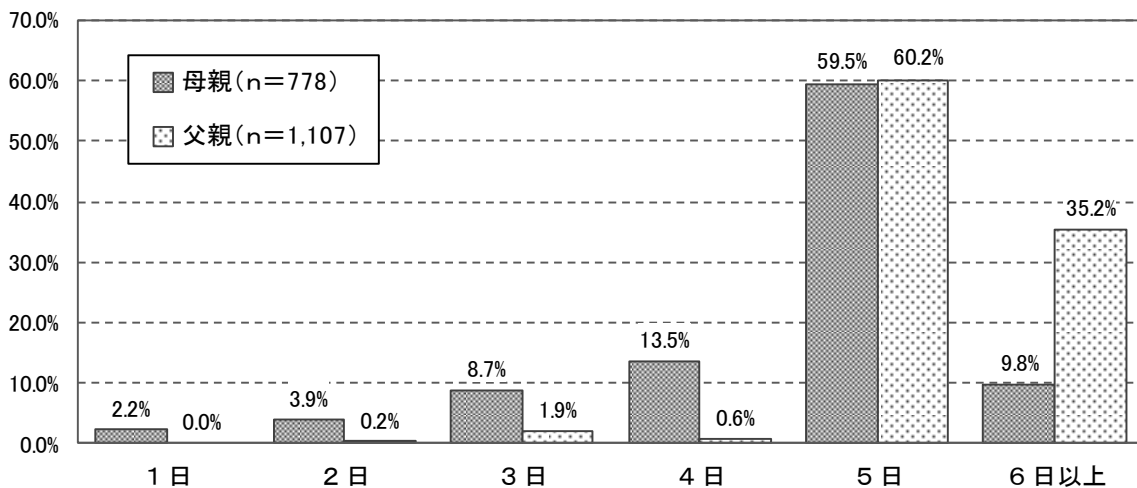
父親でみると、「フルタイムで就労中」が85.2%と最も高く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（0.9%）、「パート・アルバイトなどで就労中」（0.8%）の順となっています。



- フルタイムで就労中
- ▨ フルタイムで就労(産休・育休・介護休業中)
- ▤ パート・アルバイトなどで就労中
- ▧ パート・アルバイトなどで就労(産休・育休・介護休業中)
- ▩ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

問9-1及び問10-1 就労している方の1週当たりの就労日数。

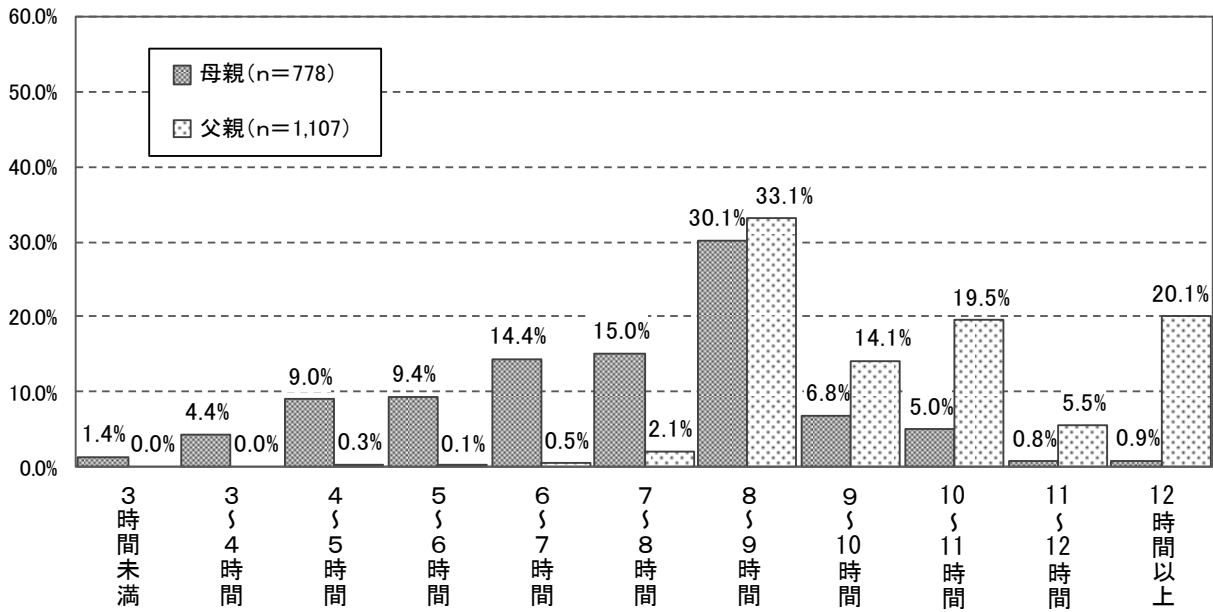
母親・父親ともに「5日」の割合が最も高くなっています。



問 9-1 及び問 10-1 就労している方の 1 日当たりの就労時間(残業時間を含む)。

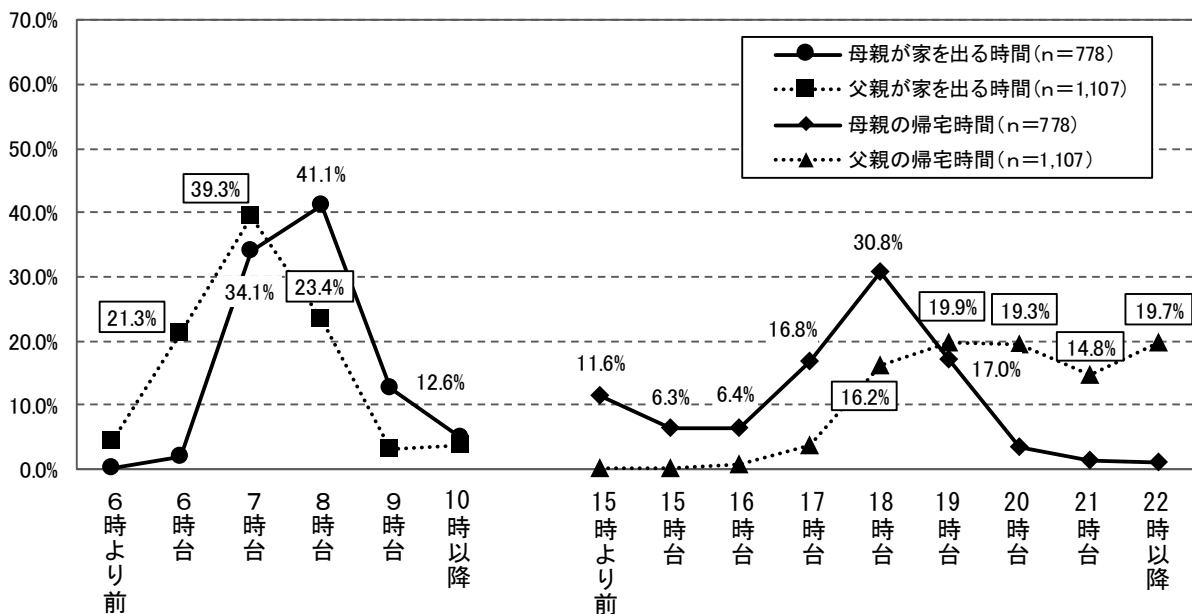
母親でみると、「8～9時間」が30.1%と最も高く、次いで、「7～8時間」(15.0%)、「6～7時間」(14.4%)の順となっています。

父親でみると、「8～9時間」が33.1%と最も高く、次いで、「12時間以上」(20.1%)、「10～11時間」(19.5%)の順となっています。



問 9-1 及び問 10-1 就労している方の家を出る時刻と帰宅時刻。

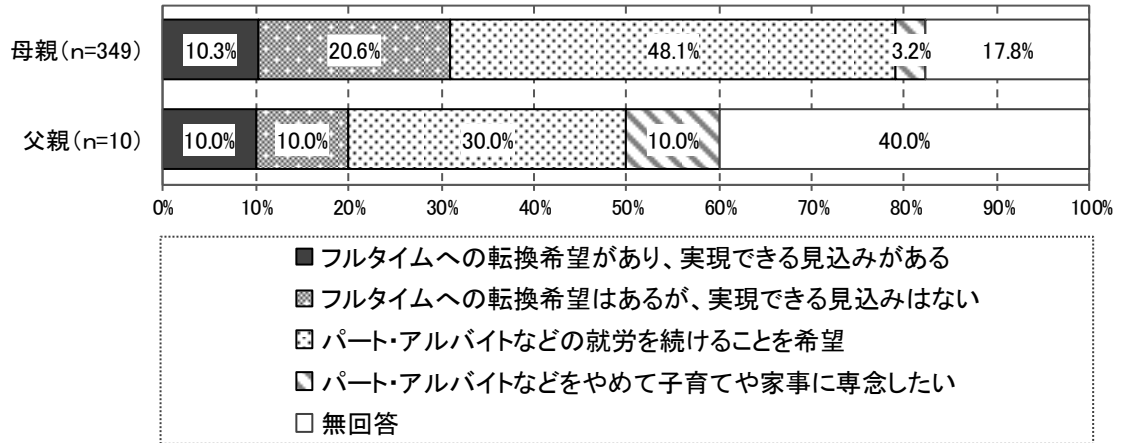
母親でみると、家を出る時刻は「8時台」、帰宅時刻は「18時台」が最も高く、父親では、家を出る時刻は「7時台」、帰宅時刻は「19時台」が最も高くなっています。



問 11 パート・アルバイトなどで就労している方のフルタイムへの転換希望。

母親でみると、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が48.1%と最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（20.6%）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（10.3%）の順となっています。

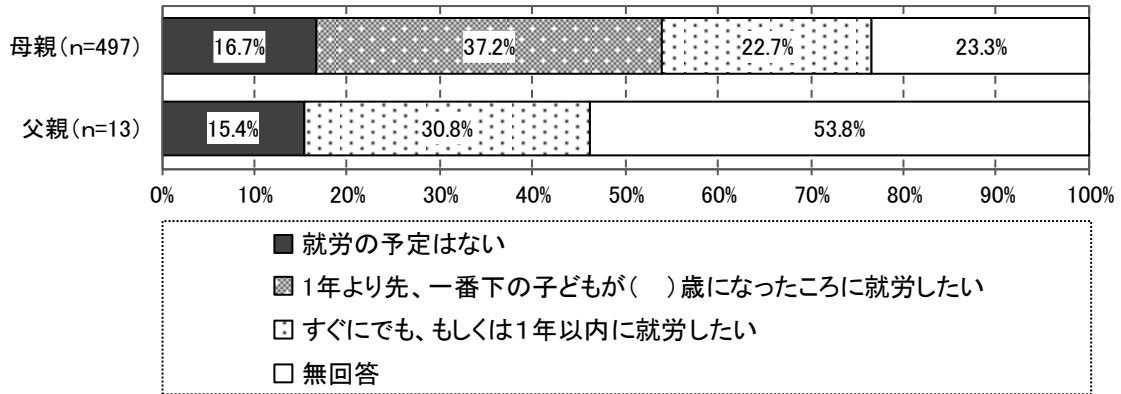
父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



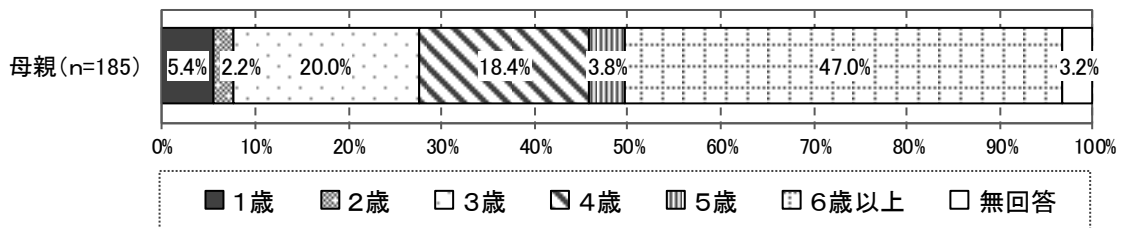
問 12 就労していない、または、就労したことがない方の就労希望。

母親でみると、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が37.2%と最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(22.7%)、「就労の予定はない」(16.7%)となっています。

父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



《一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか》

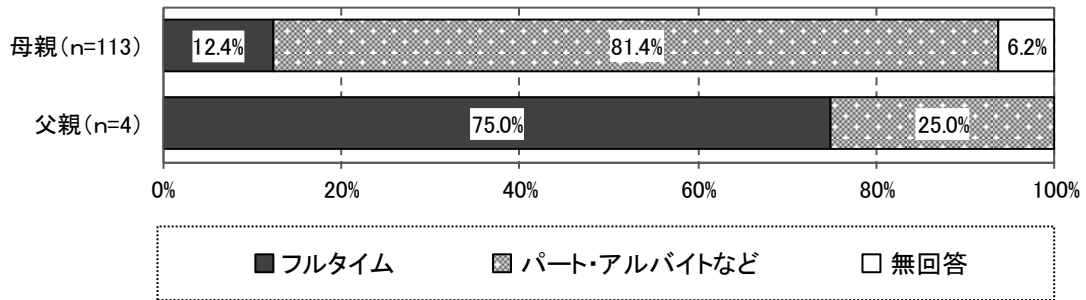


※「一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか」について、父親は該当者がおられませんでした。

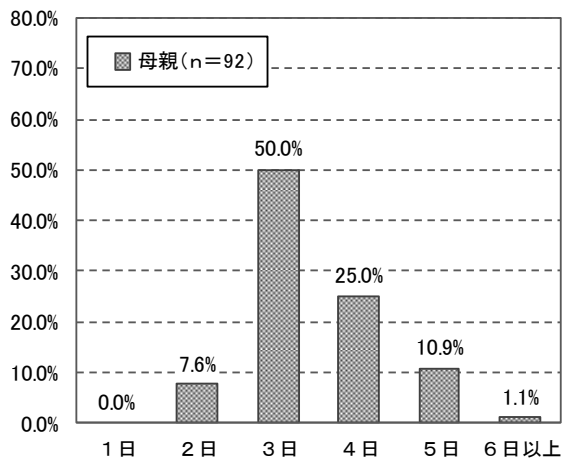
問12 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態。

母親でみると、「フルタイム」が12.4%、「パート・アルバイトなど」が81.4%となっています。

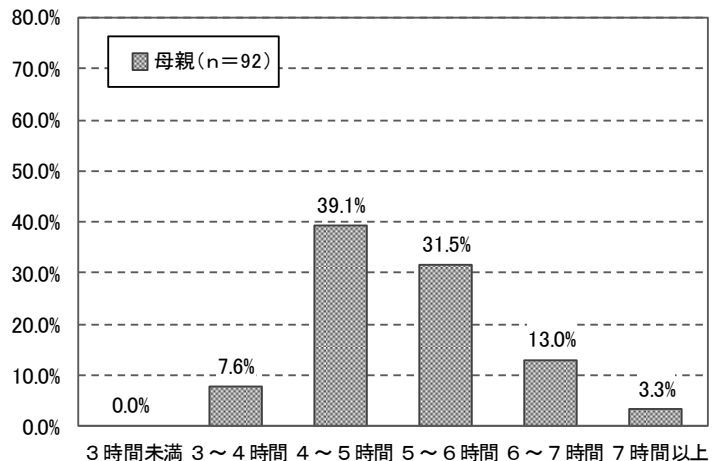
父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



《希望する就労形態(週当たり日数)》



《希望する就労形態(1日当たりの時間)》

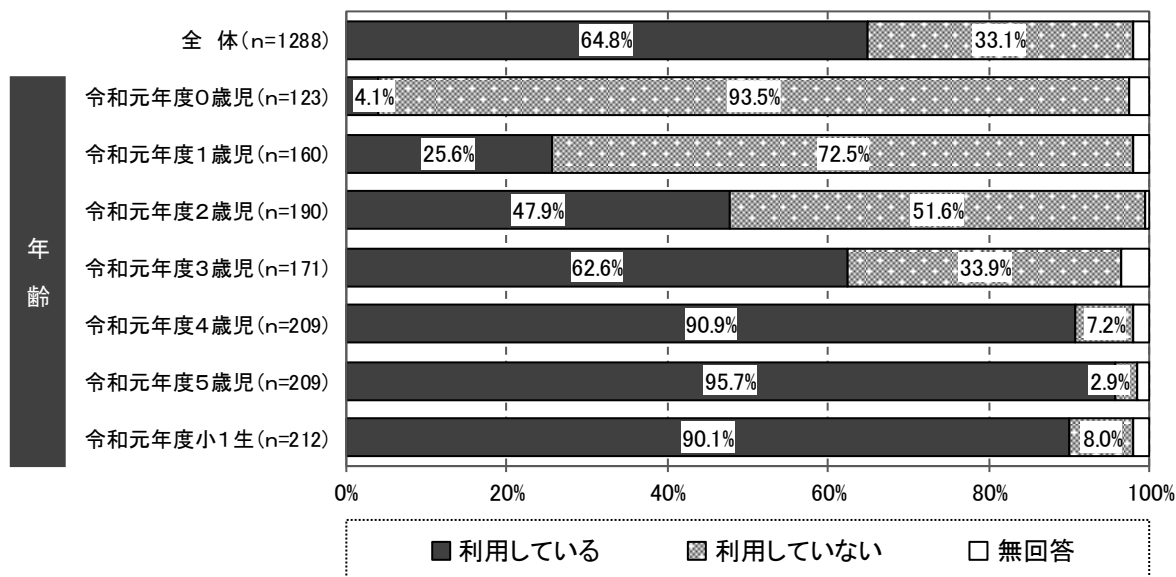


5. 平日、定期的に利用している施設やサービスなどについて

問 13 現在、子どもを預かる施設やサービスを定期的にご利用しているか。

全体では、「利用している」が64.8%、「利用していない」が33.1%となっています。

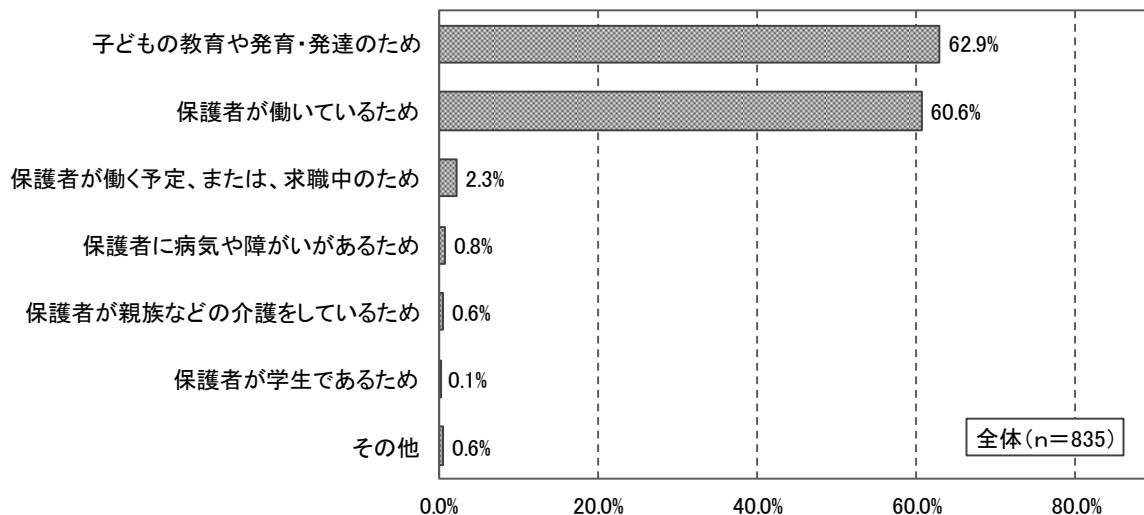
年齢区分で見ると、年齢が上がるごとに「利用している」が高くなっており、「令和元年度4歳児（調査時点3歳児）」以上では、ほとんどの方が利用しています。



◆問 13で「1. 利用している」と回答した方。

問 13-1 子どもを預かる施設やサービスを定期的にご利用している理由【MA】

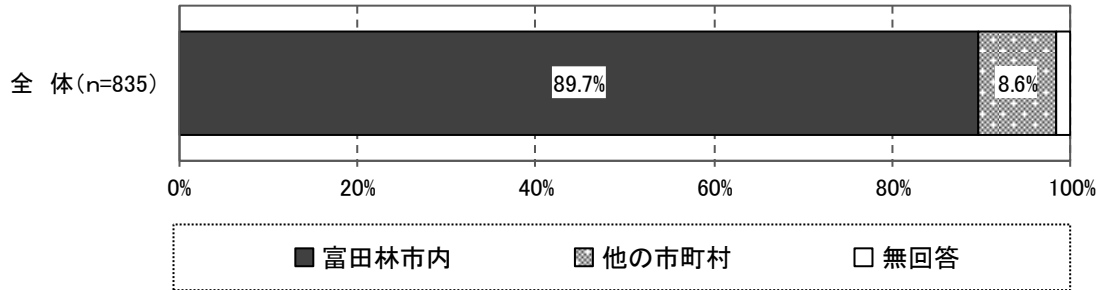
「子どもの教育や発育・発達のため」が62.9%、と最も高く、次いで、「保護者が働いているため」(60.6%)、「保護者が働く予定、または、求職中のため」(2.3%)の順となっています。



◆問 13 で「1. 利用している」と回答した方。

問 13-2 現在、定期的に利用している主な施設やサービスの場所。

「富田林市内」が 89.7%、「他の市町村」が 8.6%となっています。



《「他の市町村」の内訳》

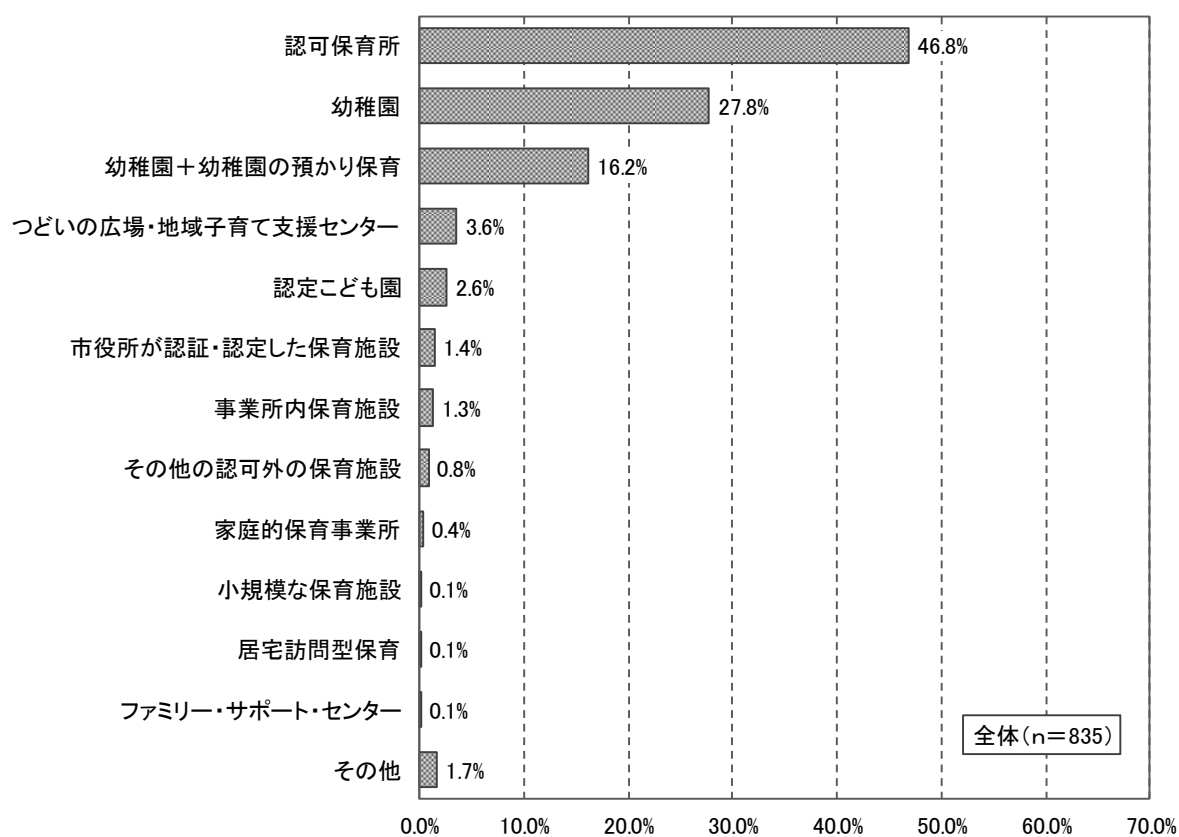
他の市町村（自治体名）	件数
河内長野市	31
堺市	15
河南町	5
大阪狭山市	5
香芝市	2
大阪市	1
無回答	13

◆問 13 で「1. 利用している」と回答した方。

問 13-3 平日どのような施設やサービスを定期的にご利用しているか。

【MA】

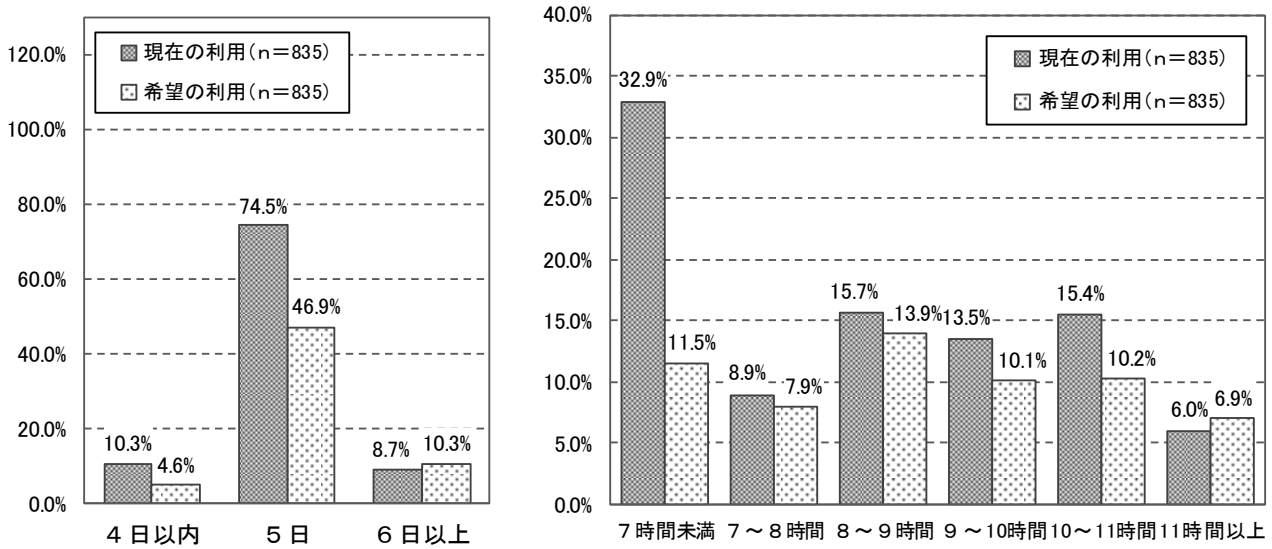
「認可保育所」が 46.8%と最も高く、次いで、「幼稚園」(27.8%)、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」(16.2%)の順となっています。



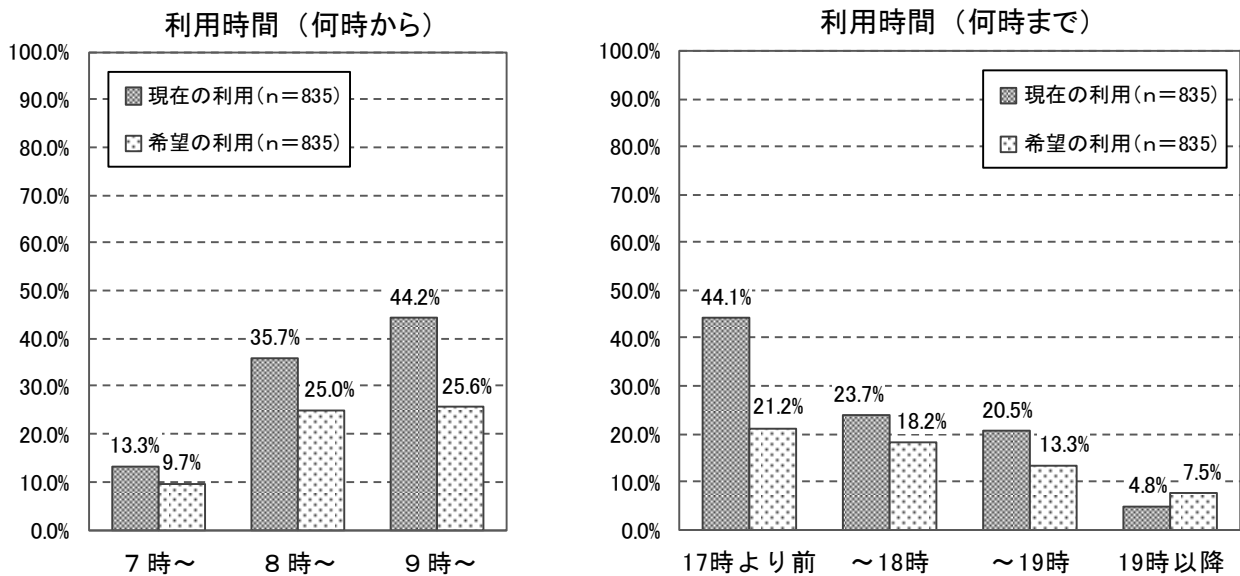
◆問 13 で「1. 利用している」と回答した方。

問 13-4 平日、定期的にご利用している施設やサービスについて、どのくらい利用しているか。また、希望はどのくらい利用したいか。

《1週当たりの利用日数・1日当たりの利用時間》



《利用開始時刻と終了時刻》

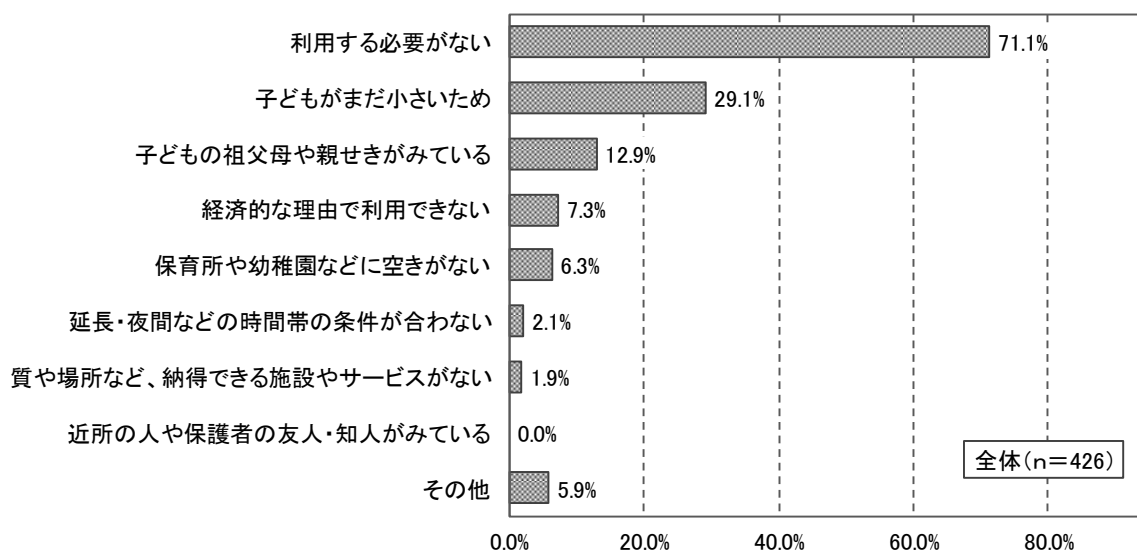


◆問 13 で「2. 利用していない」と回答した方。

問 13-5 子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用していない理由。

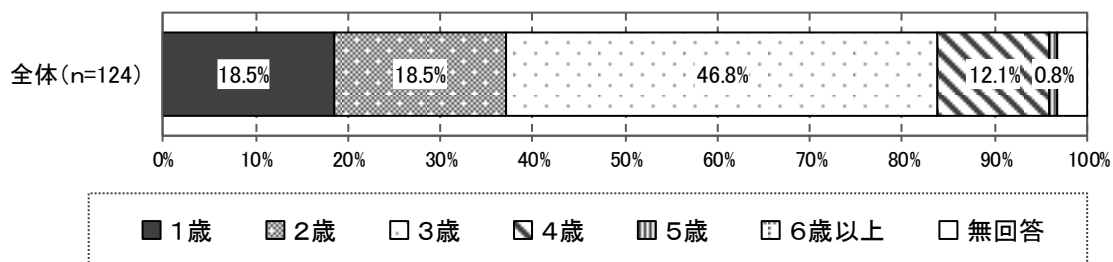
【MA】

「利用する必要がない」が 71.1%と最も高く、次いで、「子どもがまだ小さいため」(29.1%)、「子どもの祖父母や親せきがみている」(12.9%)の順となっています。



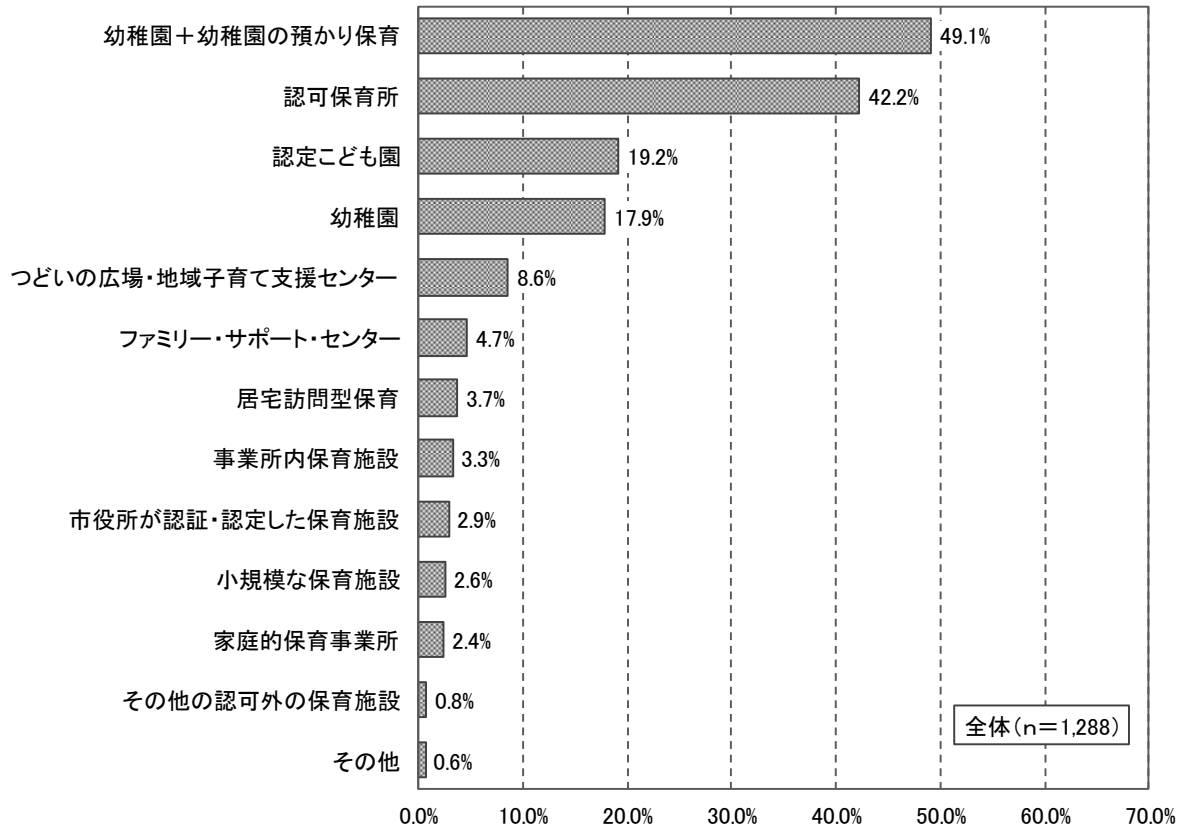
「子どもがまだ小さいため」を回答した方のうち、何歳になったら利用したいかを尋ねたところ「3歳」が 46.8%と最も高く、次いで、「1歳」・「2歳」(18.5%で同率)となっています。

《何歳になったら利用したいか》



問 14 無償化になった際、定期的にご利用したい施設やサービス。【MA】

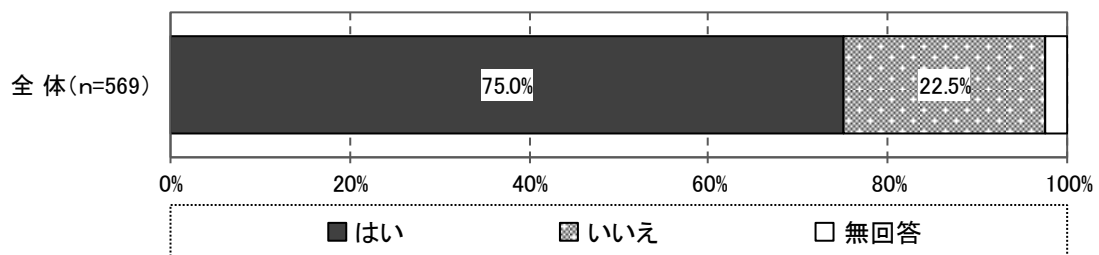
現在の利用（問 13-1）と比べて、全体的に割合が増えています。特に、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」、「認定こども園」の利用希望の割合が高くなっています。



◆問 14 で「1. 」または「2. 」に○をつけ、かつ「3. ～13. 」にも○をつけた方。

問 14-1 特に幼稚園の利用を強く希望するか。

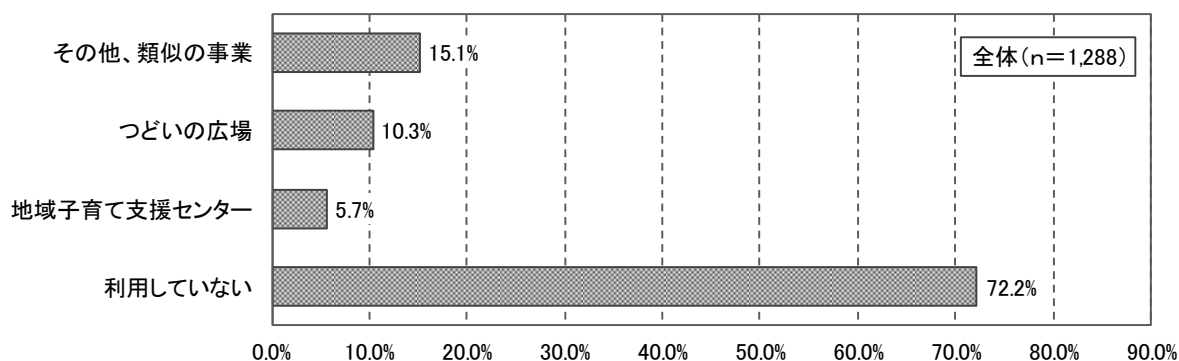
「はい」が75.0%、「いいえ」が22.5%となっています。



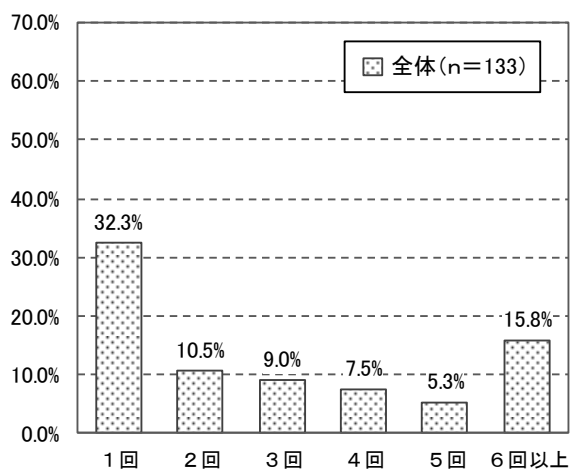
6. 地域子育て支援拠点事業などの利用について

問 15 現在の事業や場所の利用状況。

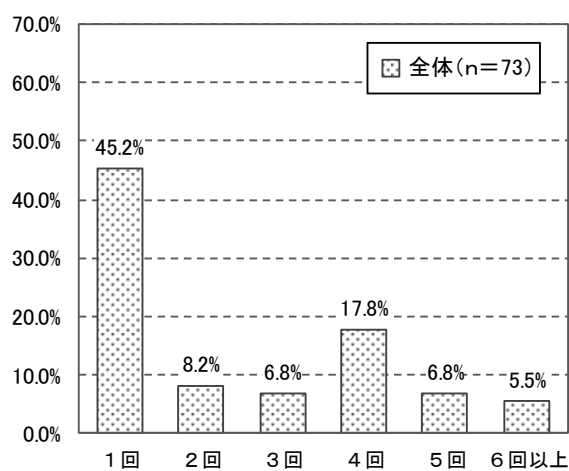
利用している事業や場所をみると、「その他、類似の事業」が15.1%と最も高く、次いで、「つどいの広場」(10.3%)、「地域子育て支援センター」(5.7%)となっています。



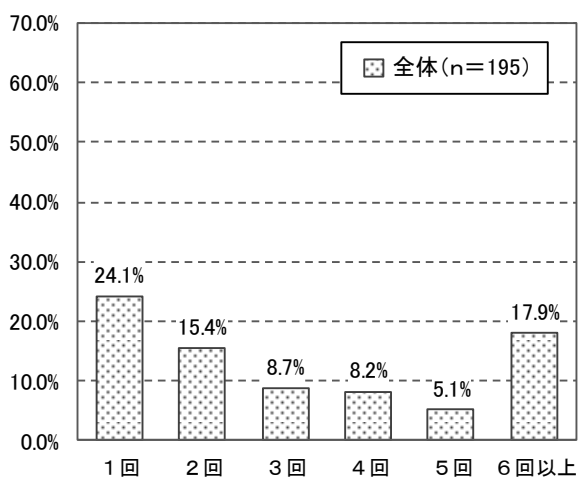
つどいの広場 (1か月当たりの利用回数)



地域子育て支援センター (1か月当たりの利用回数)

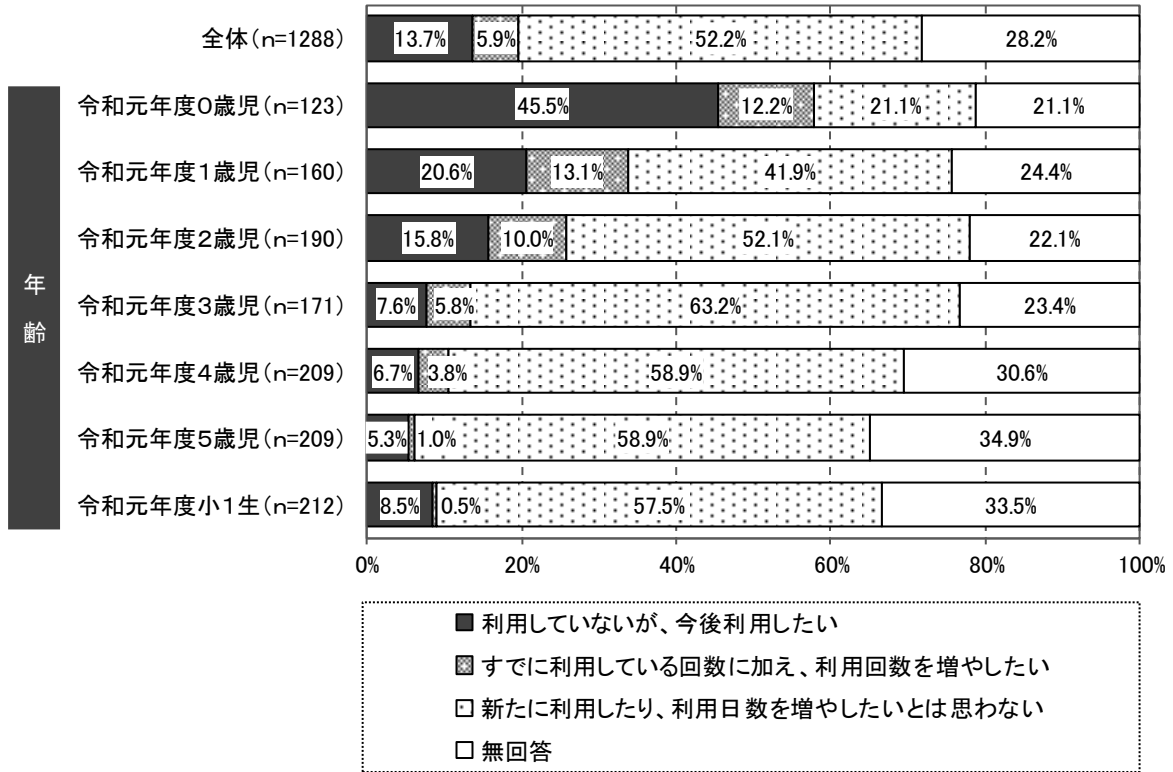


その他、類似の事業 (1か月当たりの利用回数)

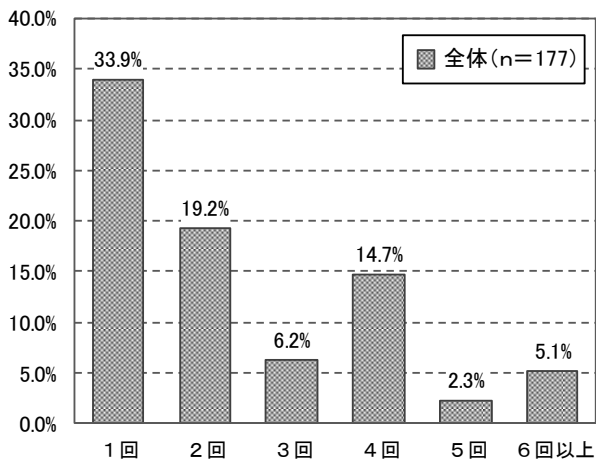


問 16 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向。

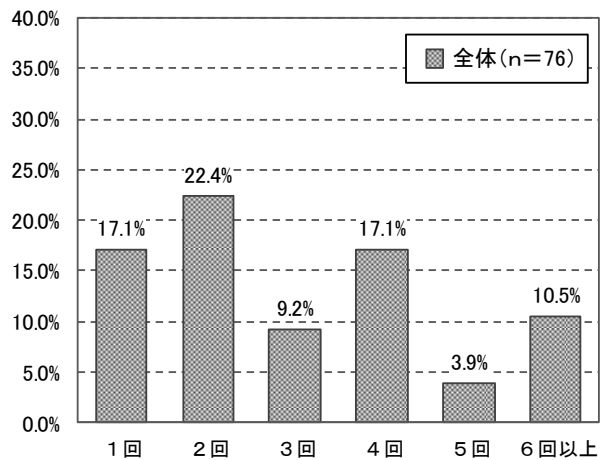
全体では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が52.2%と最も高く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」（13.7%）、「すでに利用している回数に加え、利用回数を増やしたい」（5.9%）となっています。



今後利用したい（1か月当たりの利用回数）

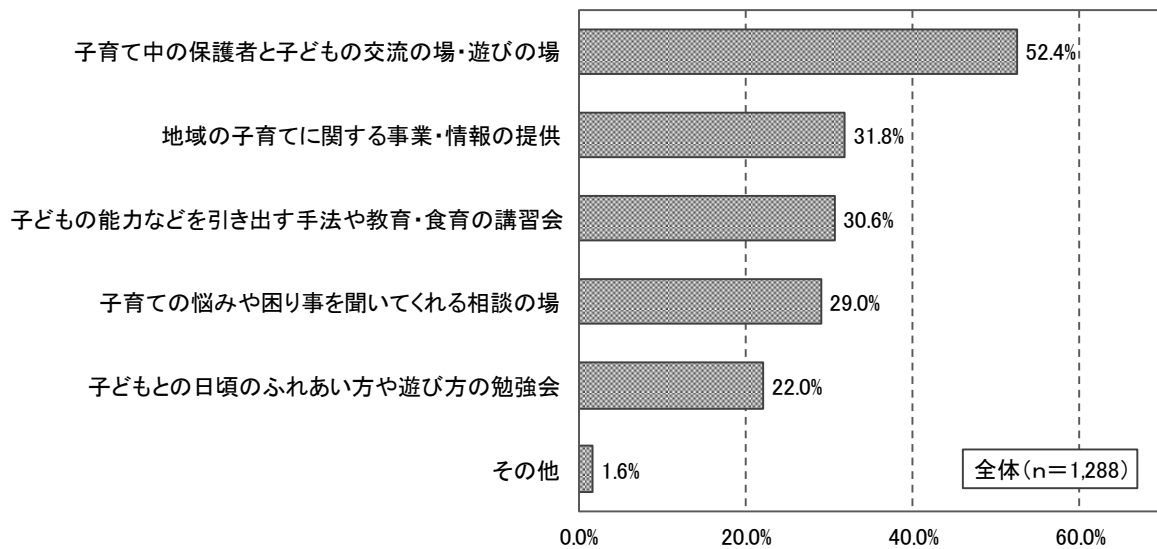


利用回数を増やしたい（1か月当たりの利用回数）



問 17 地域子育て支援拠点事業について、どのようなサービスを利用したいと思うか。

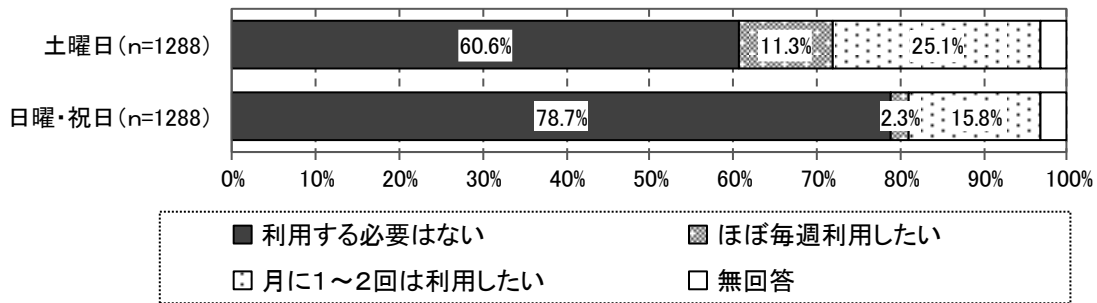
「子育て中の保護者と子どもの交流の場・遊びの場」が52.4%と最も高く、次いで、「地域の子育てに関する事業・情報の提供」(31.8%)、「子どもの能力などを引き出す手法や教育・食育の講習会」(30.6%)の順となっています。



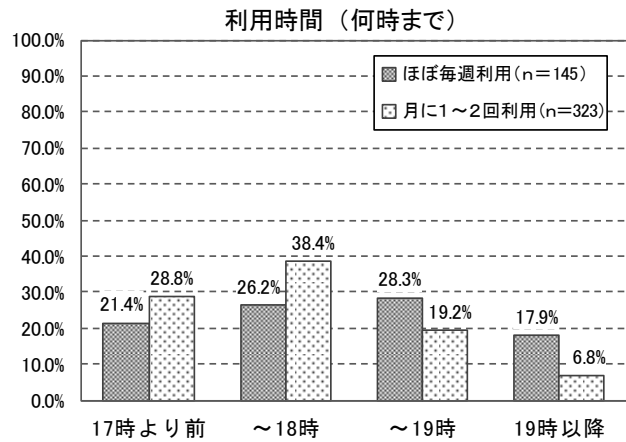
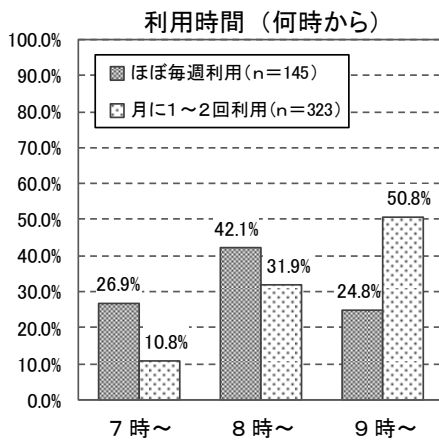
7. 保育所や幼稚園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休業中の定期的な利用希望について

問 18 土曜日、日曜日・祝日に保育所や幼稚園など子どもを預かる施設やサービスの定期的な利用希望。

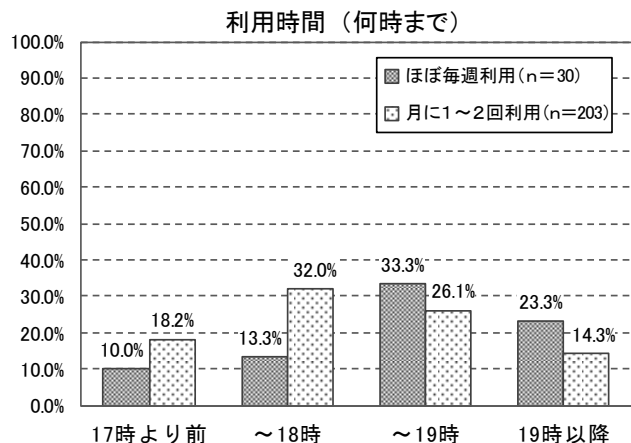
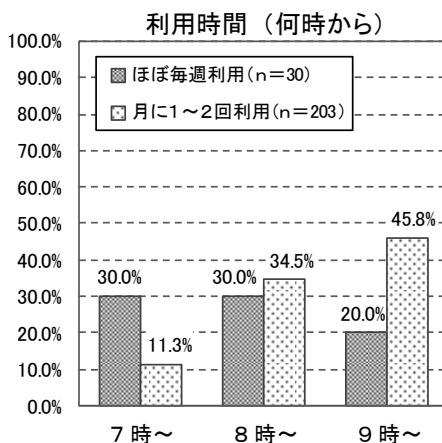
「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた“利用したい”は、土曜日では36.4%、日曜・祝日では18.1%となっています。



《利用したい開始時間と終了時間（土曜日）》



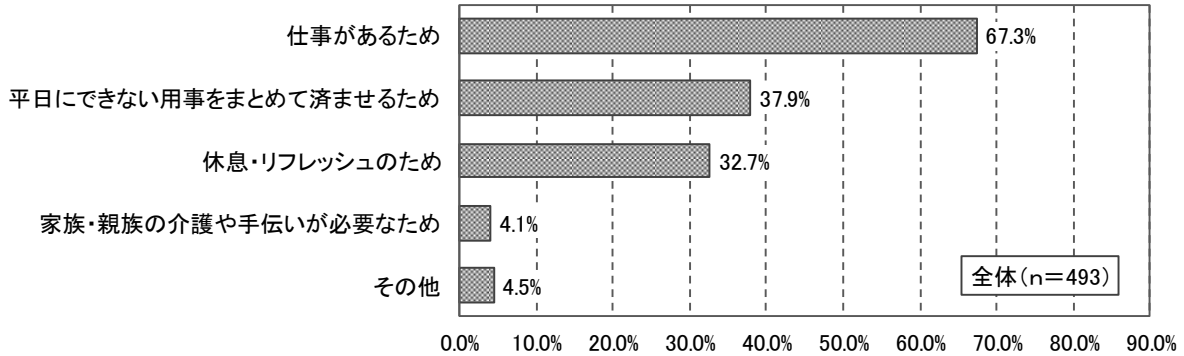
《利用したい開始時間と終了時間（日曜日・祝日）》



◆問 18 の (1) もしくは (2) で、「2.」または「3.」(利用したい) に○をつけた方。

問 18-1 利用したい理由。【MA】

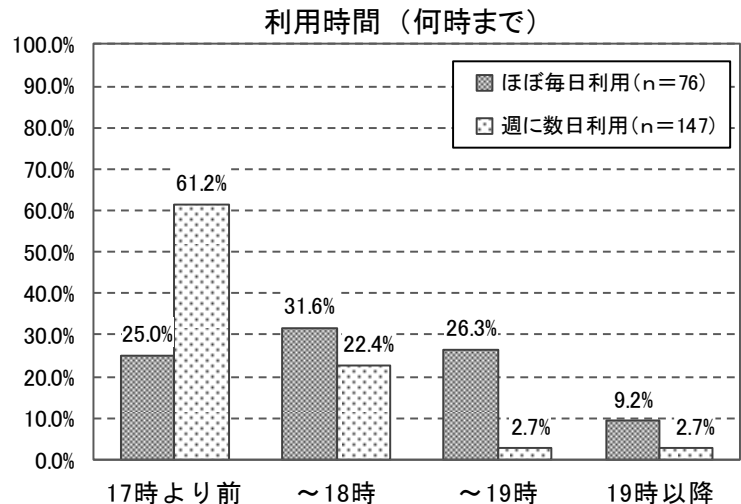
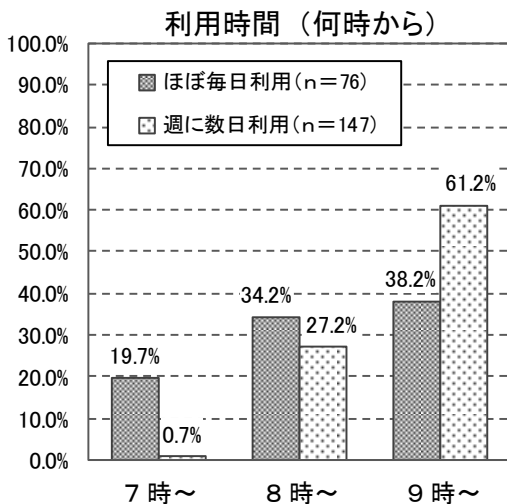
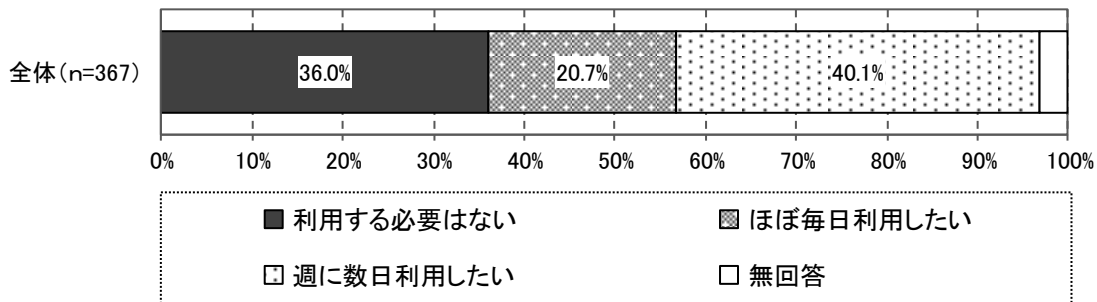
「仕事があるため」が67.3%と最も高く、次いで、「平日にできない用事をまとめて済ませるため」(37.9%)、「休息・リフレッシュのため」(32.7%)の順となっています。



◆「幼稚園」を利用している方。

問 19 長期休業中に子どもを預かる施設やサービスの定期的な利用希望。

「週に数日利用したい」が40.1%と最も高く、次いで、「利用する必要はない」(36.0%)、「ほぼ毎日利用したい」(20.7%)の順となっています。

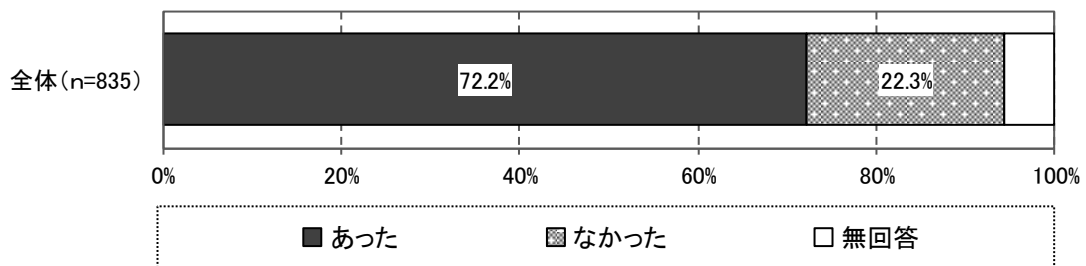


8. お子さんが病気の際の対応について

★「病気の際の対応」（問 20～20-3）は、平日に保育所や幼稚園などの子どもを預かる施設やサービスを定期的にご利用している方を対象におうかがいしました。

問 20 この1年間に、お子さんが病気やけがなどの理由で施設やサービスの定期的な利用ができなかったことがあったか。

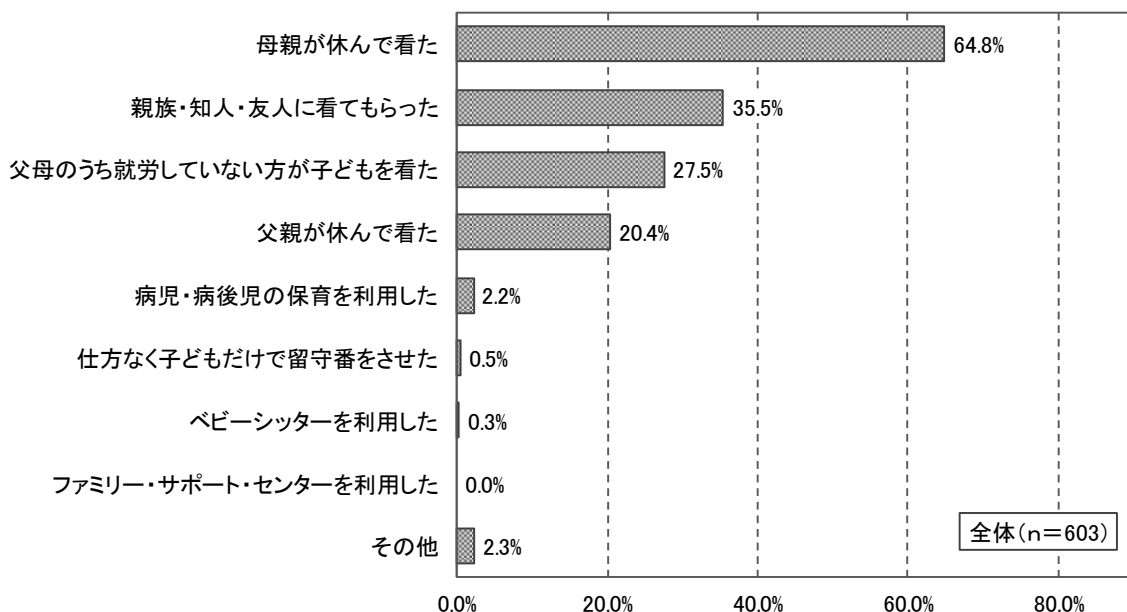
「あった」が72.2%、「なかった」が22.3%となっています。



問 20-1 お子さんが病気やけがなどの理由でいつも利用している施設やサービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法。

【MA】

「母親が休んで見た」が64.8%と最も高く、次いで、「親族・知人・友人に看てもらった」(35.5%)、「父母のうち就労していない方が子どもを見た」(27.5%)の順となっています。



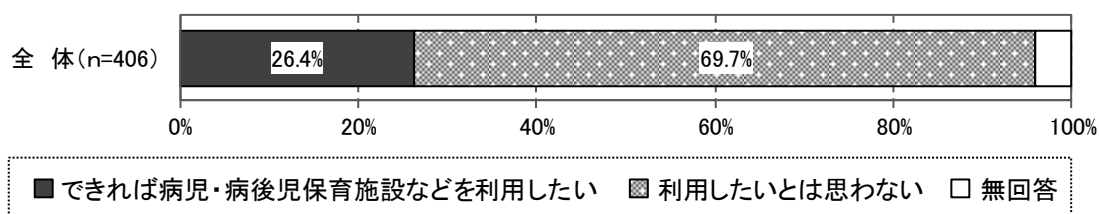
問 20-1 お子さんが病気やけがなどの理由でいつも利用している施設やサービスが利用できなかった場合に、この1年間に対処した日数。

	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
母親が仕事を休んで見た	391	24 6.1%	45 11.5%	55 14.1%	14 3.6%	64 16.4%	41 10.5%	112 28.6%	36 9.2%
親族・知人・友人に看てもらった	214	17 7.9%	39 18.2%	38 17.8%	15 7.0%	33 15.4%	11 5.1%	46 21.5%	15 7.0%
父母のうち就労していない方が見た	166	11 6.6%	18 10.8%	22 13.3%	6 3.6%	23 13.9%	21 12.7%	51 30.7%	14 8.4%
父親が仕事を休んで見た	123	31 25.2%	23 18.7%	19 15.4%	10 8.1%	19 15.4%	8 6.5%	10 8.1%	3 2.4%
病児・病後児保育施設を利用	13	6 46.2%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ベビーシッターを利用	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	14	3 21.4%	0 0.0%	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	3 21.4%	2 14.3%

◆ 問 20-1 で「1.」または「2.」（父親または母親が仕事を休んで見た）に○をつけた方。

問 20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思ったか。

「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が26.4%、「利用したいとは思わない」が69.7%となっています。

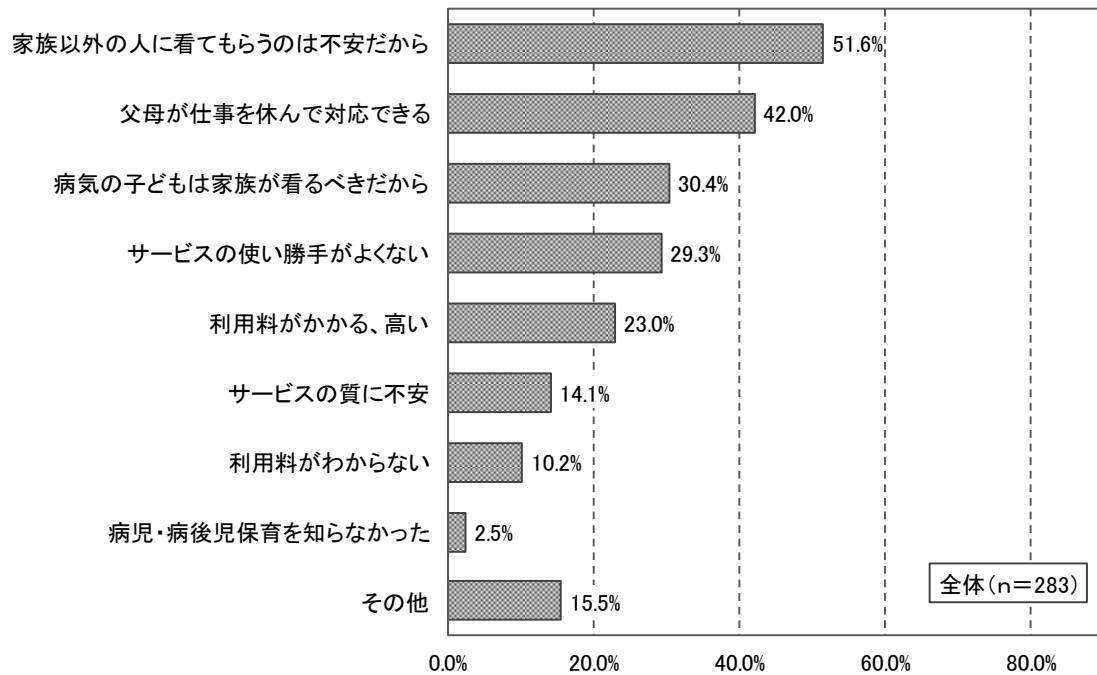


	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
病児・病後児保育施設などを利用したい	107	12 11.2%	9 8.4%	16 15.0%	4 3.7%	19 17.8%	11 10.3%	16 15.0%	20 18.7%

◆ 問 20-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方。

問 20-3 利用したいとは思わない理由。【MA】

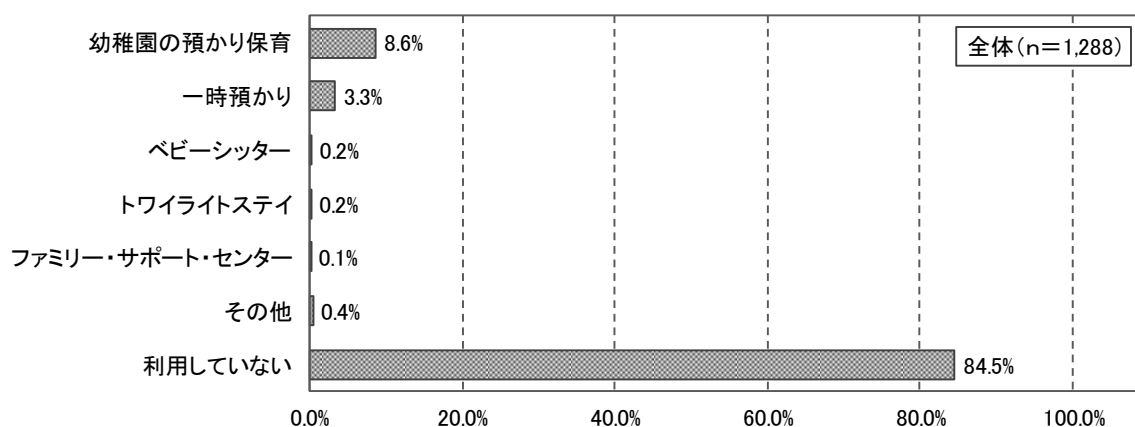
「家族以外の人に看てもらうのは不安だから」が51.6%と最も高く、次いで、「父母が仕事を休んで対応できる」(42.0%)、「病気の子どもは家族が看るべきだから」(30.4%)の順となっています。



9. 保育所や幼稚園などの不定期な利用や、宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 21 私用、親の通院、不定期の就労などを理由として、子どもを預かるサービスを不定期に利用しているか。【MA】

「幼稚園の預かり保育」が 8.6%、「一時預かり」が 3.3%で、その他の利用はほとんどなく、「利用していない」が多数を占めています。

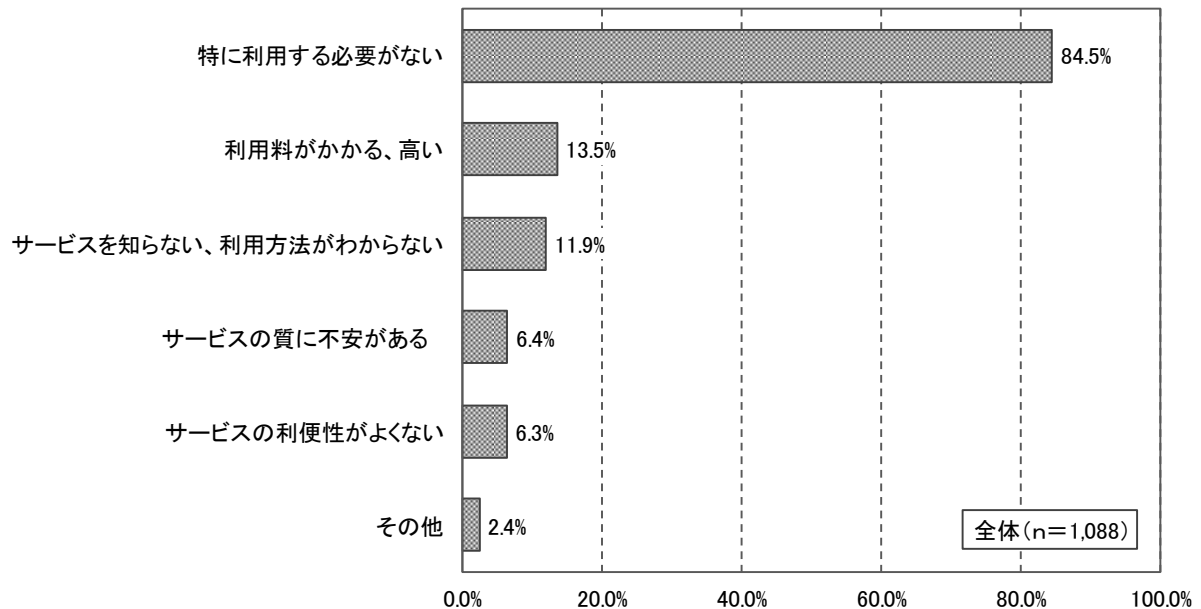


	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
幼稚園の預かり保育	111	5 4.5%	6 5.4%	4 3.6%	5 4.5%	5 4.5%	9 8.1%	63 56.8%	14 12.6%
一時預かり	43	6 14.0%	4 9.3%	4 9.3%	0 0.0%	2 4.7%	3 7.0%	19 44.2%	5 11.6%
ベビーシッター	3	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
トワイライトステイ	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
ファミリー・サポート・センター	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
その他	5	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%

◆ 問21で、「7.利用していない」に○をつけた方。

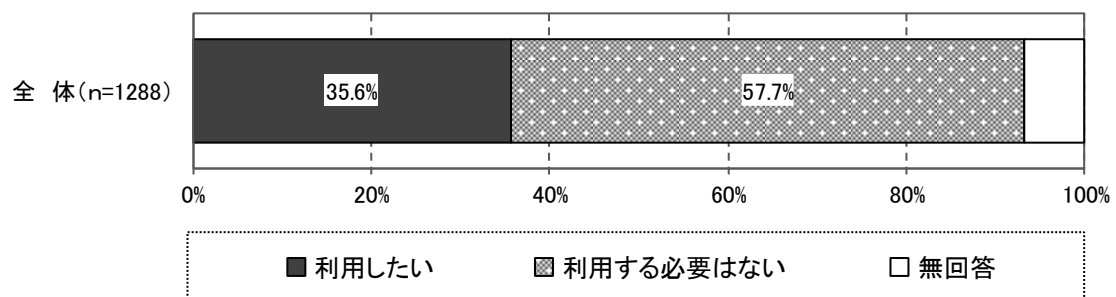
問21-1 現在利用していない理由。【MA】

「特に利用する必要がない」が84.5%と最も高く、次いで、「利用料がかかる、高い」(13.5%)、「サービスを知らない、利用方法がわからない」(11.9%)の順となっています。



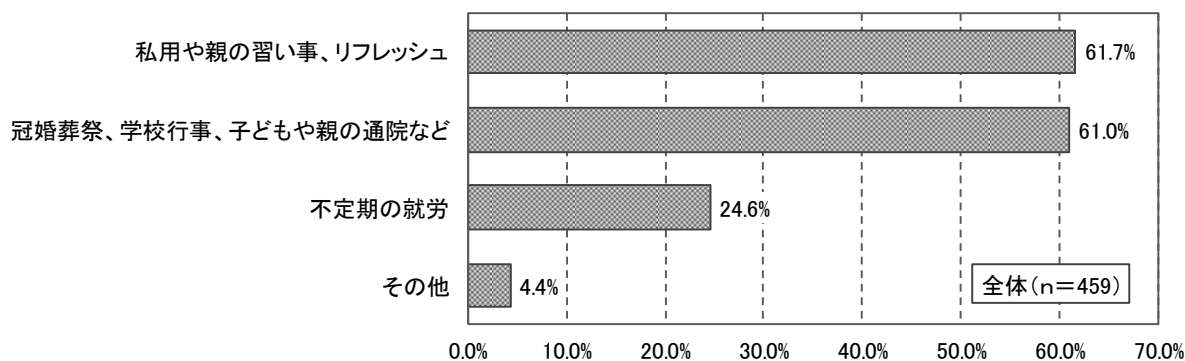
問22 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、問21のようなサービスを利用したいか。

「利用したい」が35.6%、「利用する必要はない」が57.7%となっています。



問 22 問 21 のようなサービスを利用したい理由とその日数（内訳）。【MA】

「私用や親の習い事、リフレッシュ」が61.7%と最も高く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」（61.0%）、「不定期の就労」（24.6%）の順となっています。

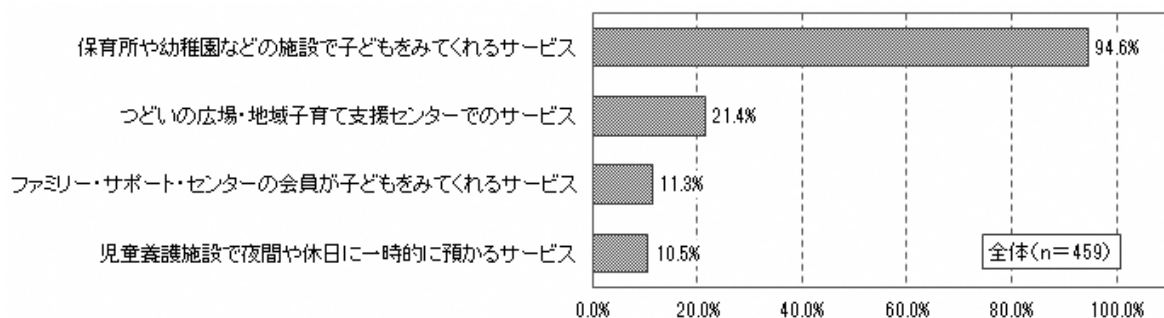


	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6～9 日	10日以 上	無回答
私用や親の習い事、リフレッシュ	283	11 3.9%	13 4.6%	14 4.9%	14 4.9%	39 13.8%	23 8.1%	154 54.4%	15 5.3%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	280	14 5.0%	16 5.7%	25 8.9%	7 2.5%	57 20.4%	25 8.9%	106 37.9%	30 10.7%
不定期の就労	113	2 1.8%	8 7.1%	4 3.5%	3 2.7%	11 9.7%	6 5.3%	65 57.5%	14 12.4%
その他	20	2 10.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	7 35.0%	4 20.0%

◆ 問 22 で、「1. 利用したい」に○をつけた方。

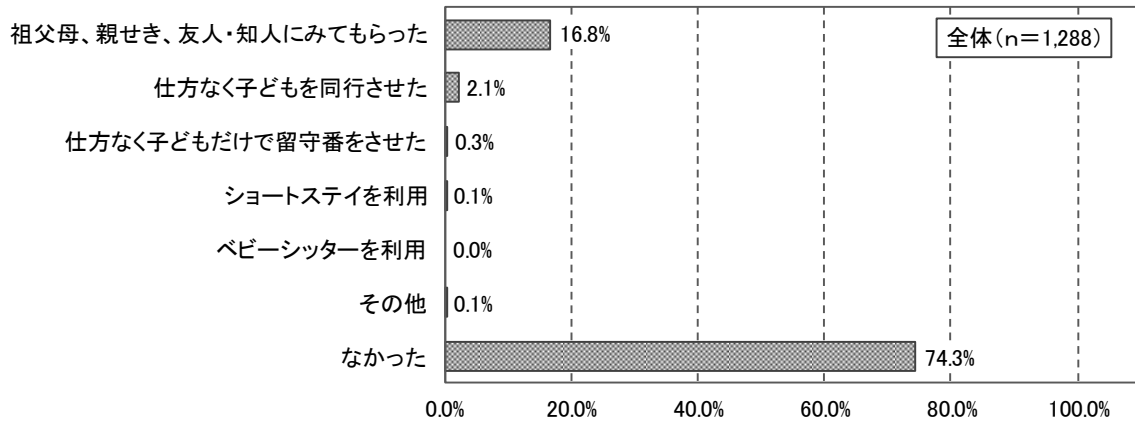
問 22-1 問 22 の目的で預ける際、どのようなサービスを希望するか。【MA】

「保育所や幼稚園などの施設で子どもをみてくれるサービス」が94.6%と最も高く、次いで、「つどいの広場・地域子育て支援センターでのサービス」（21.4%）、「ファミリー・サポート・センターの会員が子どもをみてくれるサービス」（11.3%）の順となっています。



問 23 この1年間に、保護者の都合や用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければいけないことはあったか。【MA】

あった方で見ると、「祖父母、親せき、友人・知人にみてもらった」が16.8%と最も高く、次いで、「仕方なく子どもを同行させた」(2.1%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(0.3%)の順となっています。



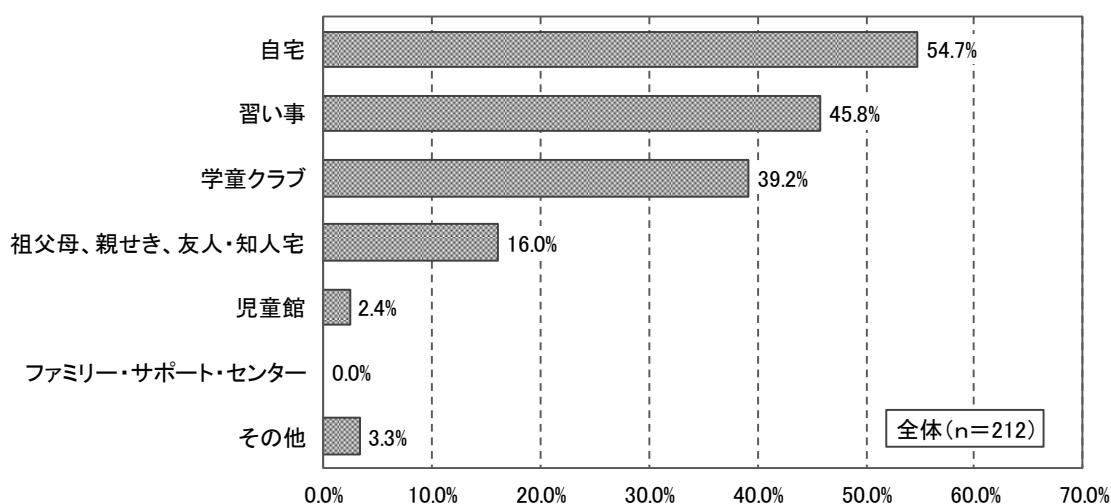
	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
祖父母、親せき、友人・知人にみてもらった	216	54 25.0%	32 14.8%	24 11.1%	12 5.6%	25 11.6%	20 9.3%	37 17.1%	12 5.6%
仕方なく子どもを同行させた	27	3 11.1%	4 14.8%	5 18.5%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	7 25.9%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
ショートステイを利用	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
ベビーシッターを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

10. 小学校入学後の放課後の過ごし方について（現在のイメージ）

★「小学校入学後の放課後の過ごし方」（問 24～27）は、国の指針により、平成 31 年 4 月に小学校に入学される方を対象におうかがいしました。

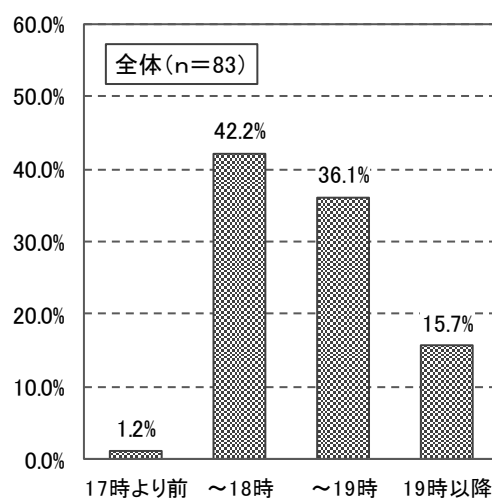
問 24 小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいか。【MA】

「自宅」が 54.7%と最も高く、次いで、「習い事」（45.8%）、「学童クラブ」（39.2%）の順となっています。



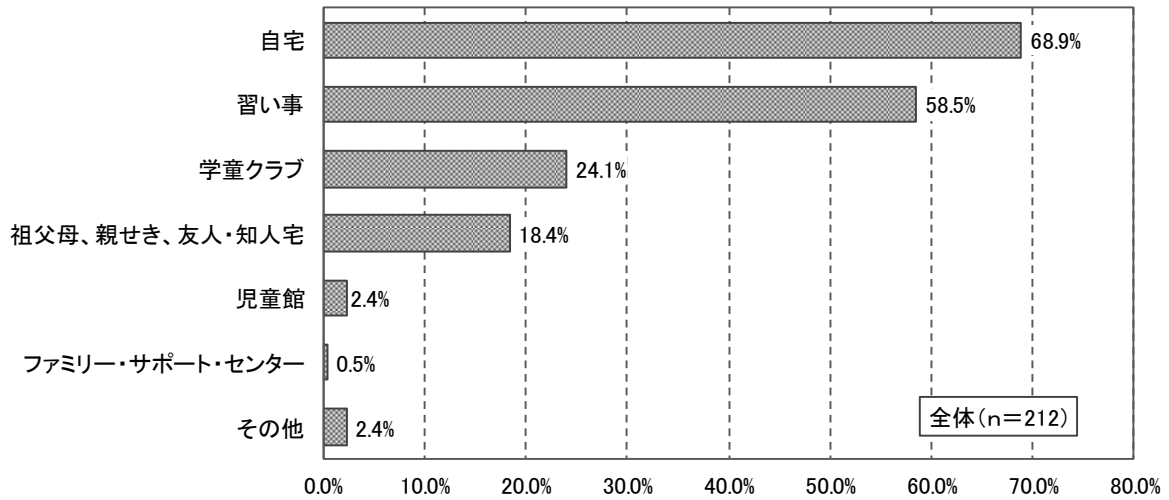
	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
自宅	116	9 7.8%	12 10.3%	30 25.9%	10 8.6%	45 38.8%	10 8.6%
習い事	97	31 32.0%	43 44.3%	13 13.4%	7 7.2%	3 3.1%	0 0.0%
学童クラブ	83	2 2.4%	2 2.4%	7 8.4%	7 8.4%	60 72.3%	5 6.0%
祖父母宅、親せき宅、友人・知人宅	34	16 47.1%	11 32.4%	2 5.9%	0 0.0%	4 11.8%	1 2.9%
児童館	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%
ファミリー・サポート・センター	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	7	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%

何時まで利用したいか（学童クラブ）



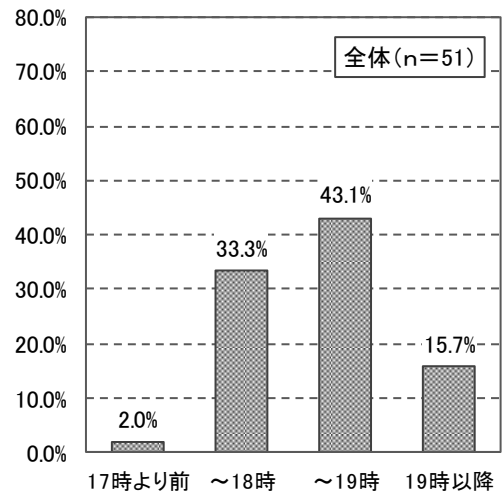
問 25 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいか。【MA】

「自宅」が68.9%と最も高く、次いで、「習い事」（58.5%）、「学童クラブ」（24.1%）、の順となっています。



	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
自宅	146	16 11.0%	26 17.8%	27 18.5%	10 6.8%	49 33.6%	18 12.3%
習い事	124	23 18.5%	47 37.9%	29 23.4%	12 9.7%	7 5.6%	6 4.8%
学童クラブ	51	1 2.0%	5 9.8%	12 23.5%	3 5.9%	25 49.0%	5 9.8%
祖父母宅、親せき 宅、友人・知人宅	39	12 30.8%	14 35.9%	3 7.7%	0 0.0%	6 15.4%	4 10.3%
児童館	5	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%
ファミリー・サポ ート・センター	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

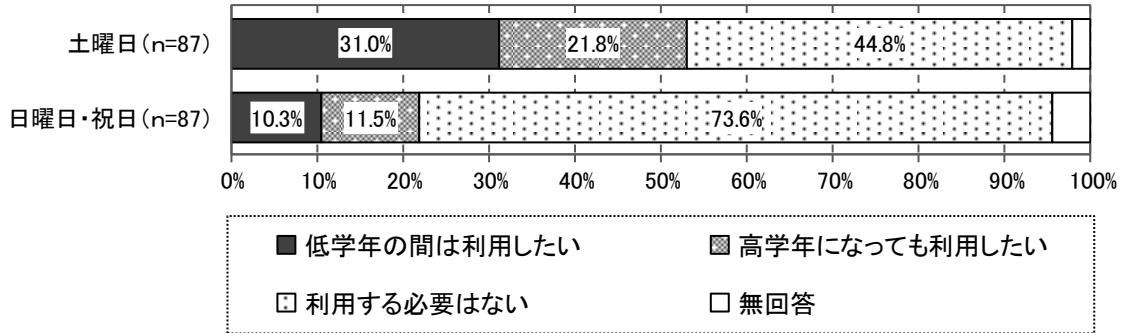
何時まで利用したいか（学童クラブ）



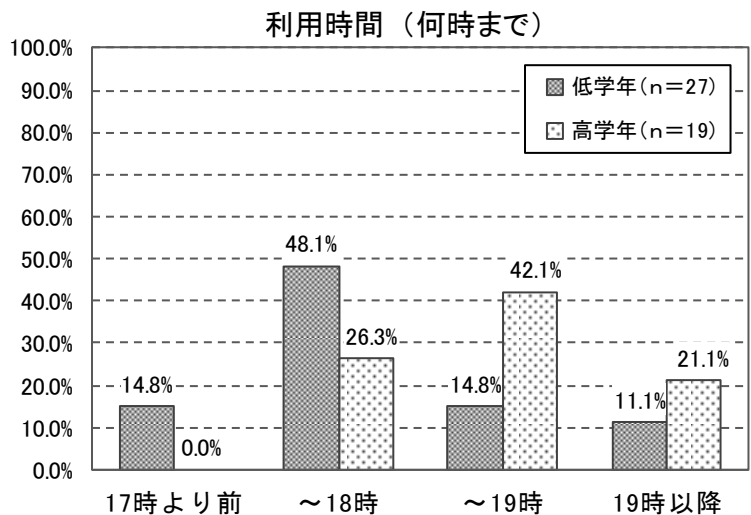
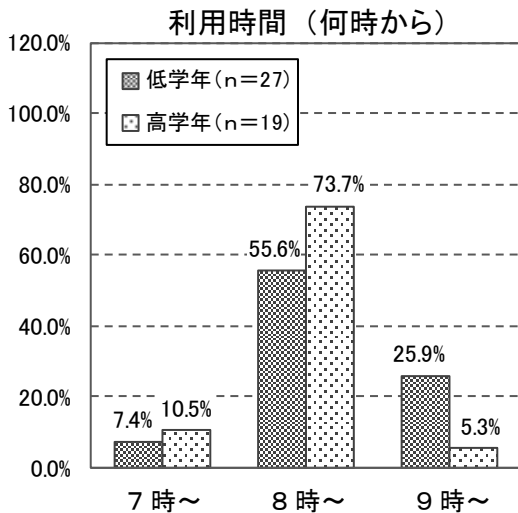
◆問 24 または問 25 で、「3. 学童クラブ」に○をつけた方。

問 26 土曜日、日曜日・祝日における「学童クラブ」の利用希望。

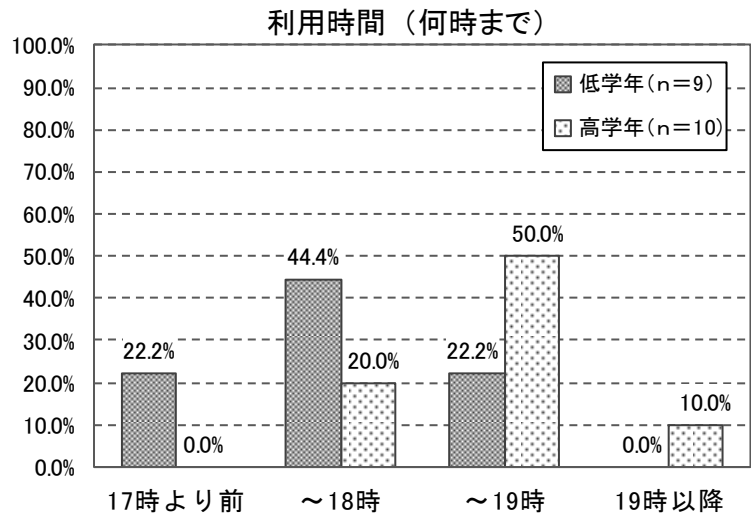
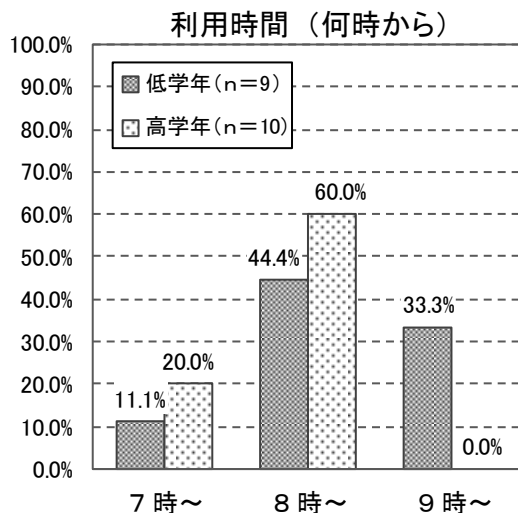
「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、土曜日で52.8%、日曜日・祝日で21.8%となっています。



《利用希望時間（土曜日）》

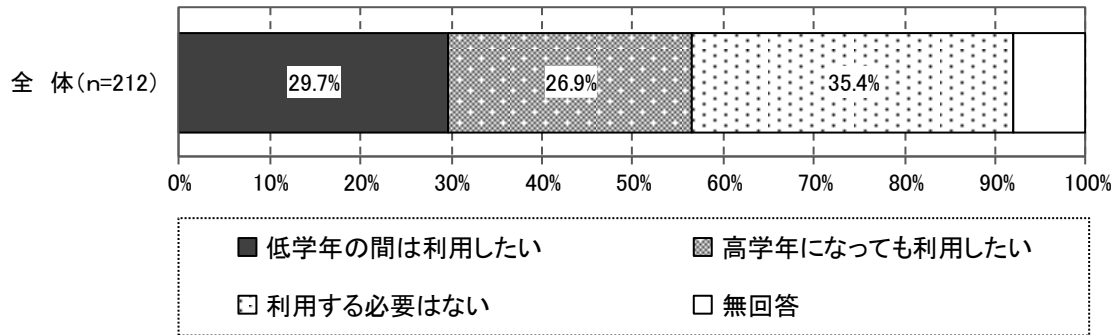


《利用希望時間（日曜日・祝日）》

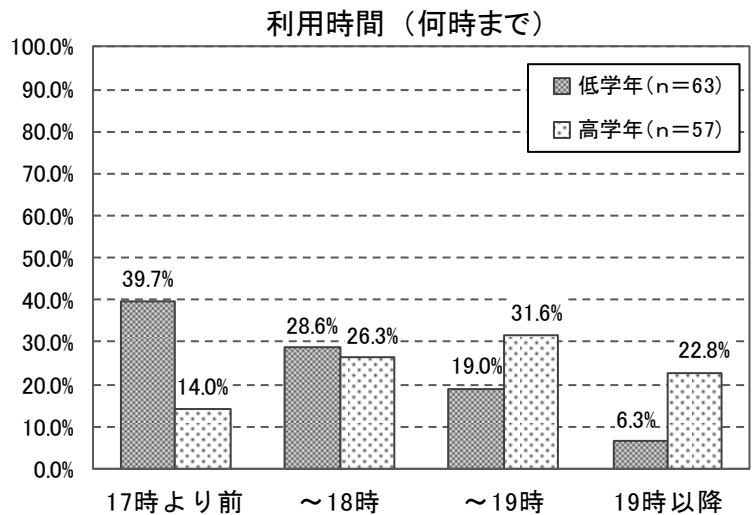
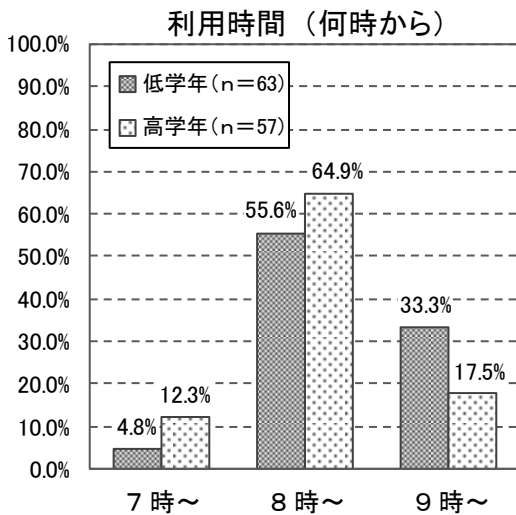


問 27 夏休み・冬休みなどの長期休業中の「学童クラブ」の利用希望。

「利用する必要はない」が 35.4%と最も高く、次いで、「低学年の間は利用したい」(29.7%)、「高学年になっても利用したい」(26.9%) となっています。



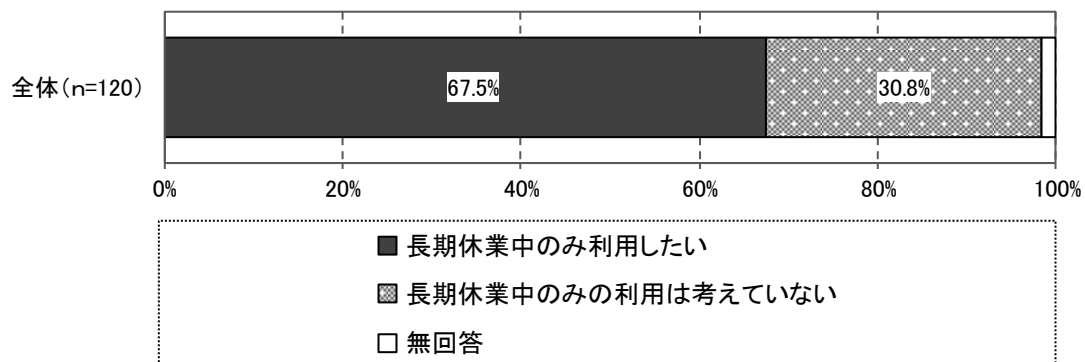
《利用希望時間（長期休業中）》



◆問 27 で、「1.」または「2.」（利用したい）に○をつけた方。

問 27-1 夏休み・冬休みなどの長期休業中のみの「学童クラブ」の利用希望。

「長期休業中のみ利用したい」が67.5%、「長期休業中のみの利用は考えていない」(30.8%)
となっています。

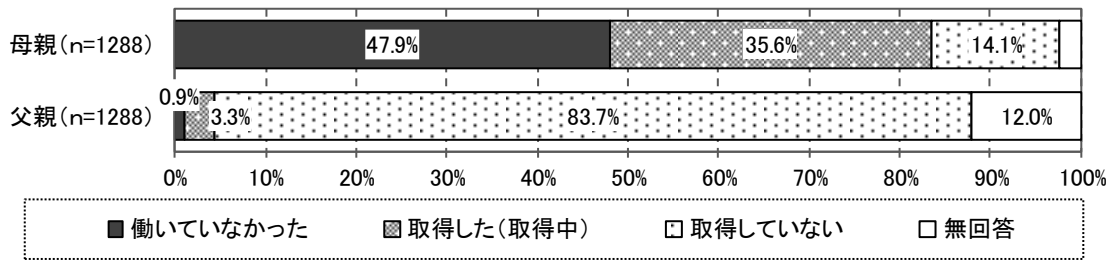


11. 子育てと仕事の両立支援制度などについて

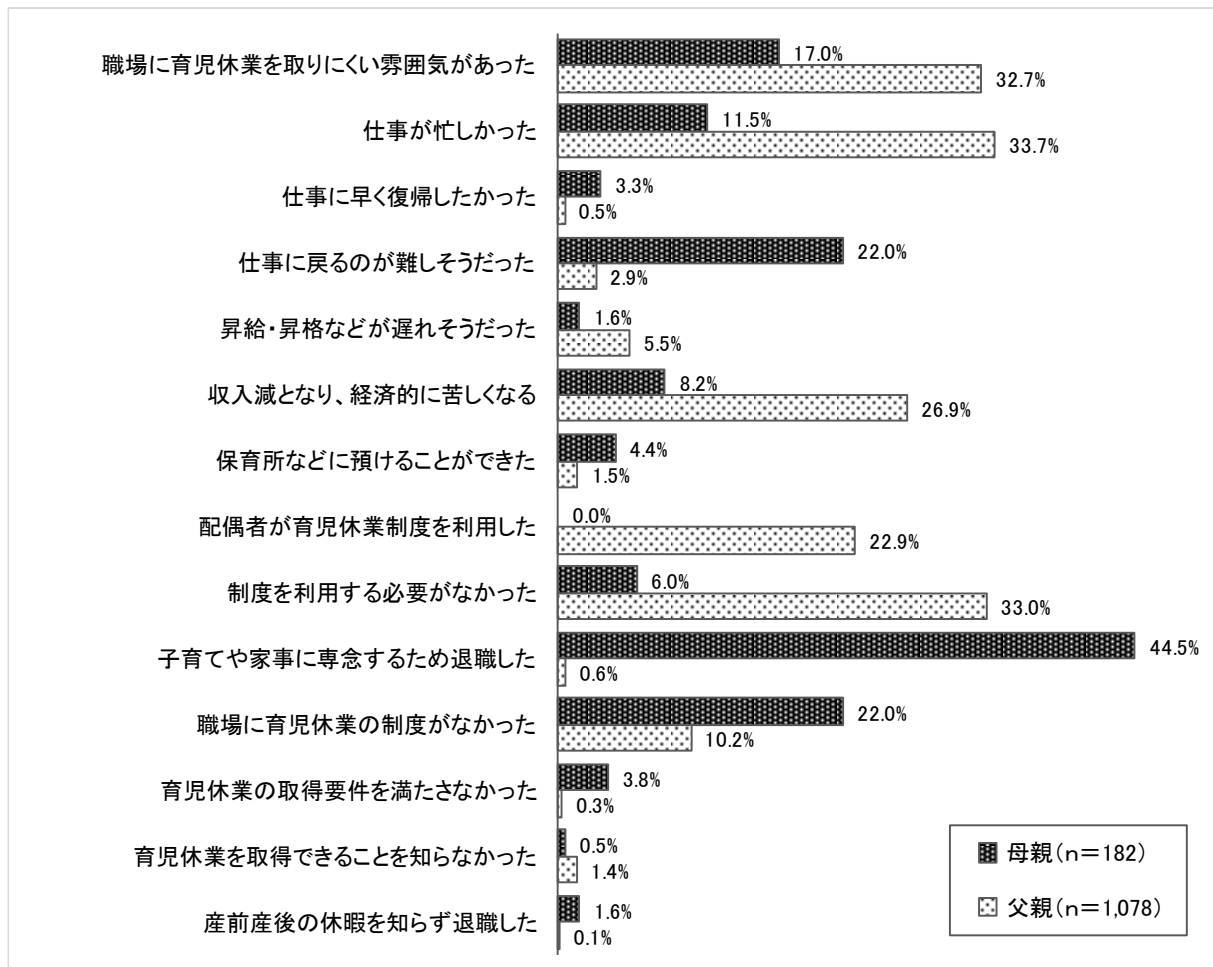
問 28 育児休業を取得したか。

母親でみると、「働いていなかった」が 47.9%と最も高く、次いで、「取得した（取得中）」（35.6%）、「取得していない」（14.1%）の順となっています。

父親でみると、「取得していない」がほとんどであり、「取得した」はわずか 3.3%となっています。



《取得していない理由》

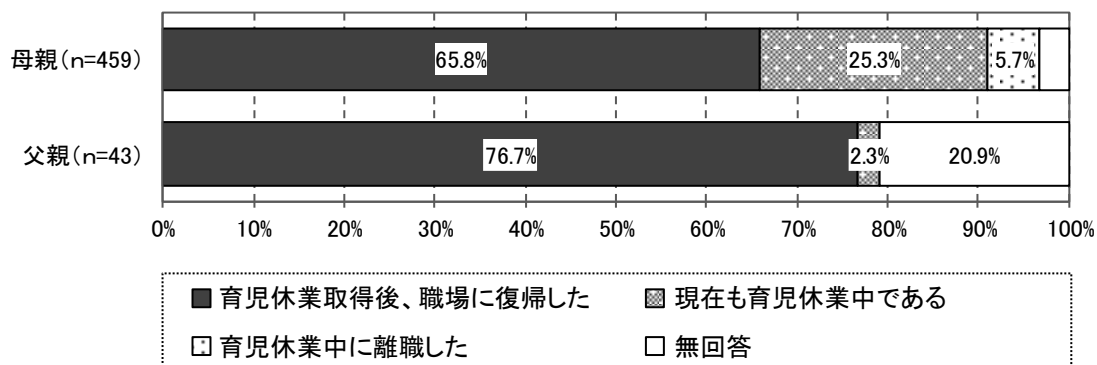


◆問 28 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方。

問 28-1 育児休業取得後、職場に復帰したか。

母親でみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 65.8%と最も高く、次いで、「現在も育児休業中である」(25.3%)、「育児休業中に離職した」(5.7%) となっています。

父親でみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 76.7%と最も高く、次いで、「現在も育児休業中である」(2.3%) となっており、「育児休業中に離職した」はありませんでした。

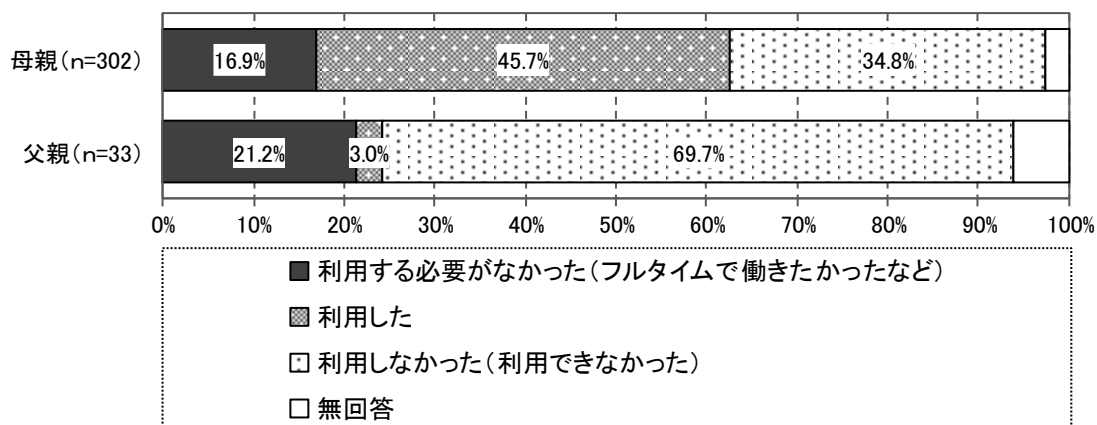


◆問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方。

問 28-2 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用したか。

母親でみると、「利用した」が 45.7%と最も高く、次いで、「利用しなかった（利用できなかった）」(34.8%)、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかったなど）」(16.9%) となっています。

父親でみると、「利用しなかった（利用できなかった）」が 69.7%と最も高く、次いで、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかったなど）」(21.2%)、「利用した」(3.0%) となっています。

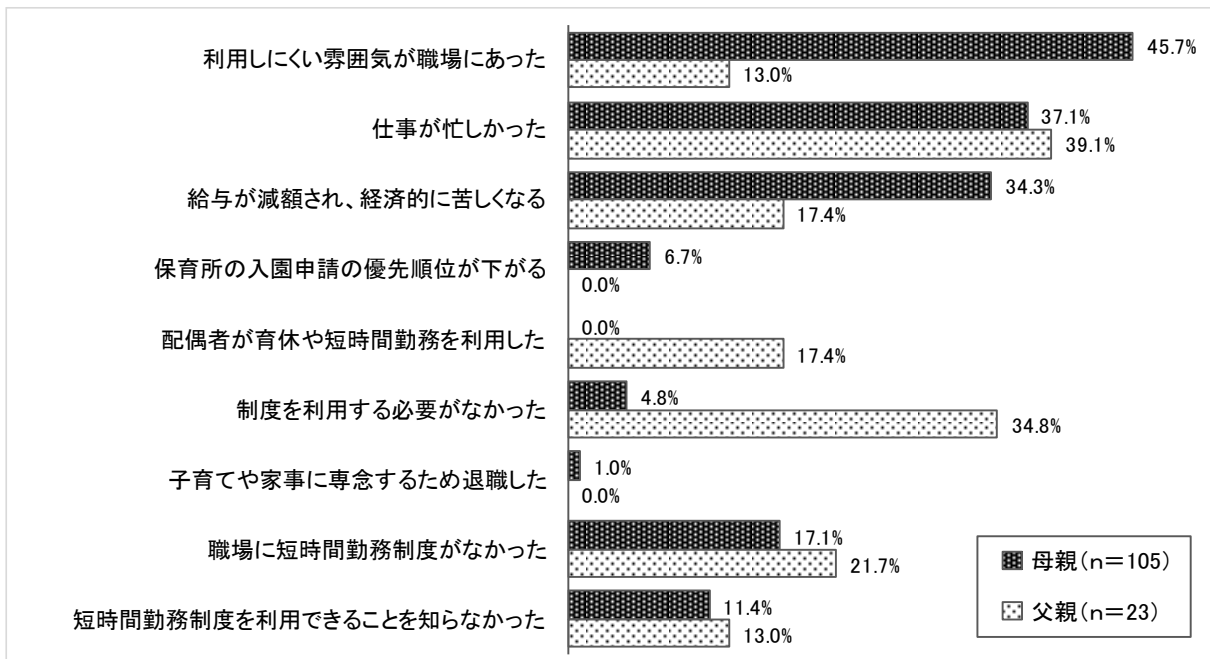


◆問 28-2 で「3. 利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方。

問 28-3 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由。【MA】

母親でみると、「利用しにくい雰囲気が職場にあった」が45.7%と最も高く、次いで、「仕事が忙しかった」(37.1%)、「給与が減額され、経済的に苦しくなる」(34.3%)の順となっています。

父親でみると、「仕事が忙しかった」が39.1%と最も高く、次いで、「制度を利用する必要がなかった」(34.8%)、「職場に短時間勤務制度がなかった」(21.7%)の順となっています。

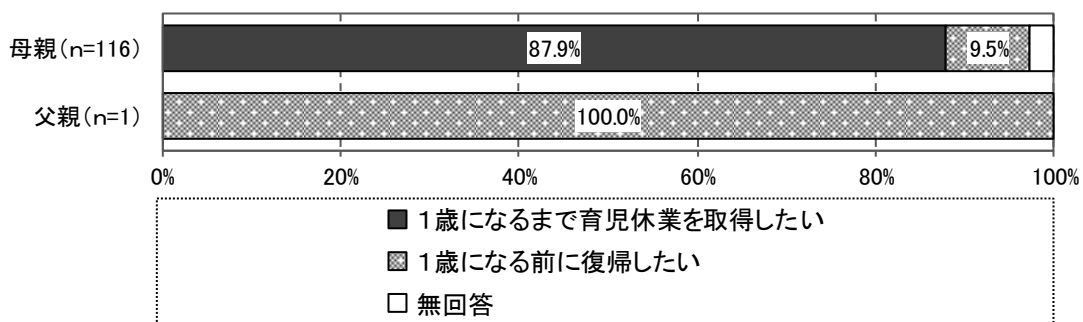


◆問 28-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方。

問 28-4 お子さんが1歳になったときに必ず預けられるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得するか。

母親でみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が87.9%、「1歳になる前に復帰したい」が9.5%となっています。

父親は該当者が少ないため、参考としておきます。

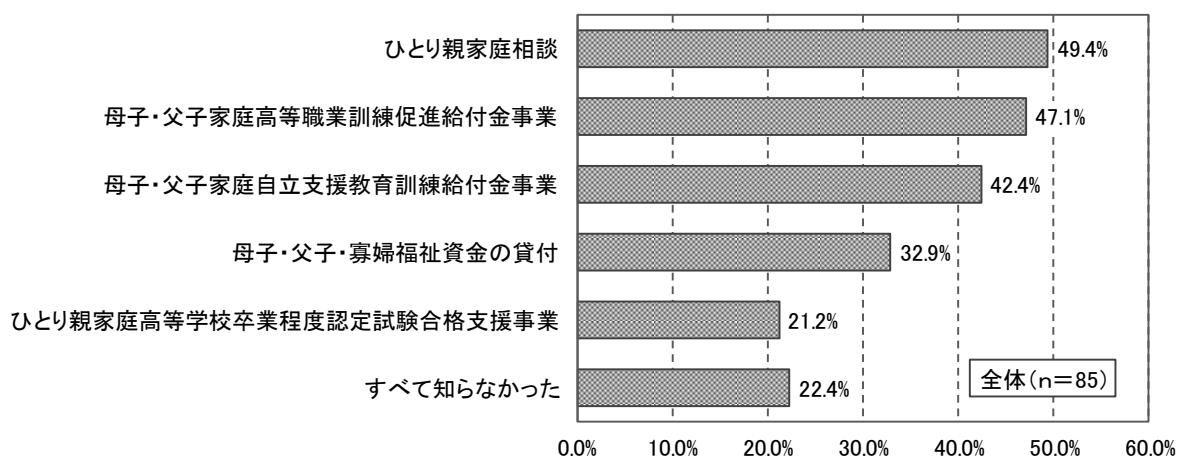


12. ひとり親家庭への支援や施策について

★「ひとり親家庭への支援や施策」（問 29～30）は、現在、ひとり親家庭である方を対象におうかがいしました。

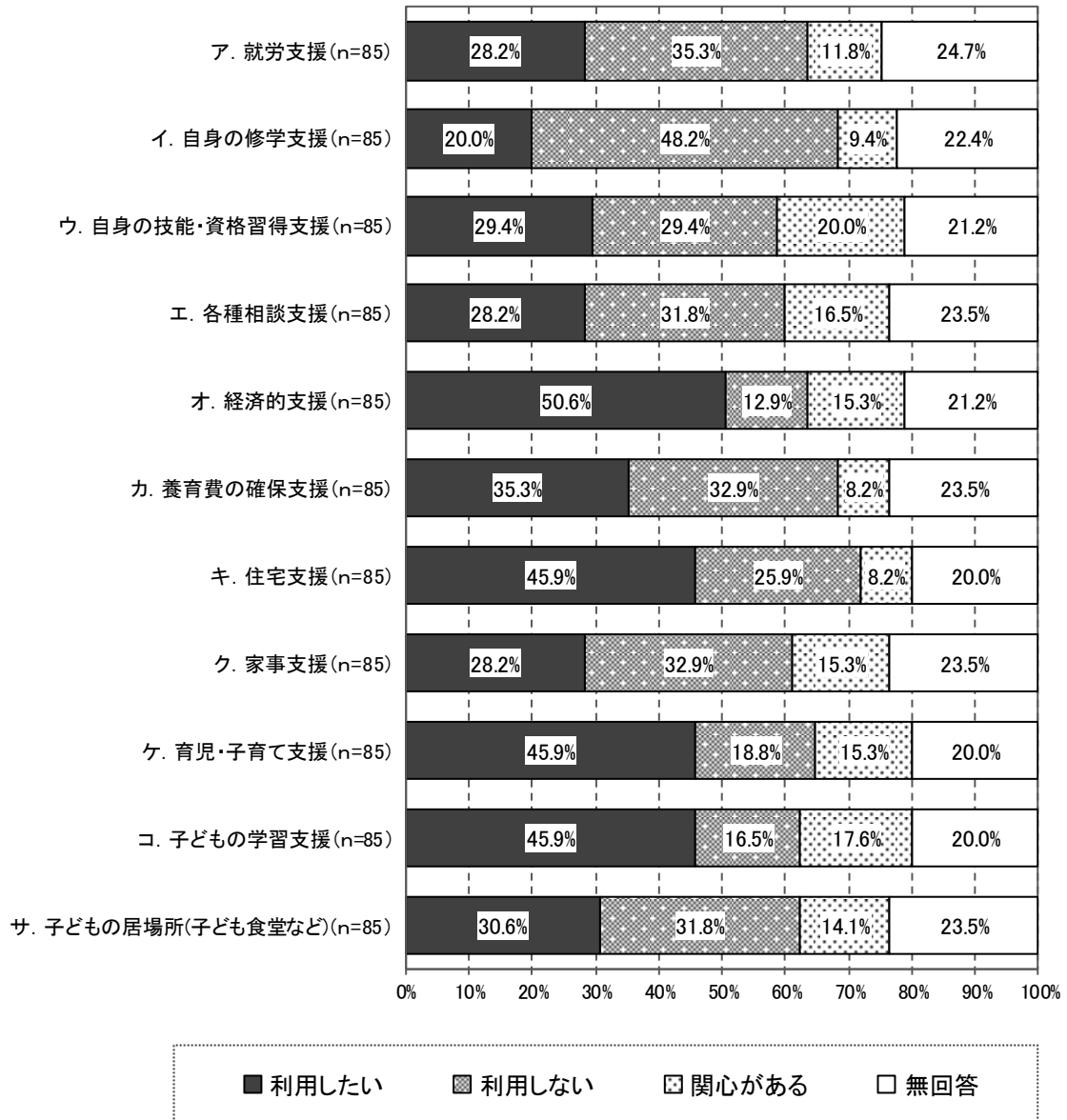
問 29 ひとり親家庭の生活の安定と自立促進を図るため、本市が実施している支援や施策を知っているか。【MA】

「ひとり親家庭相談」が49.4%と最も高く、次いで、「母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金事業」（47.1%）、「母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金事業」（42.4%）の順となっています。



問 30 各支援や施策についての利用意向。

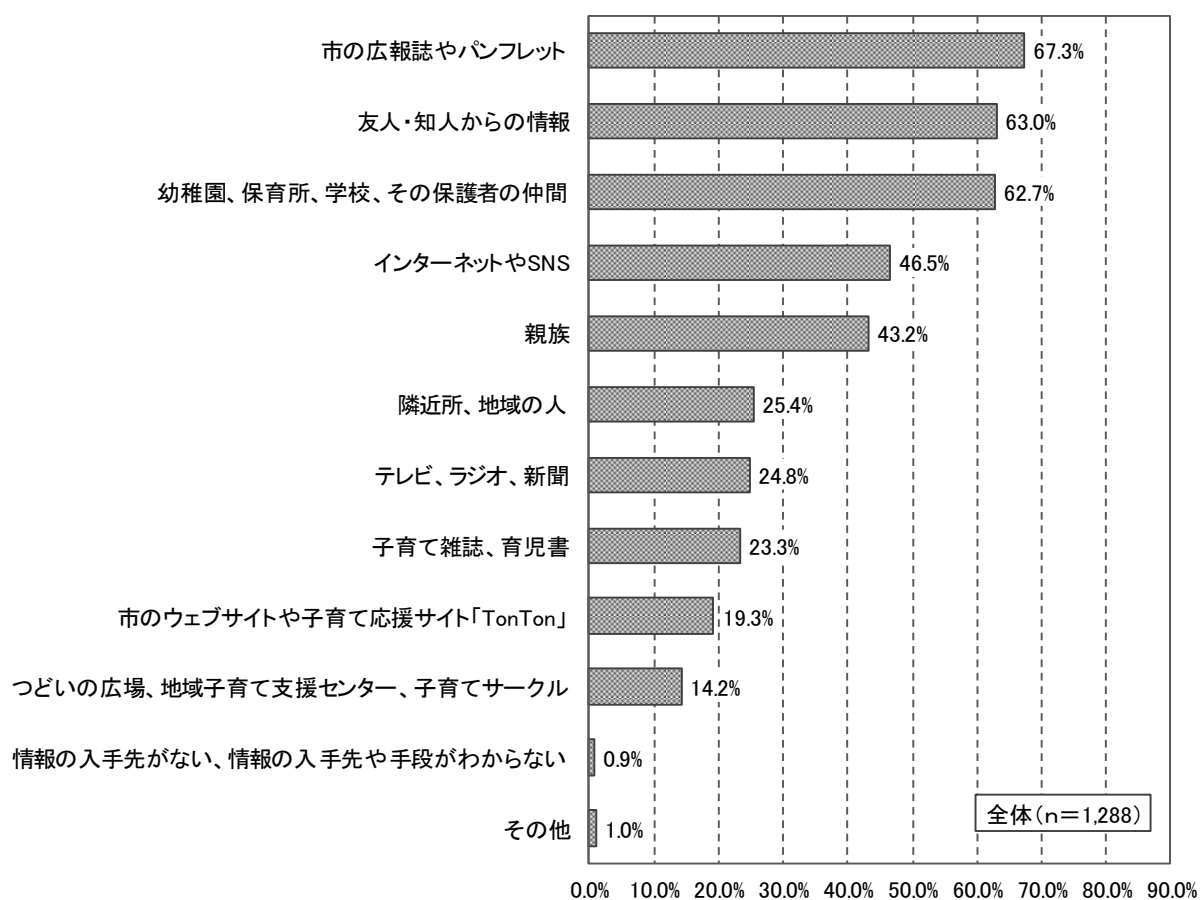
各支援や施策の利用意向について、「利用したい」が最も高いのは「オ. 経済的支援」（50.6%）であり、次いで、「キ. 住宅支援」・「ケ. 育児・子育て支援」・「コ. 子どもの学習支援」（45.9%で同率）の順となっています。



13. 子育てに関する情報源について

問 31 子育てに必要な情報をどのようなところから入手しているか。【MA】

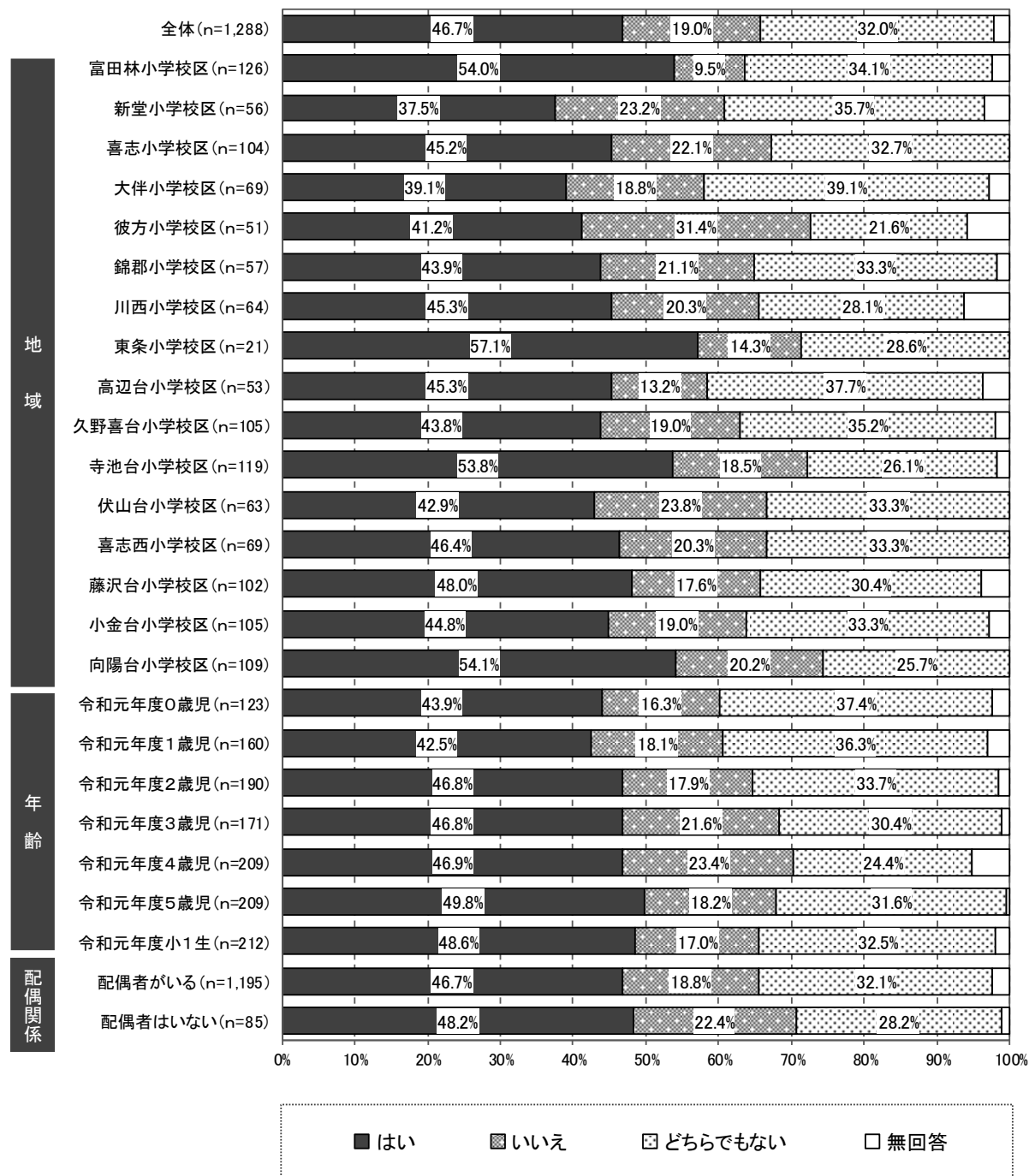
「市の広報誌やパンフレット」が67.3%と最も高く、次いで、「友人・知人からの情報」(63.0%)、「幼稚園、保育所、学校、その保護者の仲間」(62.7%)の順となっています。



14. 本市の子育て支援全般について

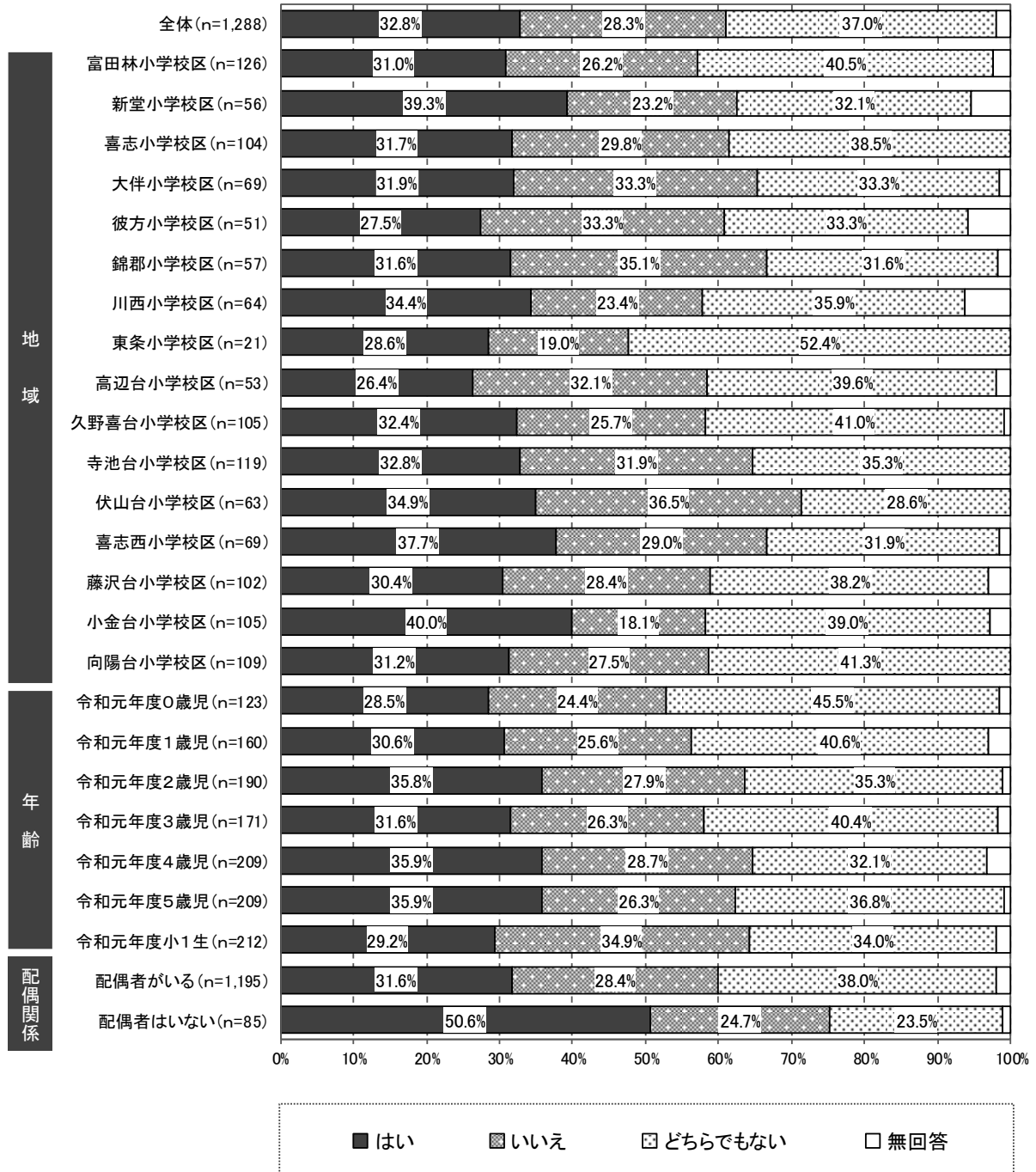
問 32ーア 幼児教育・保育の環境や子育て支援サービスに満足しているか。

全体では、「はい」が46.7%、「いいえ」が19.0%、「どちらでもない」が32.0%となっています。地域でみると、富田林・東条・寺池台・向陽台で「はい」の割合が高く、新堂・大伴で「はい」の割合が低くなっています。



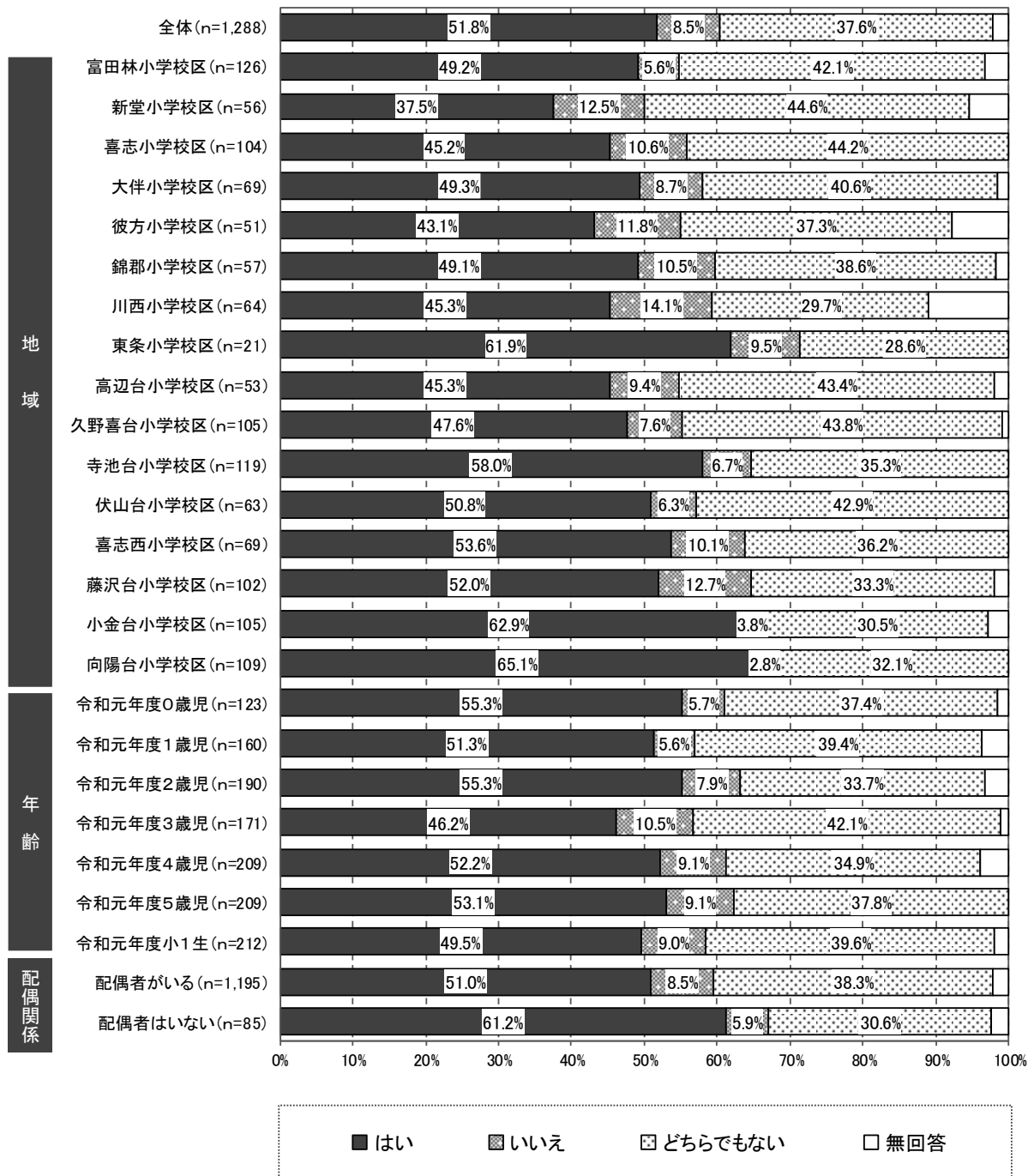
問 32-イ 子どもがいても安心して働けると感じるか。

全体では、「はい」が32.8%、「いいえ」が28.3%、「どちらでもない」が37.0%となっています。地域で見ると、新堂・小金台で「はい」の割合が高く、彼方・高辺台で「はい」の割合が低くなっています。配偶関係で見ると、配偶者はいない（ひとり親家庭）で「はい」の割合が高くなっています。



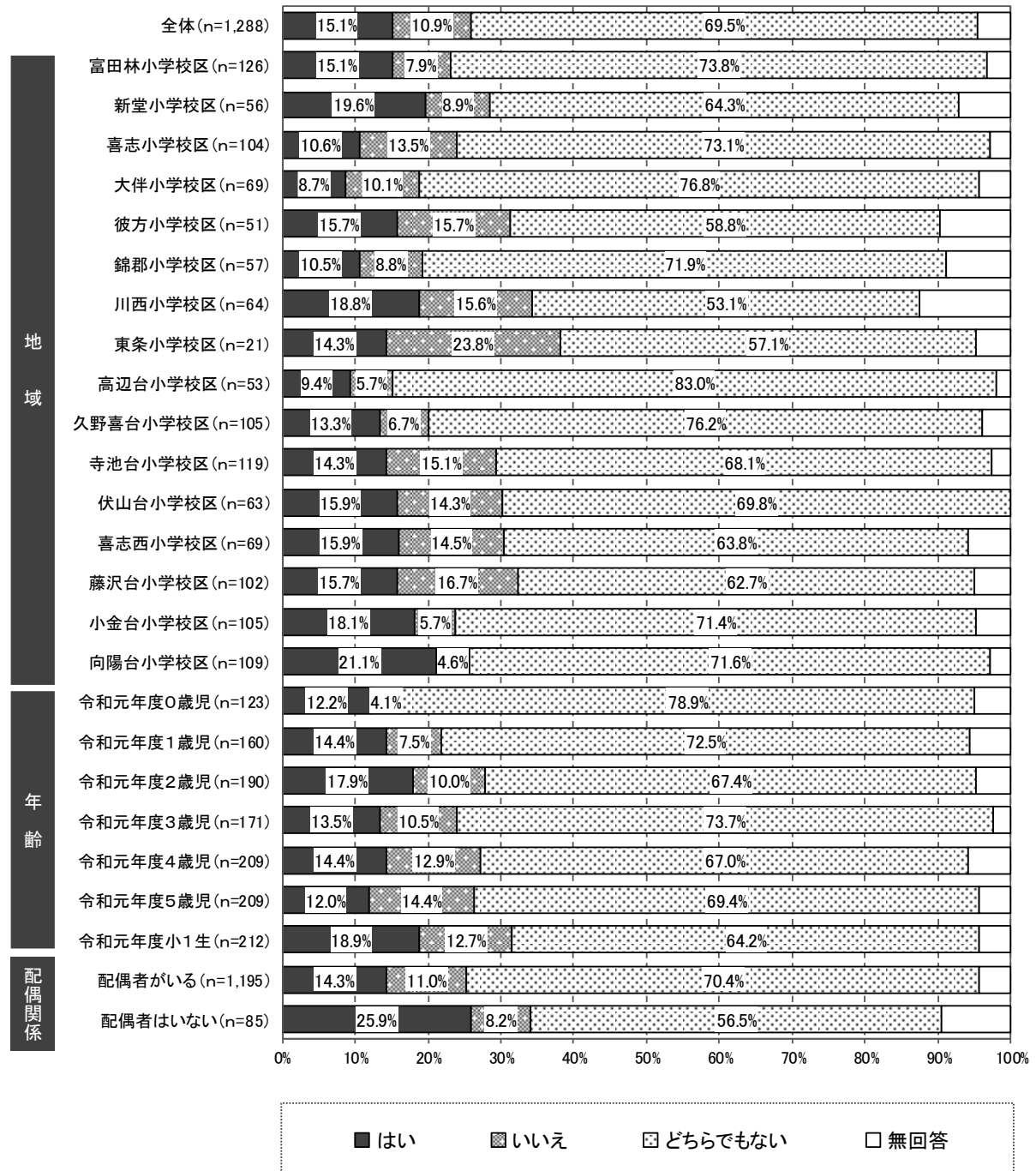
問 32-ウ 子どもにとって、本市が愛着のあるふるさととして認識され、成長できる環境にあると思うか。

全体では、「はい」が51.8%、「いいえ」が8.5%、「どちらでもない」が37.6%となっています。地域で見ると、東条・寺池台・小金台・向陽台で「はい」の割合が高く、新堂・彼方・川西・高辺台で「はい」の割合が低くなっています。配偶関係で見ると、配偶者はいない（ひとり親家庭）で「はい」の割合が高くなっています。



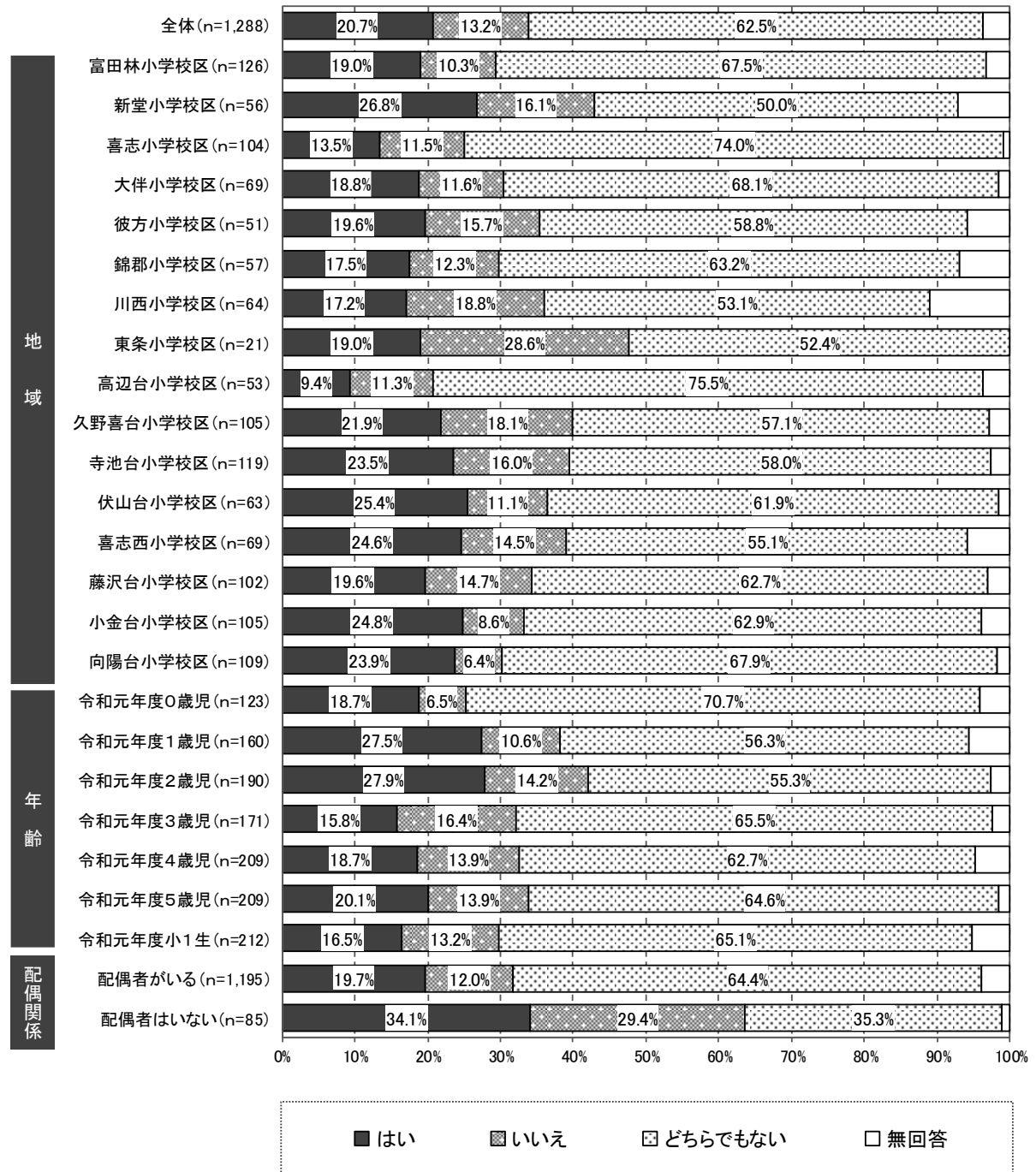
問 32-エ 障がいのある子どもを安心して育てられる環境であると感じるか。

全体では、「はい」が15.1%、「いいえ」が10.9%、「どちらでもない」が69.5%となっています。地域でみると、喜志・大伴・錦郡・高辺台で「はい」の割合が低くなっています。配偶関係でみると、配偶者はいない（ひとり親家庭）で「はい」の割合が高くなっています。



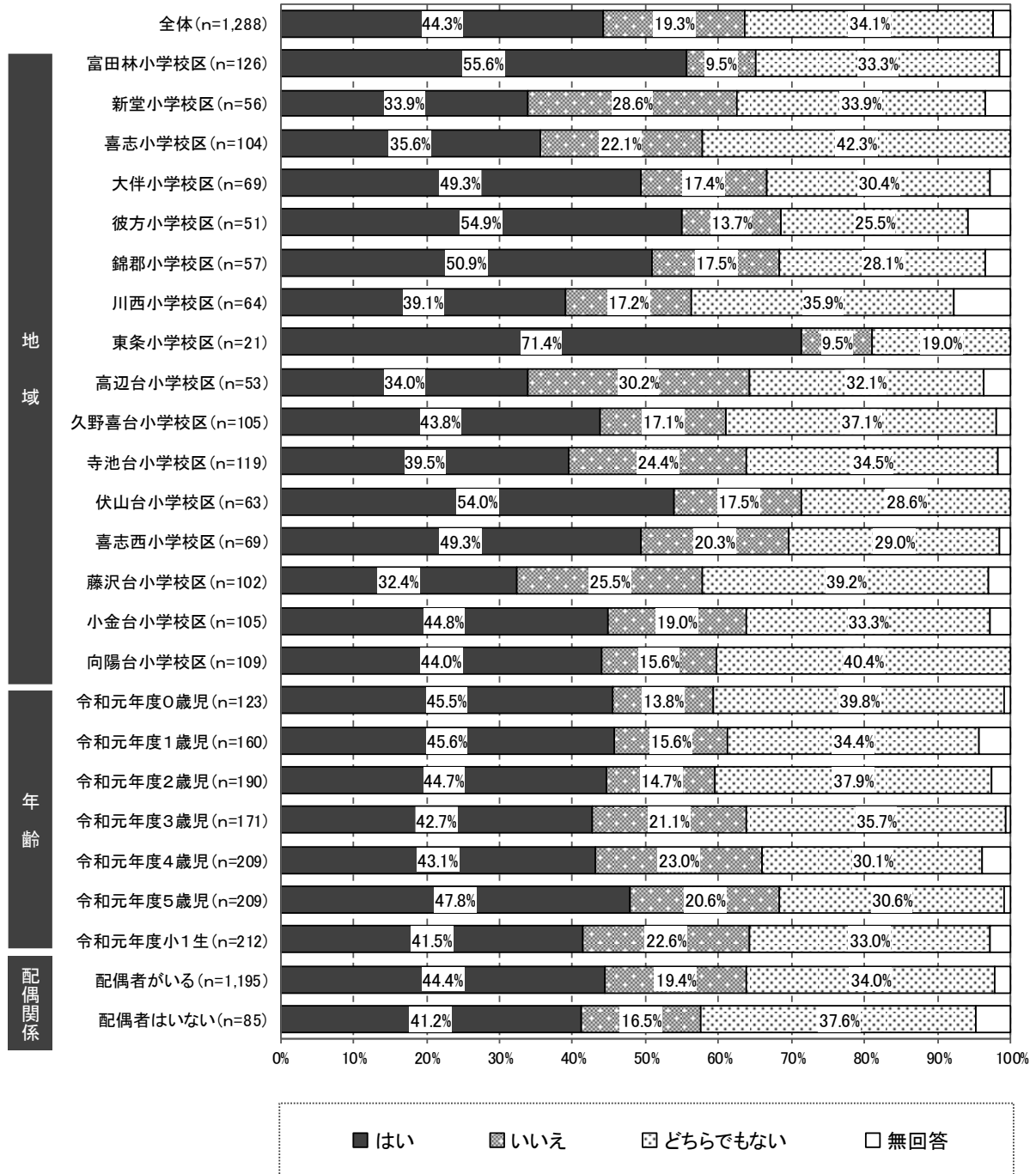
問 32-オ ひとり親世帯や核家族世帯が、子どもを安心して育てられる環境であると感じるか。

全体では、「はい」が20.7%、「いいえ」が13.2%、「どちらでもない」が62.5%となっています。地域でみると、新堂・伏山台で「はい」の割合が高く、喜志・高辺台で「はい」の割合が低くなっています。配偶関係でみると、配偶者はいない（ひとり親家庭）で「はい」の割合が高くなっています。



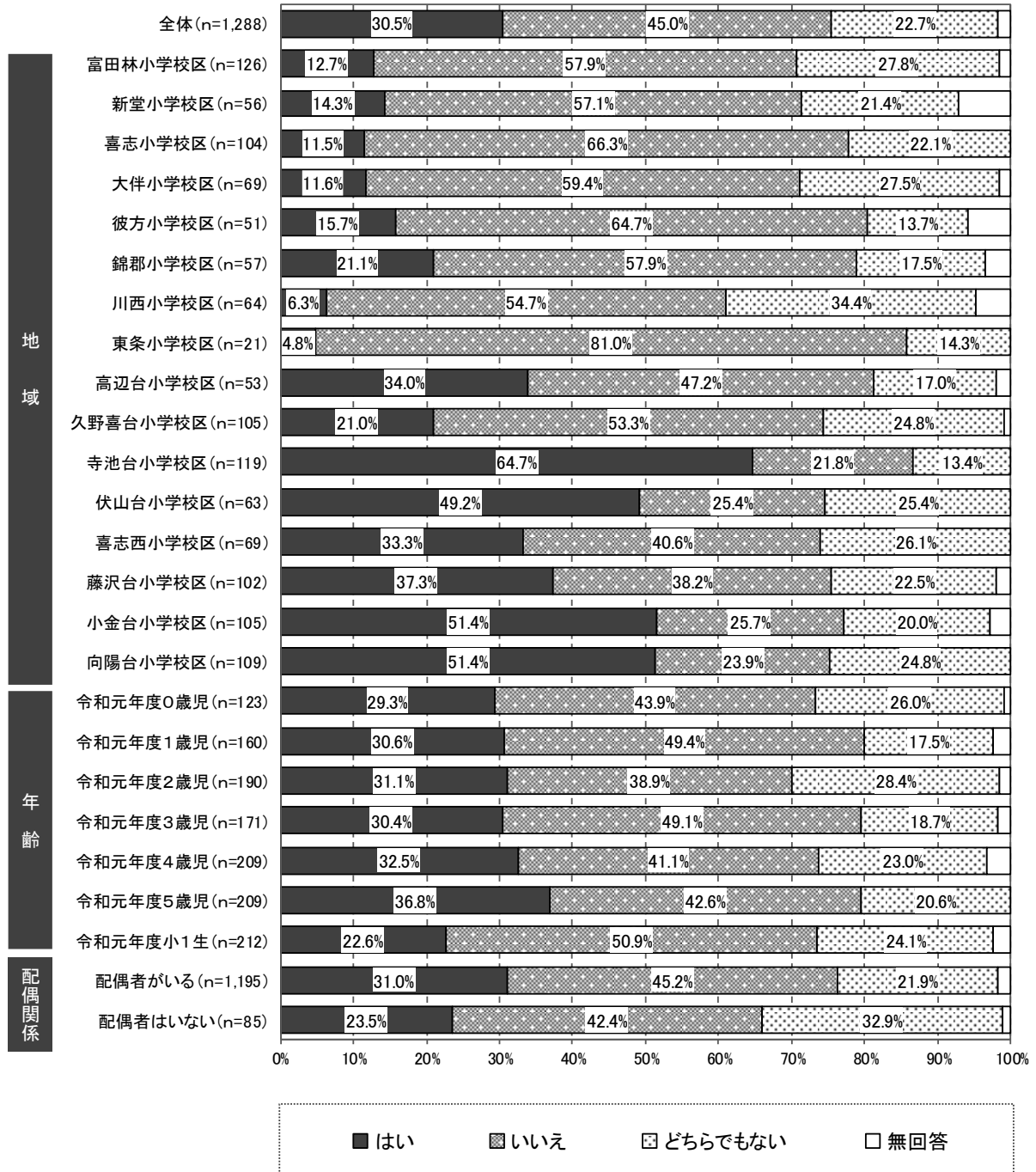
問 32-カ 子育てが地域の人たちに支えられていると感じるか。

全体では、「はい」が44.3%、「いいえ」が19.3%、「どちらでもない」が34.1%となっています。地域でみると、富田林・彼方・東条・伏山台で「はい」の割合が高く、新堂・喜志・川西・高辺台・寺池台・藤沢台で「はい」の割合が低くなっています。



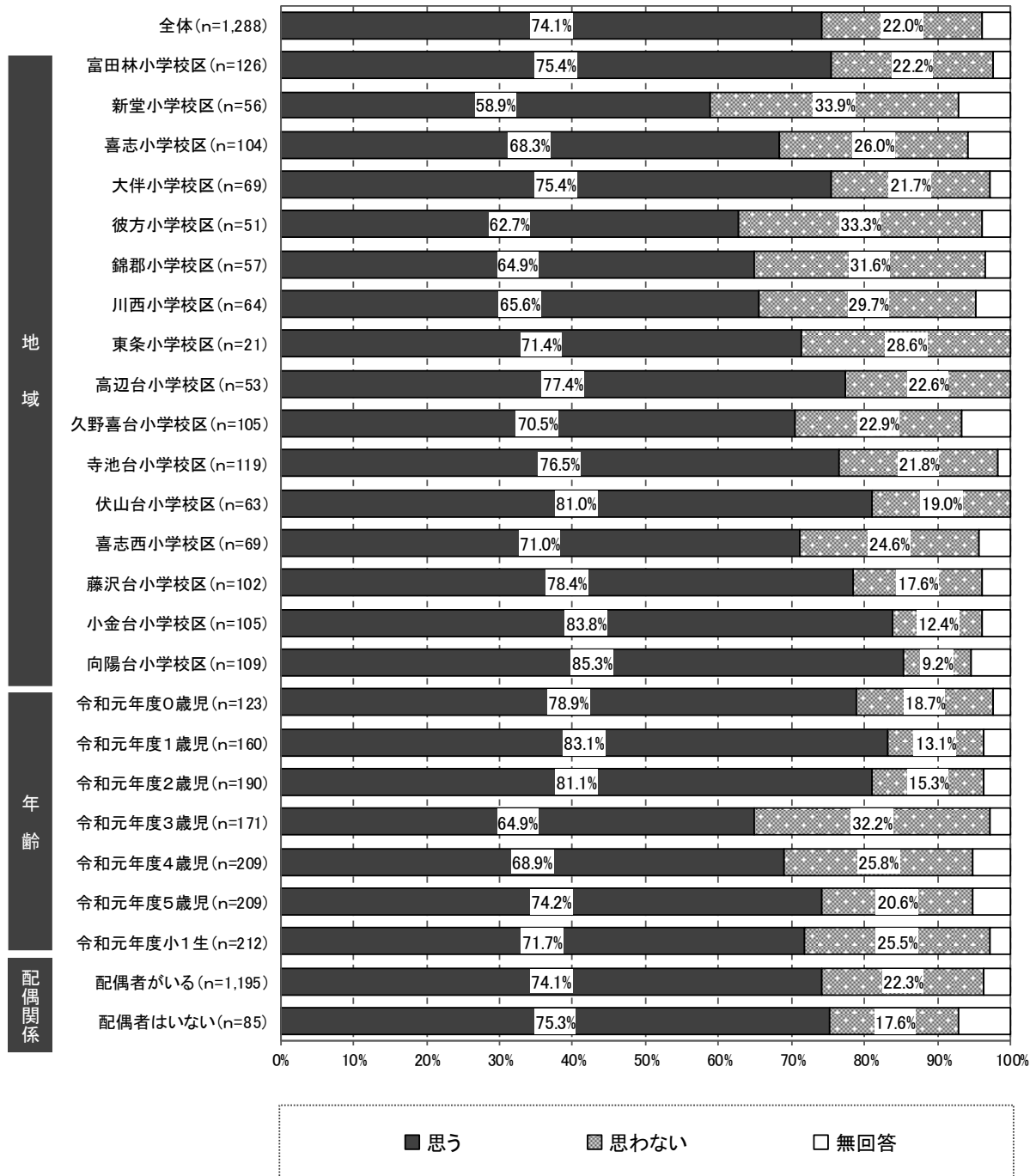
問 32ーキ 公園や遊具など遊び場が充実していると思うか。

全体では、「はい」が30.5%、「いいえ」が45.0%、「どちらでもない」が22.7%となっています。地域でみると、寺池台・伏山台・小金台・向陽台で「はい」の割合が高く、富田林・新堂・喜志・大伴・彼方・錦郡・川西・東条で「はい」の割合が低くなっています。



問 33 富田林市は、子育てしやすいまちだと思うか。

全体では、「はい」が74.1%、「いいえ」が22.0%となっています。地域でみると、伏山台・小金台・向陽台で「はい」の割合が高く、新堂・彼方・錦郡・川西で「はい」の割合が低くなっています。



「小学生児童」のニーズ調査について

Ⅲ 調査概要（小学生児童）

1 調査目的

本調査は、国の子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育や地域における子育て支援に関する事業の利用状況や、今後の利用希望などを把握するために実施しました。調査の結果は、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長できることを目的に策定する「第2期富田林市子ども・子育て支援計画」（2020～2024年度）に活用します。

2 調査対象・方法

（1）調査対象

- 調査対象：小学生の児童が属する世帯

※平成31年2月1日時点の住民基本台帳をもとに対象児童を持つ世帯を無作為抽出し、ご協力をお願いしました。

（2）配布数・有効回収数・回収率

- 配布数：1,000世帯
- 有効回収数：644世帯
- 回収率：64.4%

（3）調査方法

- 学校を通じて配布・郵送による回収

（4）調査時期

平成31年3月6日～3月20日

（5）数値等の基本的な取り扱いについて

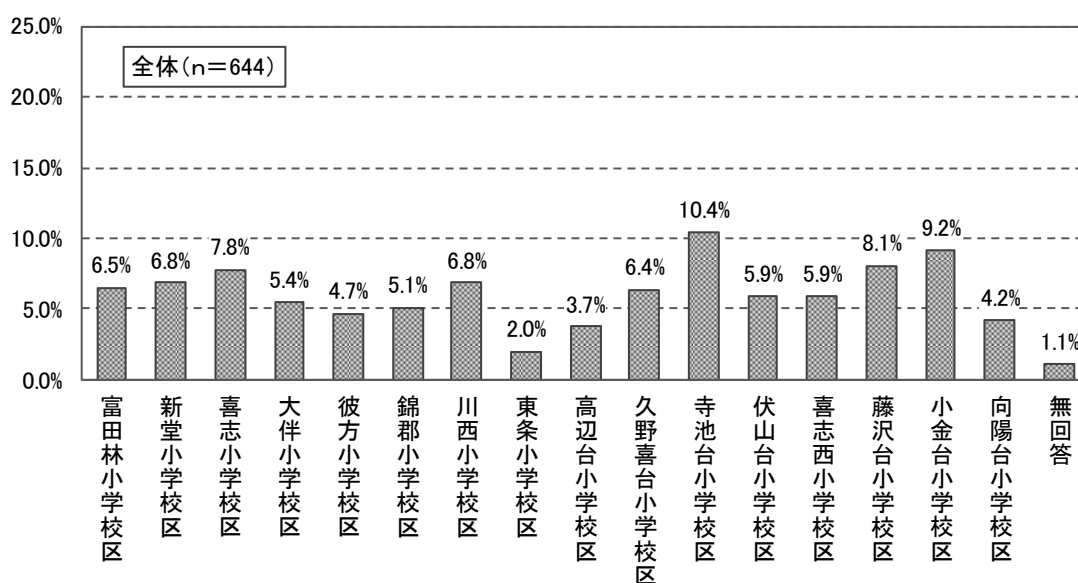
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- ・質問の終わりに【MA】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所や無回答の数値は、一部を除いて基本的に省略しています。
- ・質問の選択肢は、基本的に「」で表していますが、選択肢を2つ合わせて示す場合は“”で表してあります。
- ・時間などの数量データは、「～以上～未満」で集計してグラフを作成しています。

IV 調査結果（小学生児童）

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地域はどこか。

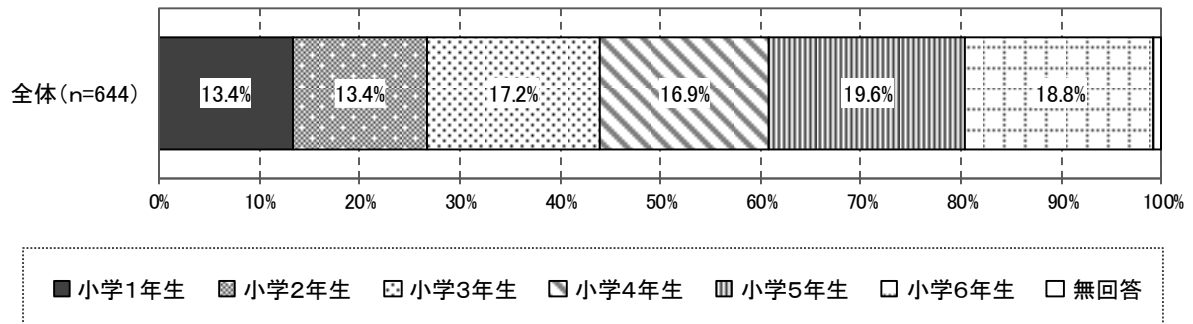
回答者の居住地は「寺池台小学校区」が10.4%と最も高く、次いで、「小金台小学校区」（9.2%）、「藤沢台小学校区」（8.1%）の順となっています。



2. お子さんとご家族の状況について

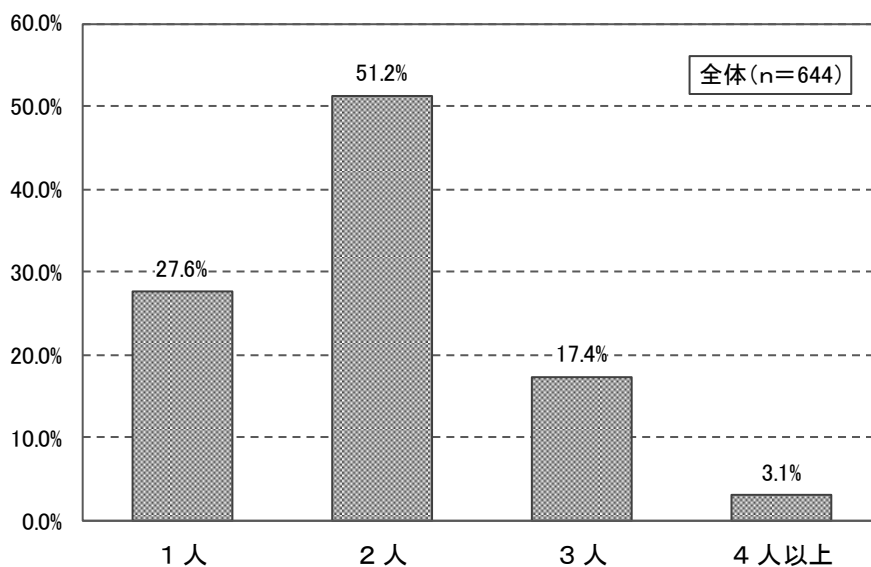
問2 お子さんの学年。

「小学5年生」が19.6%と最も高く、次いで、「小学6年生」(18.8%)、「小学3年生」(17.2%)の順となっています。



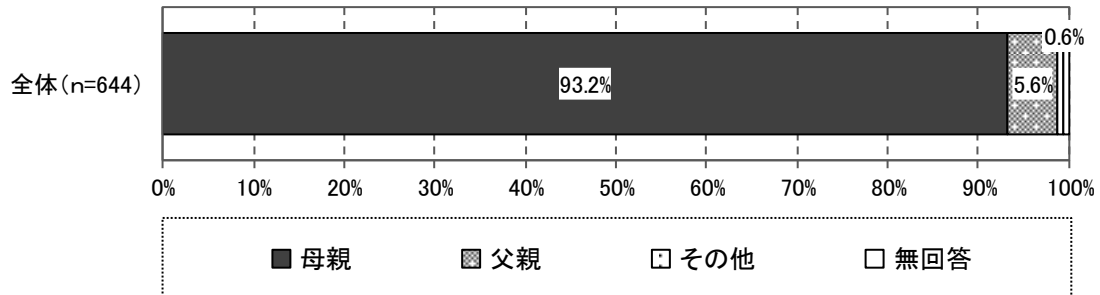
問3 お子さんは何人いるか。

「2人」が51.2%と最も高く、次いで、「1人」(27.6%)、「3人」(17.4%)の順となっています。



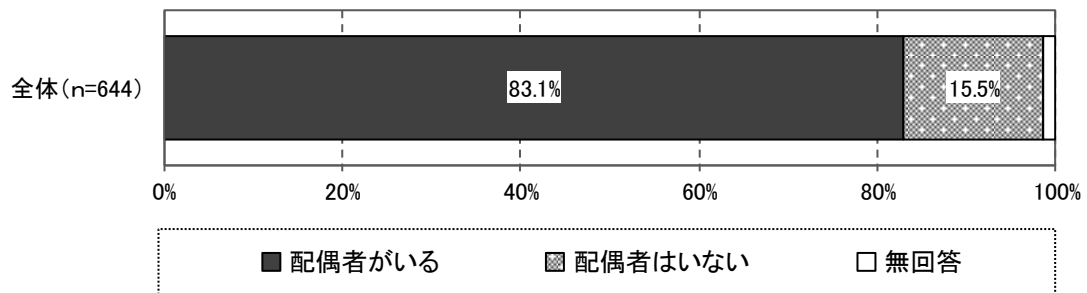
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたか。

「母親」が93.2%、「父親」が5.6%となっています。



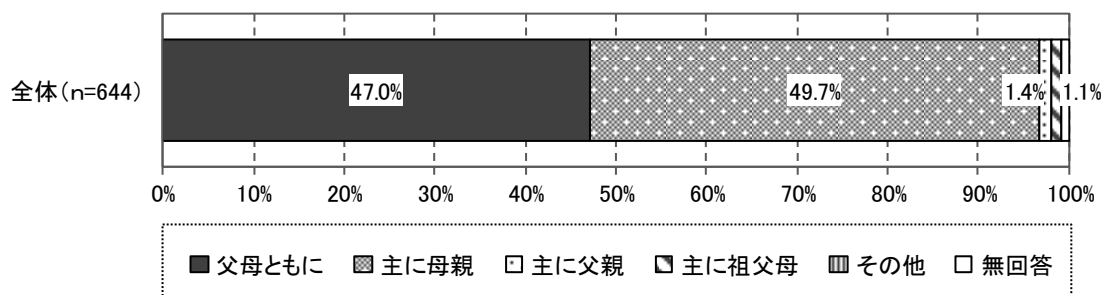
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係。

「配偶者がいる」が83.1%、「配偶者がいない」が15.5%となっています。



問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたか。

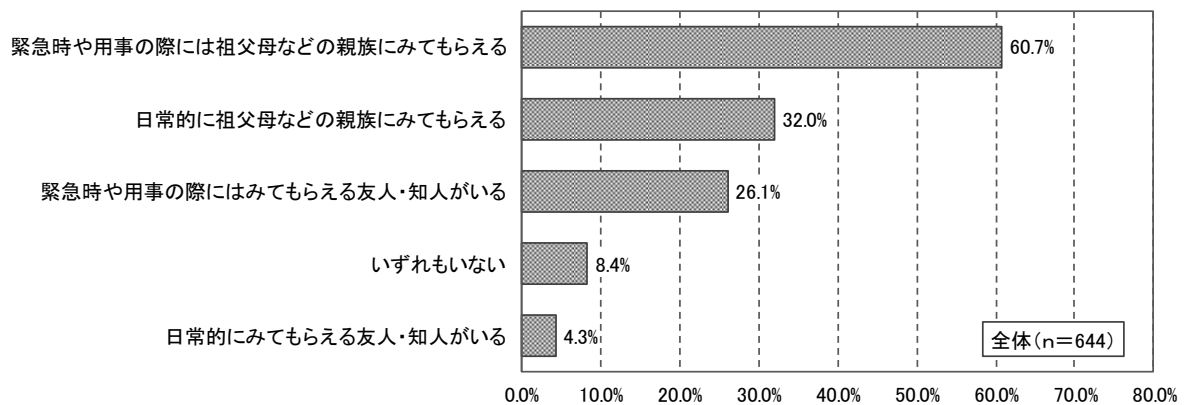
「主に母親」が49.7%と最も高く、次いで、「父母ともに」（47.0%）、「主に父親」（1.4%）、「主に祖父母」（1.1%）の順となっています。



3. 子どもの育ちをめぐる環境について

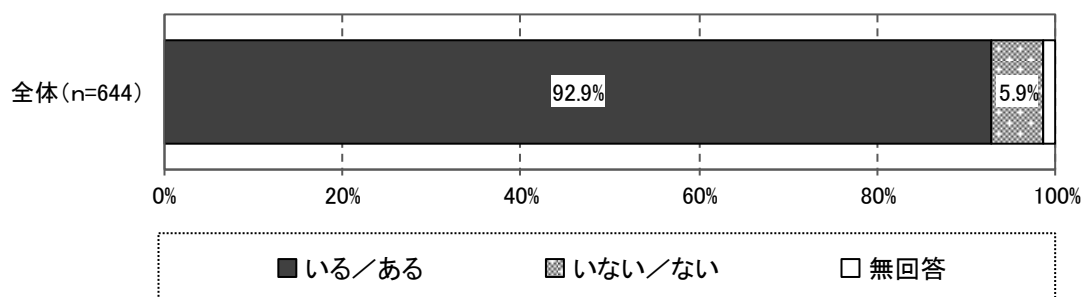
問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるか。【MA】

「緊急時や用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が60.7%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」（32.0%）、「緊急時や用事の際にはみてもらえる友人・知人がいる」（26.1%）の順となっています。



問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいるか。また、相談できる場所はあるか。

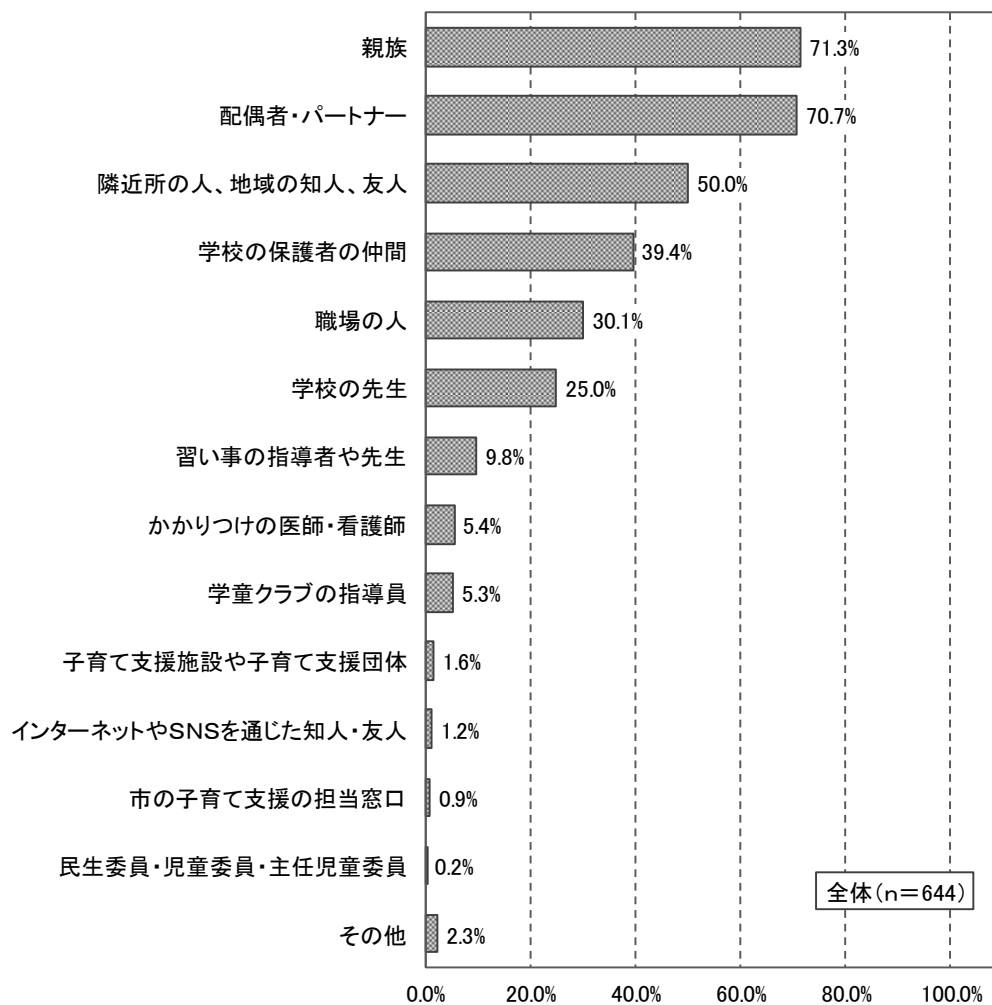
「いる／ある」が92.9%、「いない／ない」が5.9%となっています。



◆ 問8で「1. いる／ある」と回答した方。

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人（場所）は、誰（どこ）か。【MA】

「親族」が71.3%と最も高く、次いで、「配偶者・パートナー」（70.7%）、「隣近所の人、地域の知人、友人」（50.0%）の順となっています。

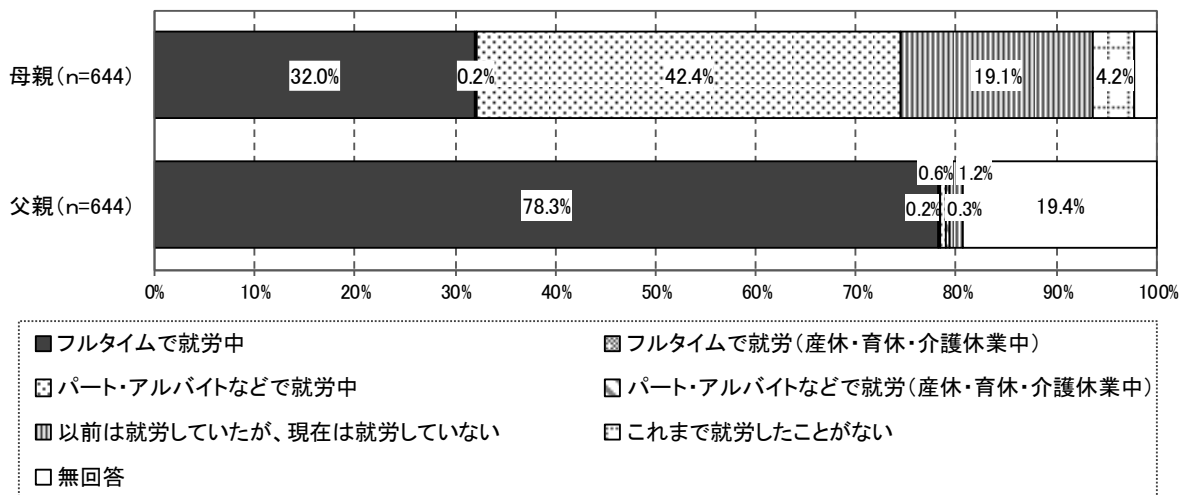


4. お子さんの保護者の就労状況について

問9及び問10 お子さんの母親・父親の現在の就労状況。

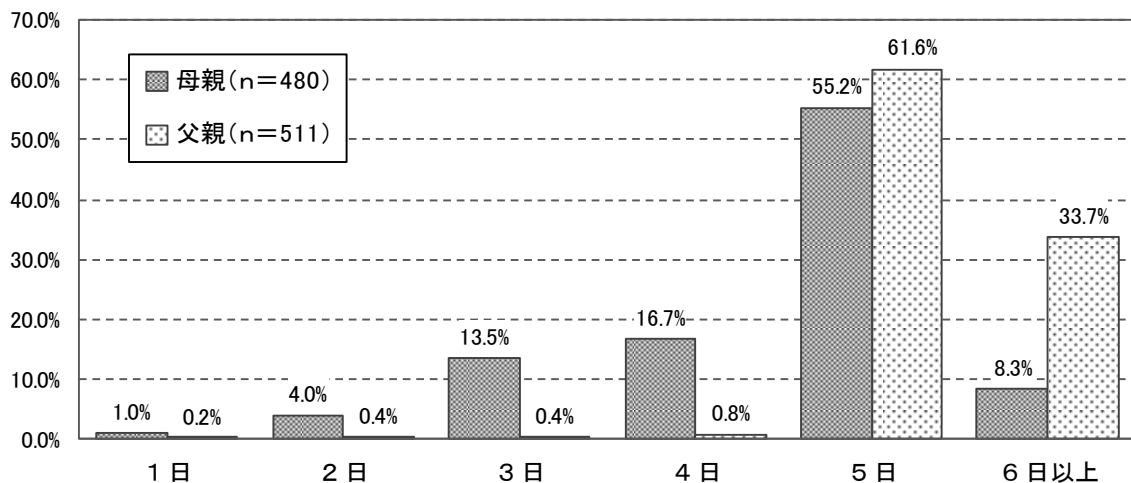
母親でみると、「パート・アルバイトなどで就労中」が42.4%と最も高く、次いで、「フルタイムで就労中」(32.0%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(19.1%)、「これまで就労したことがない」(4.2%)、「フルタイムで就労(産休・育休・介護休業中)」(0.2%)の順となっています。

父親でみると、「フルタイムで就労中」が78.3%と最も高く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(1.2%)、「パート・アルバイトなどで就労中」(0.6%)、「パート・アルバイトなどで就労(産休・育休・介護休業中)」(0.3%)、「フルタイムで就労(産休・育休・介護休業中)」(0.2%)の順となっています。



問9-1及び問10-1 就労している方の1週当たりの就労日数。

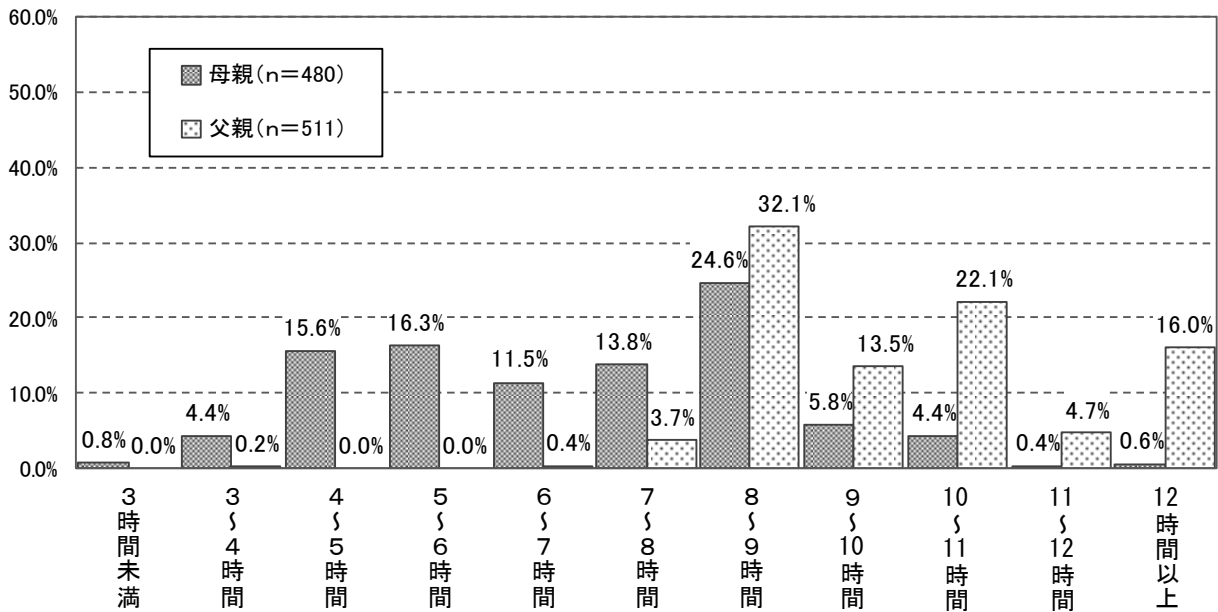
母親・父親ともに「5日」の割合が最も高くなっています。



問 9-1 及び問 10-1 就労している方の 1 日当たりの就労時間(残業時間を含む)。

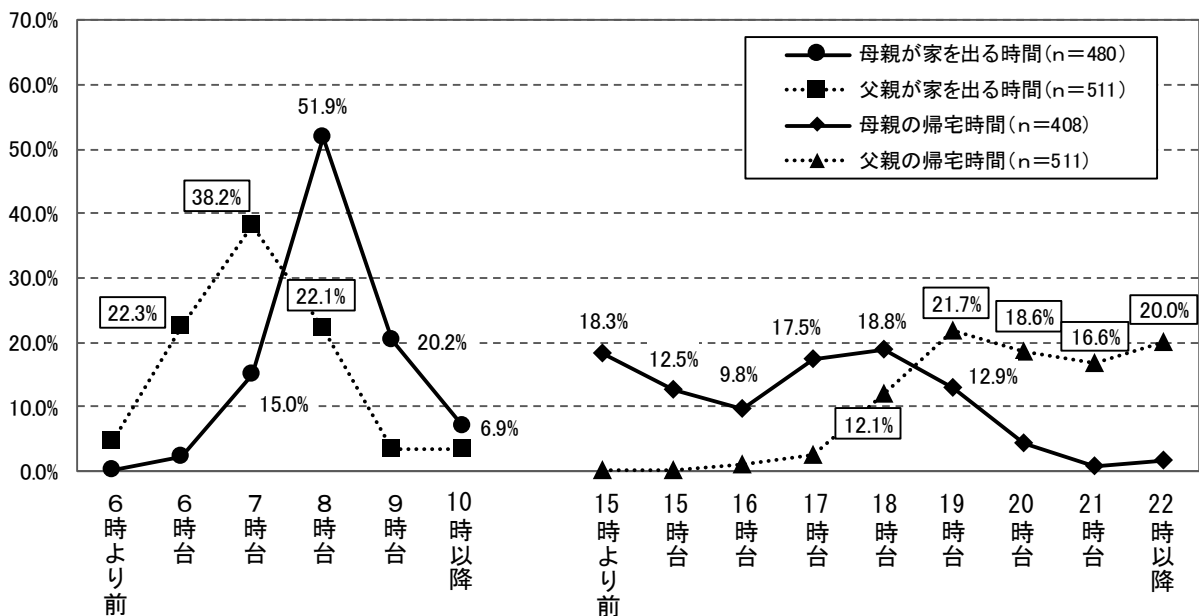
母親でみると、「8～9時間」が24.6%と最も高く、次いで、「5～6時間」(16.3%)、「4～5時間」(15.6%)の順となっています。

父親でみると、「8～9時間」が32.1%と最も高く、次いで、「10～11時間」(22.1%)、「12時間以上」(16.0%)の順となっています。



問 9-1 及び問 10-1 就労している方の家を出る時刻と帰宅時刻。

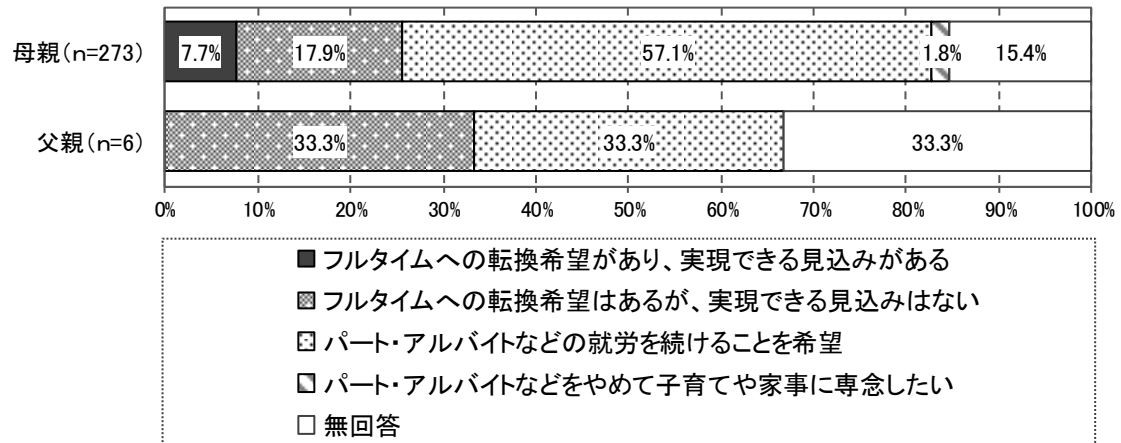
母親でみると、家を出る時刻は「8時台」、帰宅時刻は「18時台」が最も高く、父親では、家を出る時刻は「7時台」、帰宅時刻は「19時台」が最も高くなっています。



問 11 パート・アルバイトなどで就労している方のフルタイムへの転換希望。

母親でみると、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が57.1%と最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（17.9%）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（7.7%）の順となっています。

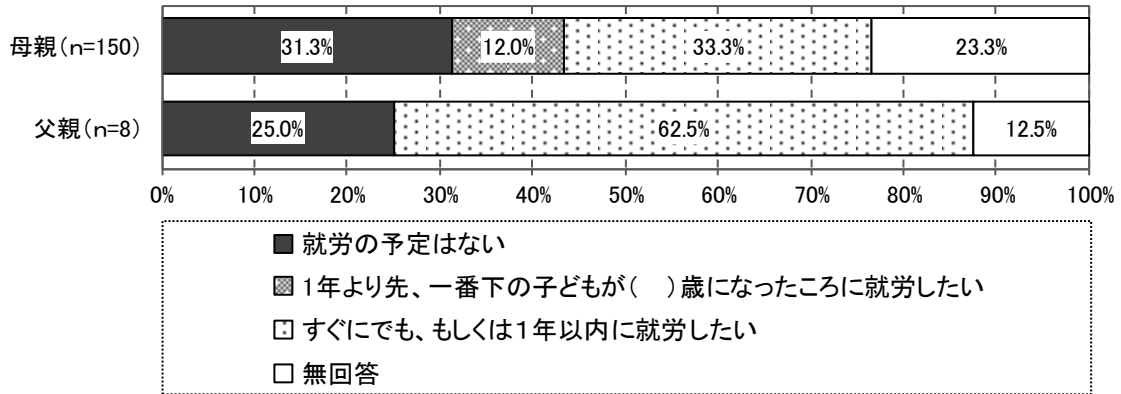
父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



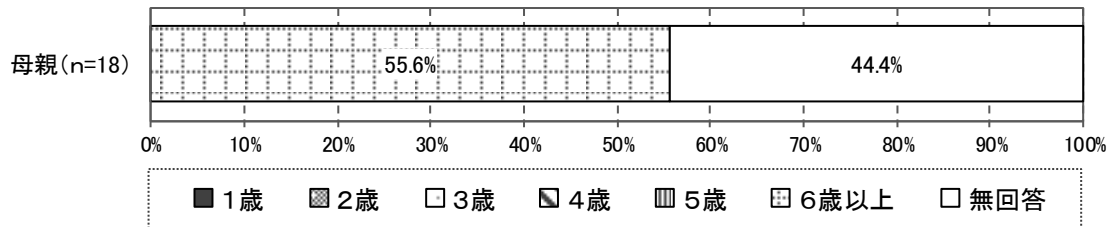
問 12 就労していない、または、就労したことがない方の就労希望。

母親でみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が33.3%と最も高く、次いで、「就労の予定はない」(31.3%)、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」(12.0%)となっています。

父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



《一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか》

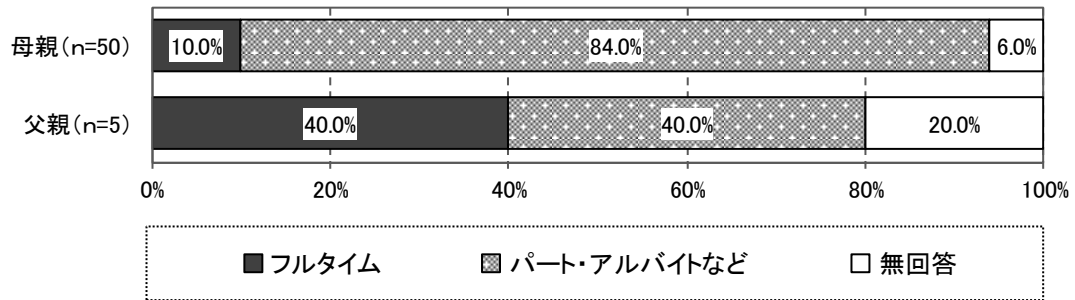


※「一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか」について、父親は該当者がおられませんでした。

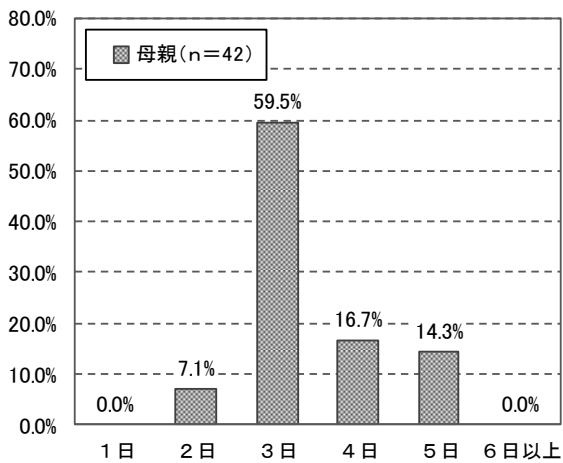
問12 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態。

母親でみると、「フルタイム」が10.0%、「パート・アルバイトなど」が84.0%となっています。

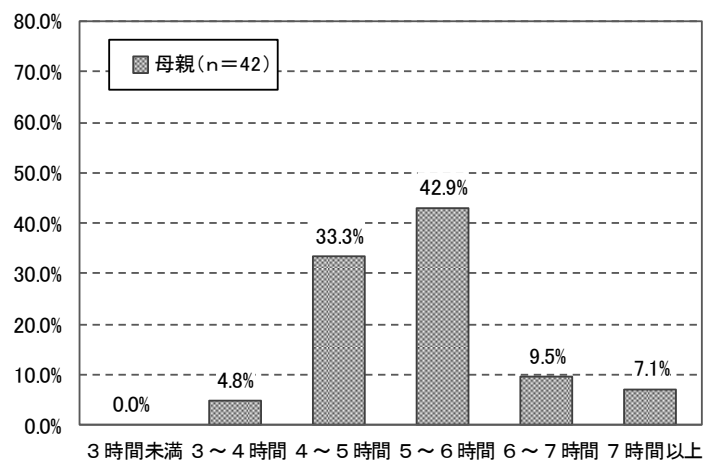
父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



《希望する就労形態（週あたり日数）》



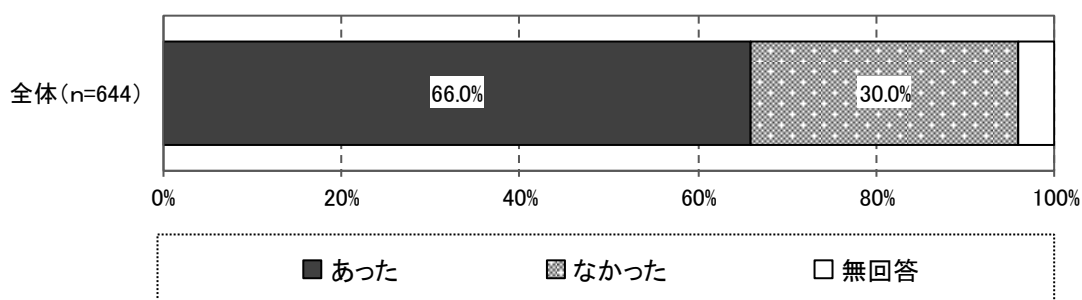
《希望する就労形態（1日当たりの時間）》



5. お子さんが病気の際の対応について

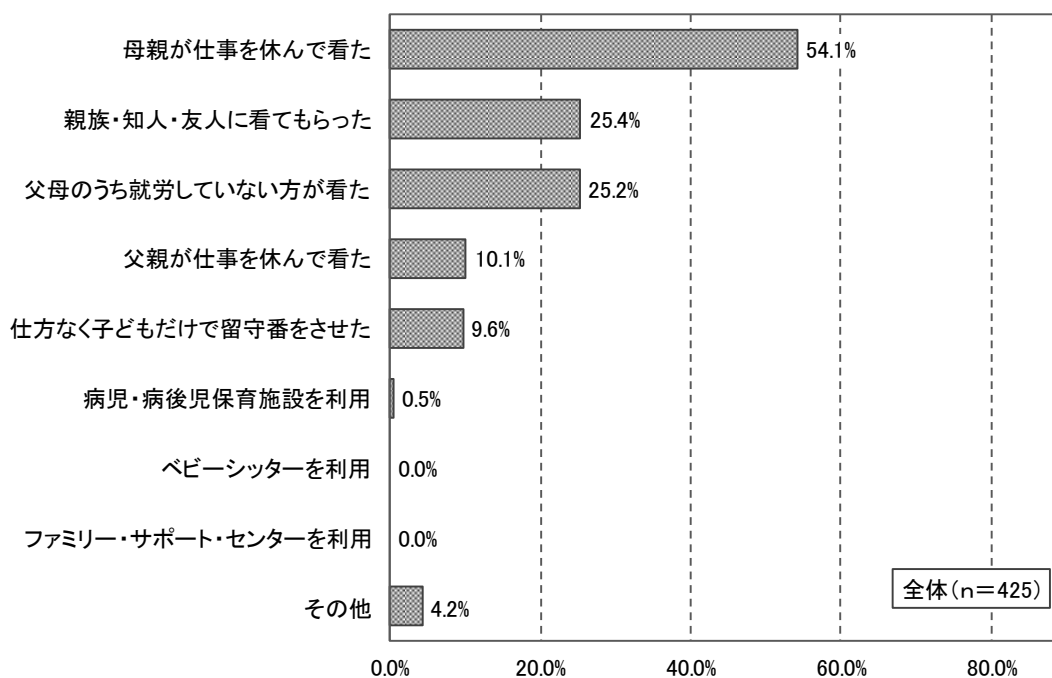
問 13 この1年間に、お子さんが病気やけがで小学校を休むことがあったか。

「あった」が66.0%、「なかった」が30.0%となっています。



問 13-1 お子さんが病気やけがで小学校を休んだ場合、この1年間に行った対処方法はどれか。【MA】

「母親が仕事を休んで見た」が54.1%と最も高く、次いで、「親族・知人・友人に看てもらった」(25.4%)、「父母のうち就労していない方が見た」(25.2%)の順となっています。



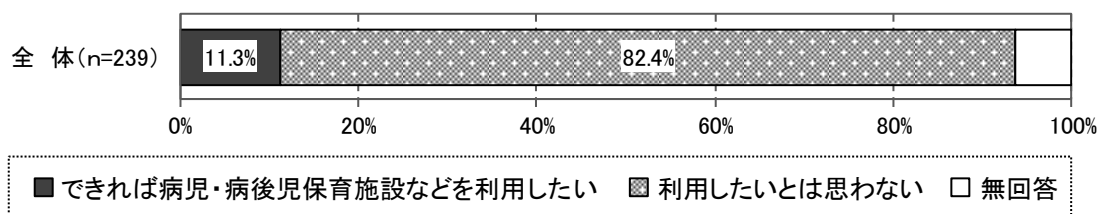
問 13-1 お子さんが病気やけがで小学校を休んだ場合に、この1年間に対処した日数。

	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
母親が仕事を休んで見た	230	74 32.2%	35 15.2%	45 19.6%	11 4.8%	21 9.1%	13 5.7%	12 5.2%	19 8.3%
親族・知人・友人に看てもらった	108	37 34.3%	17 15.7%	17 15.7%	4 3.7%	12 11.1%	5 4.6%	4 3.7%	12 11.1%
父母のうち就労していない方が見た	107	21 19.6%	16 15.0%	8 7.5%	6 5.6%	16 15.0%	15 14.0%	16 15.0%	9 8.4%
父親が仕事を休んで見た	43	26 60.5%	9 20.9%	5 11.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	2 4.7%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	41	20 48.8%	10 24.4%	4 9.8%	1 2.4%	1 2.4%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%
病児・病後児保育施設を利用	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
ベビーシッターを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	18	6 33.3%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%	4 22.2%

◆ 問 13-1 で「1.」または「2.」（父親または母親が仕事を休んで見た）に○をつけた方。

問 13-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思ったか。

「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が11.3%、「利用したいとは思わない」が82.4%となっています。

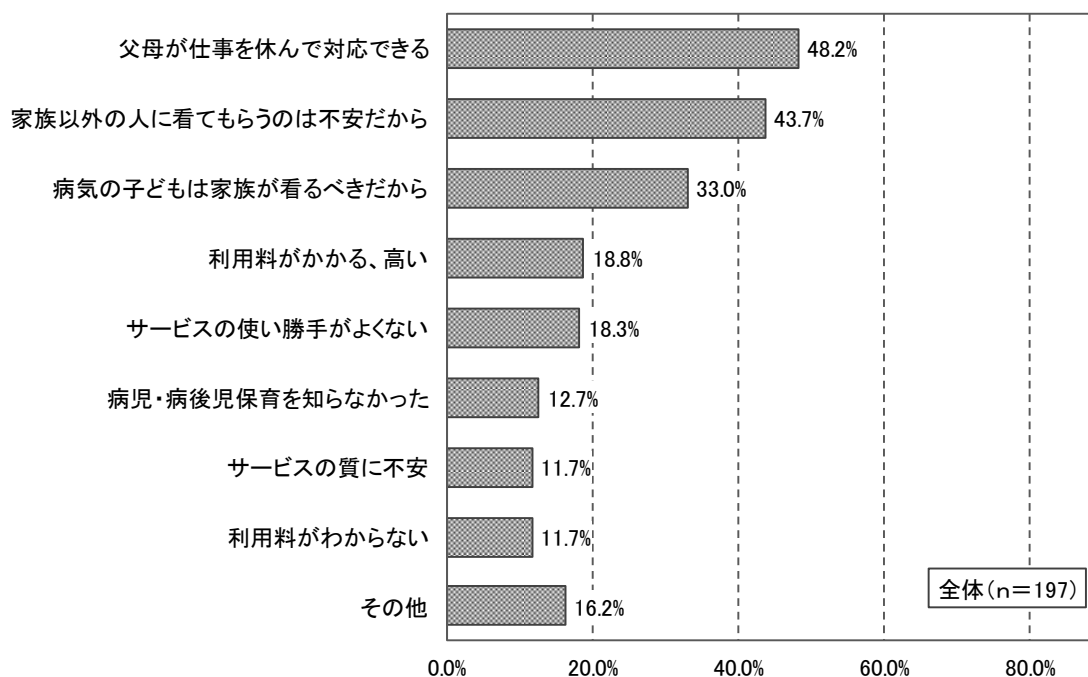


	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
病児・病後児保育施設などを利用したい	27	5 18.5%	3 11.1%	2 7.4%	0 0.0%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	14 51.9%

◆ 問13-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方。

問13-3 利用したいとは思わない理由。【MA】

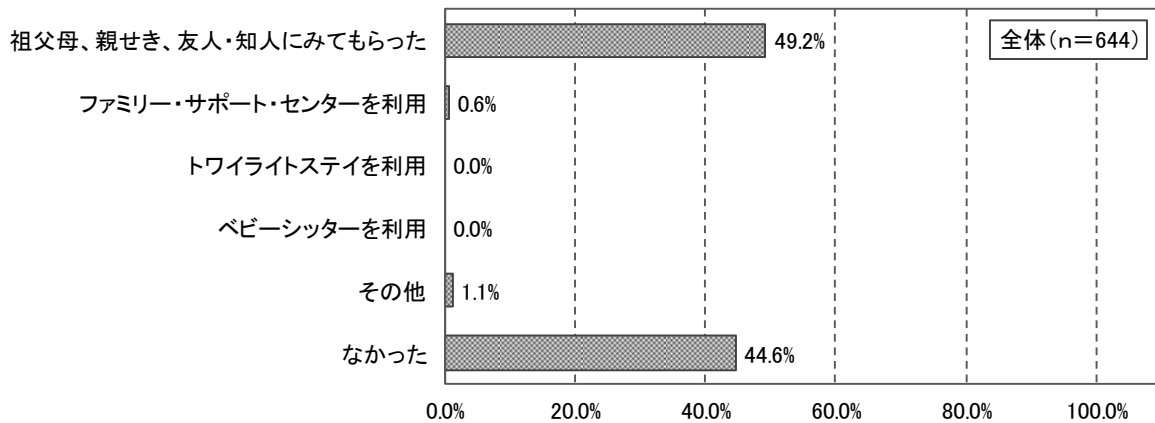
「父母が仕事を休んで対応できる」が48.2%と最も高く、次いで、「家族以外の人に看てもらうのは不安だから」(43.7%)、「病気の子どもは家族が看るべきだから」(33.0%)の順となっています。



6. お子さんの一時預かりなどの利用について

問 14 この1年間に、保護者の都合や用事により、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはあったか。【MA】

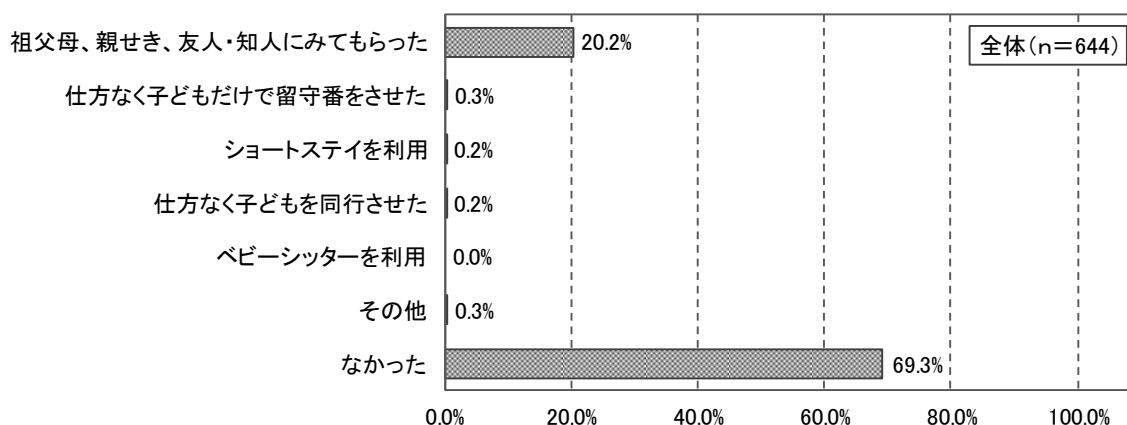
「祖父母、親せき、友人・知人にみてもらった」が49.2%と最も高く、次いで、「なかった」(44.6%)、「その他」(1.1%)の順となっています。



	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6～9 日	10日以 上	無回答
祖父母、親せき、友人・知人にみてもらった	317	38 12.0%	31 9.8%	35 11.0%	6 1.9%	42 13.2%	20 6.3%	121 38.2%	24 7.6%
ファミリー・サポート・センターを利用	4	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
トワイライトステイを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ベビーシッターを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	7	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	1 14.3%

問 15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊まりがけでみてもらったことがあったか。

「なかった」が69.3%と最も高く、次いで、「祖父母、親せき、友人・知人にみてもらった」（20.2%）、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」・「その他」（0.3%と同率）の順となっています。



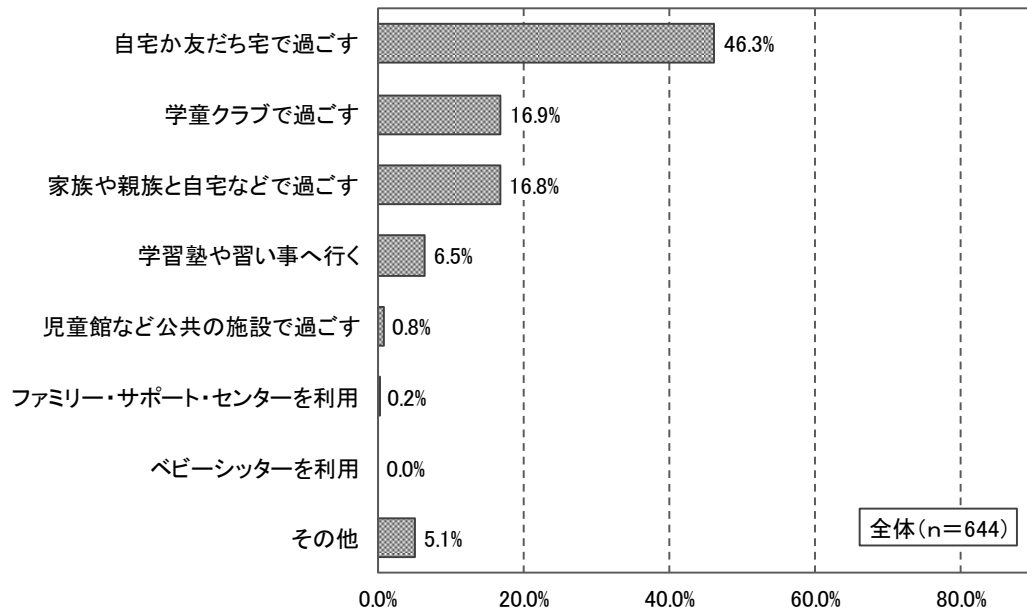
	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
祖父母、親せき、友人・知人にみてもらった	130	32 24.6%	18 13.8%	20 15.4%	9 6.9%	8 6.2%	6 4.6%	31 23.8%	6 4.6%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ショートステイを利用	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
仕方なく子どもを同行させた	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ベビーシッターを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	2	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

7. お子さんの放課後の過ごし方について

問 16 お子さんはどうのような場所で過ごしているか。

ア. 終礼後～17時

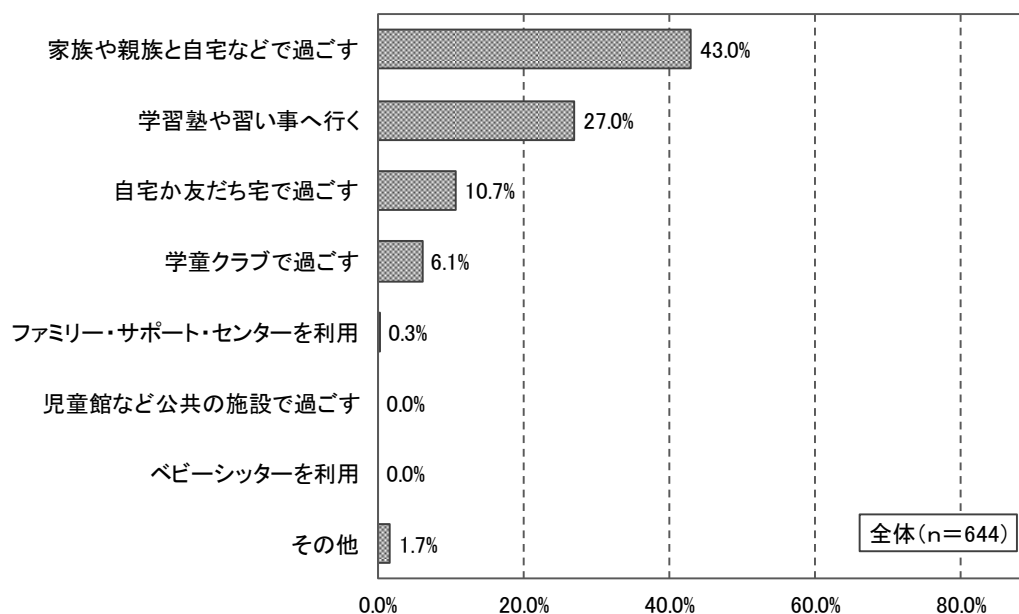
「自宅か友だち宅で過ごす」が46.3%と最も高く、次いで、「学童クラブで過ごす」(16.9%)、「家族や親族と自宅などで過ごす」(16.8%)の順となっています。



問 16 お子さんはどのような場所で過ごしているか。

イ. 17～19 時

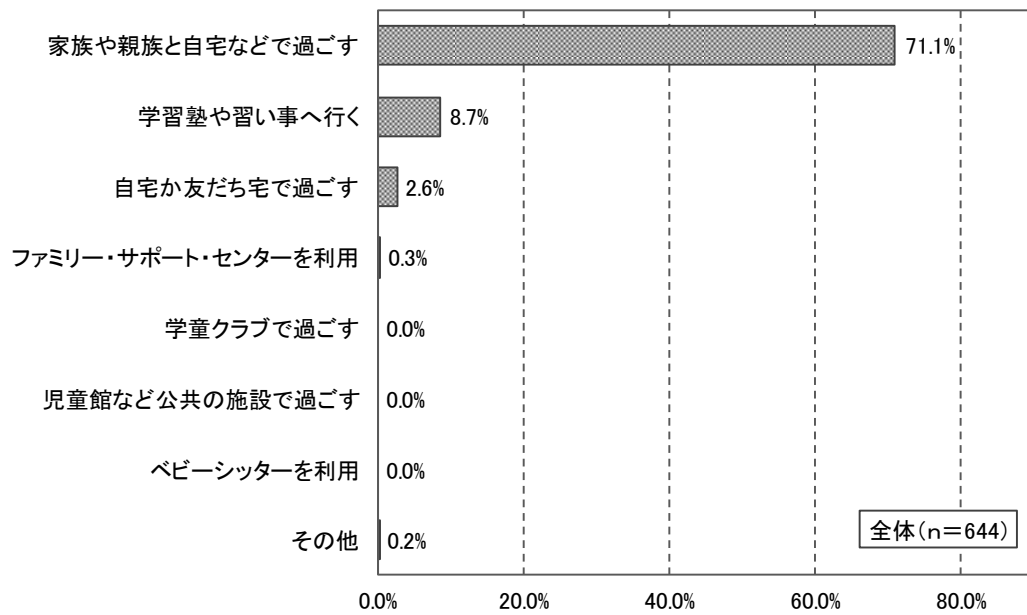
「家族や親族と自宅などで過ごす」が 43.0%と最も高く、次いで、「学習塾や習い事へ行く」(27.0%)、「自宅か友だち宅で過ごす」(10.7%) の順となっています。



問 16 お子さんはどのような場所で過ごしているか。

ウ. 19～21 時

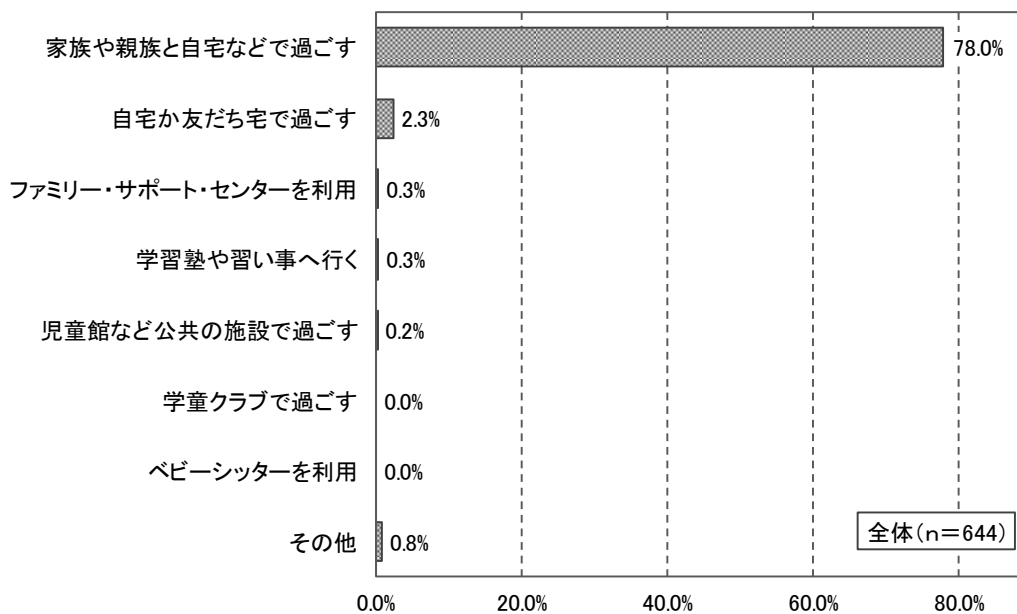
「家族や親族と自宅などで過ごす」が71.1%と最も高く、次いで、「学習塾や習い事へ行く」(8.7%)、「自宅か友だち宅で過ごす」(2.6%)の順となっています。



問 16 お子さんはどのような場所で過ごしているか。

エ. 21 時以降

「家族や親族と自宅などで過ごす」が 78.0%と最も高く、次いで、「自宅か友だち宅で過ごす」(2.3%)、「ファミリー・サポート・センターを利用」・「学習塾や習い事へ行く」(0.3%で同率)の順となっています。



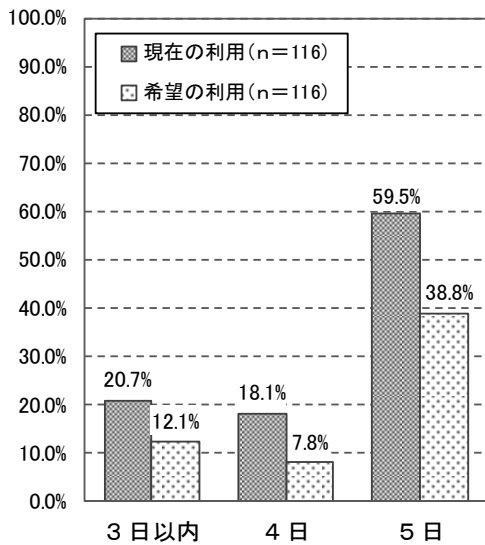
◆問 16 で、「1. 学童クラブで過ごす」に○をつけた方。

問 16-1 学童クラブの利用について、平日における現在の最も多いパターンの利用と、希望の利用日数、時間はどのくらいか。

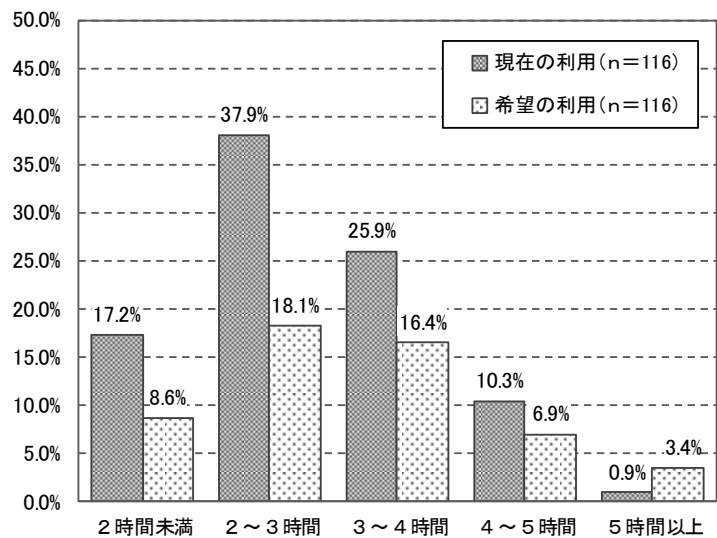
無回答の方もいるため、現在の利用より希望の利用の方がグラフの割合が低くなっていますが、おおむね現在の利用で充足されている傾向となっています。

ただし、利用時間（何時まで）のうち「19 時以降」の希望の利用割合がやや多くなっており、就労に伴う子どもの預かり時間の延長を求めるニーズがうかがえます。

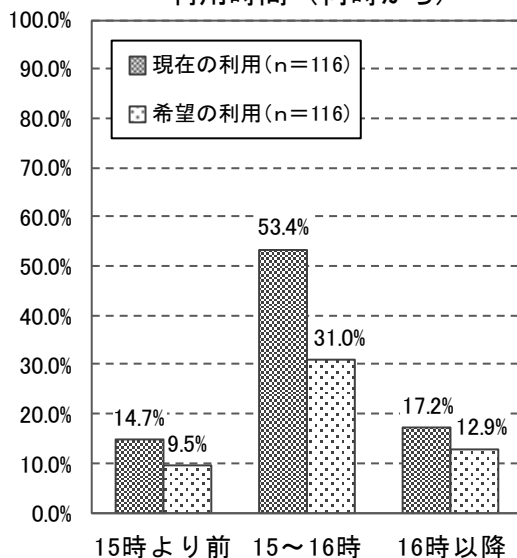
《利用日数》



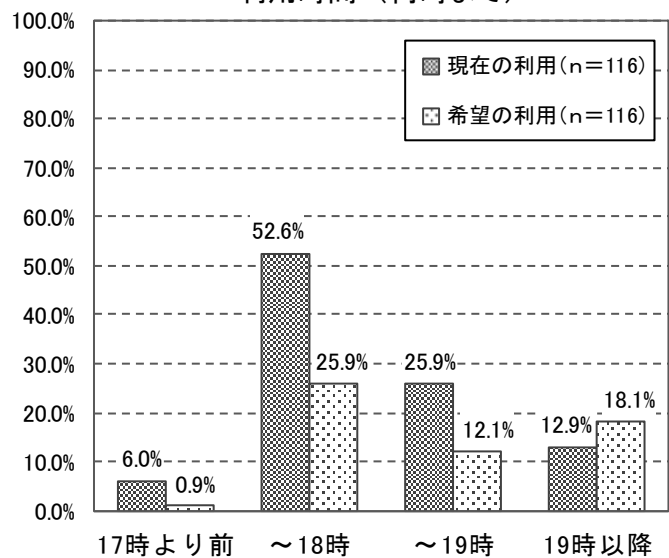
《1 日あたりの利用時間》



利用時間（何時から）



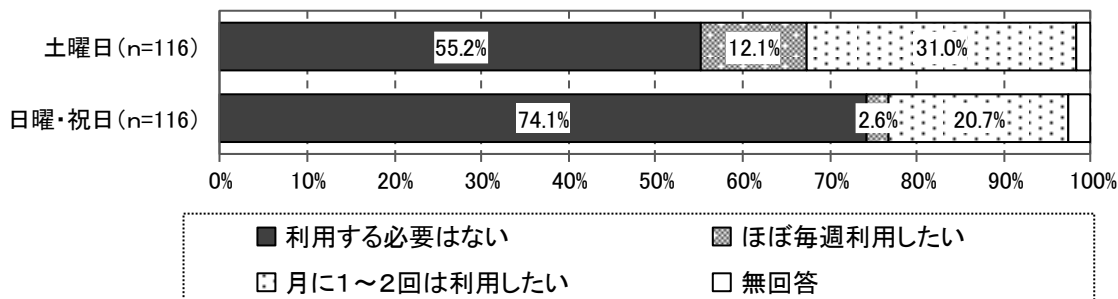
利用時間（何時まで）



◆問 16 で、「1. 学童クラブで過ごす」に○をつけた方。

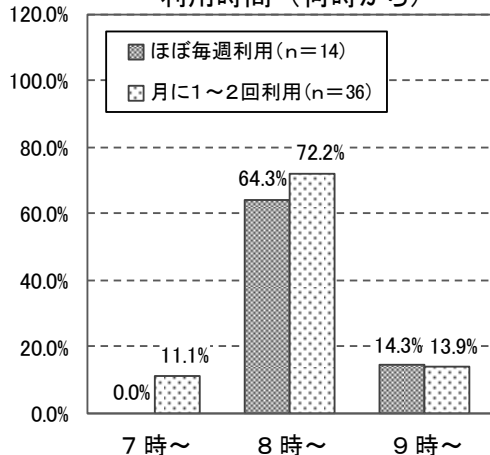
問 16-2 土曜日、日曜日・祝日の「学童クラブ」の利用希望。

「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、土曜日で43.1%、日曜日・祝日で23.3%となっています。

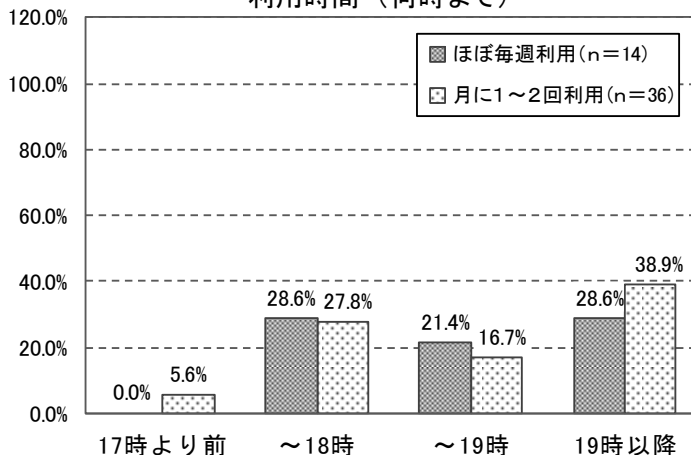


《土曜日の利用希望時間》

利用時間（何時から）

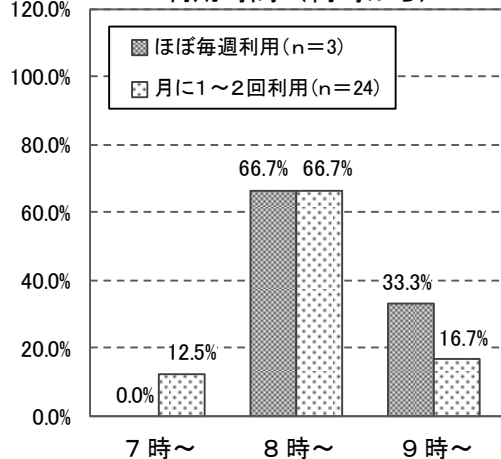


利用時間（何時まで）

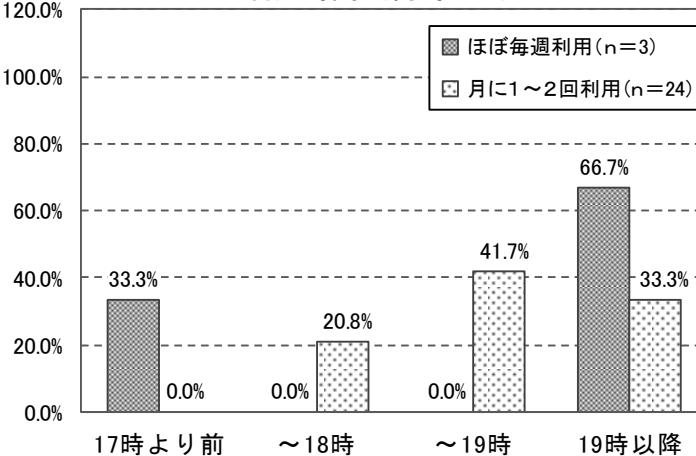


《日曜日・祝日の利用希望時間》

利用時間（何時から）



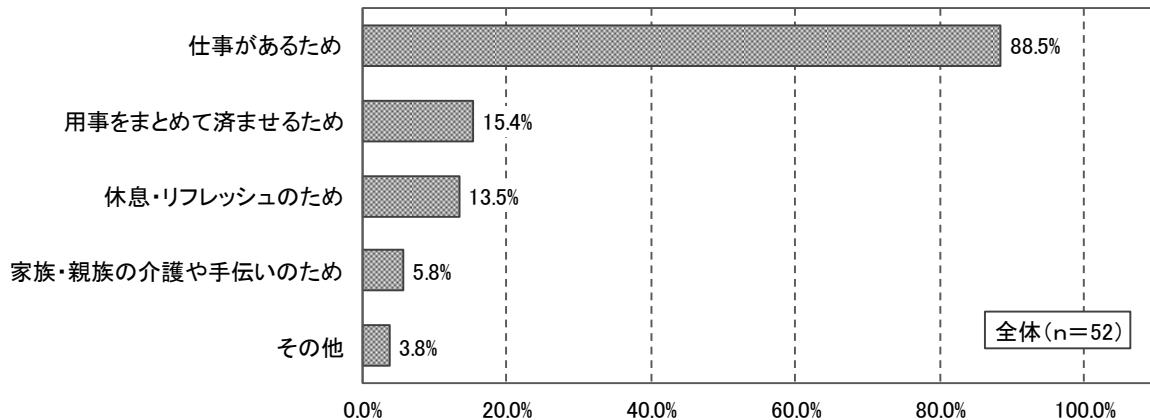
利用時間（何時まで）



◆問 16-2 で、「2. 」または「3. 」（利用したい）に○をつけた方。

問 16-3 土曜日、日曜日・祝日に利用したい理由。

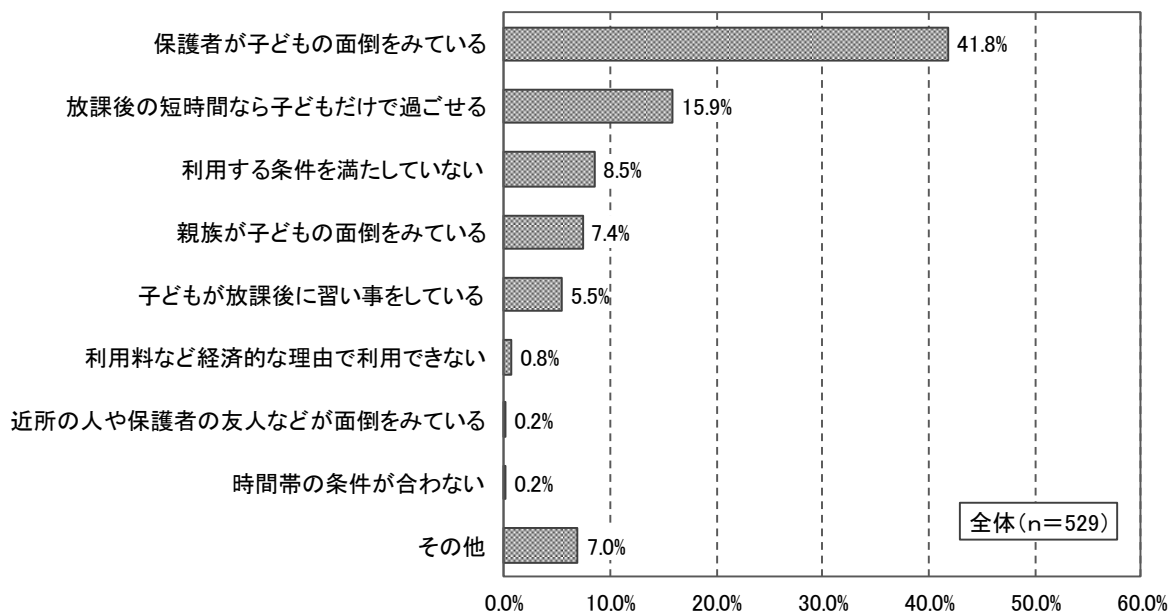
「仕事があるため」が88.5%と最も高く、次いで、「用事をまとめて済ませるため」(15.4%)、「休息・リフレッシュのため」(13.5%)の順となっています。



◆問 16 で、「1. 学童クラブで過ごす」に○をつけなかった方。

問 16-3 現在、「学童クラブ」を利用していない理由。

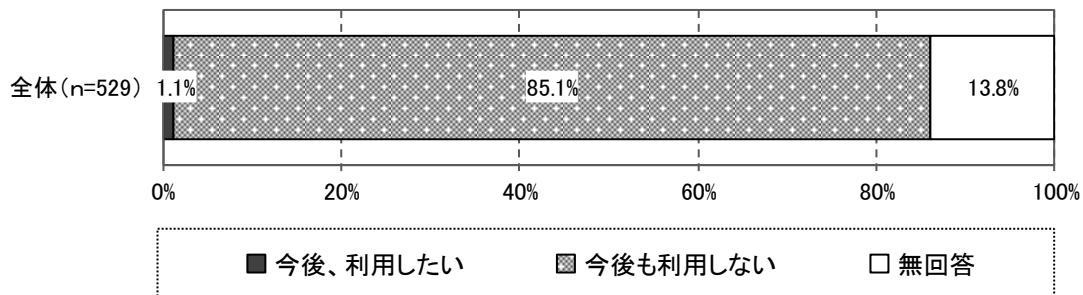
「保護者が子どもの面倒をみている」が41.8%と最も高く、次いで、「放課後の短時間なら子どもだけで過ごせる」(15.9%)、「利用する条件を満たしていない」(8.5%)の順となっています。



◆問 16 で、「1. 学童クラブで過ごす」に○をつけなかった方。

問 16-5 「学童クラブ」の今後の利用意向。

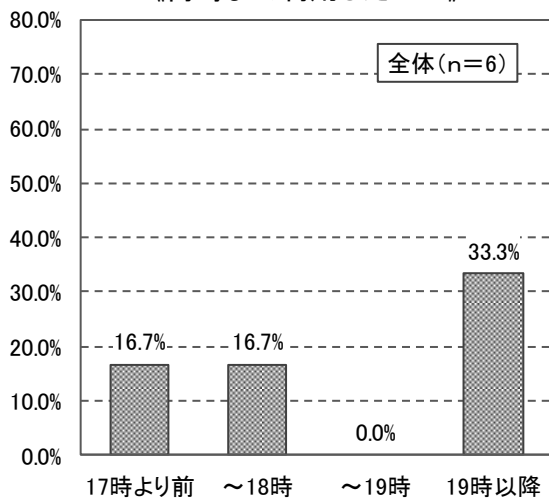
「今後、利用したい」が 1.1%、「今後も利用しない」が 85.1%となっています。



《利用したい日数》

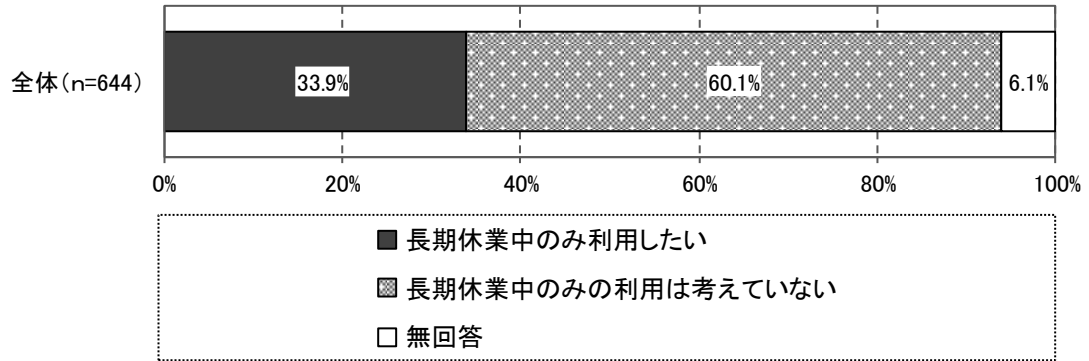
全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
6	0	0	2	0	2	2
	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%

《何時まで利用したいか》



問 16-6 夏休みなどの長期休業中のみ「学童クラブ」を利用したいか。

「長期休業中のみ利用したい」が33.9%、「長期休業中のみ利用は考えていない」が60.1%となっています。

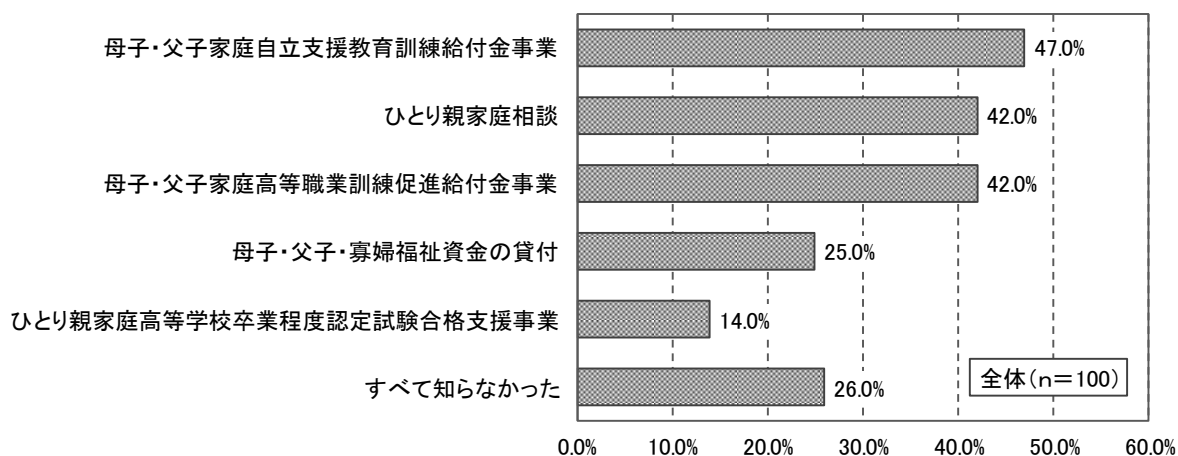


8. ひとり親家庭への支援や施策について

★「ひとり親家庭への支援や施策」（問 17～18）は、現在、ひとり親家庭である方を対象におうかがいしました。

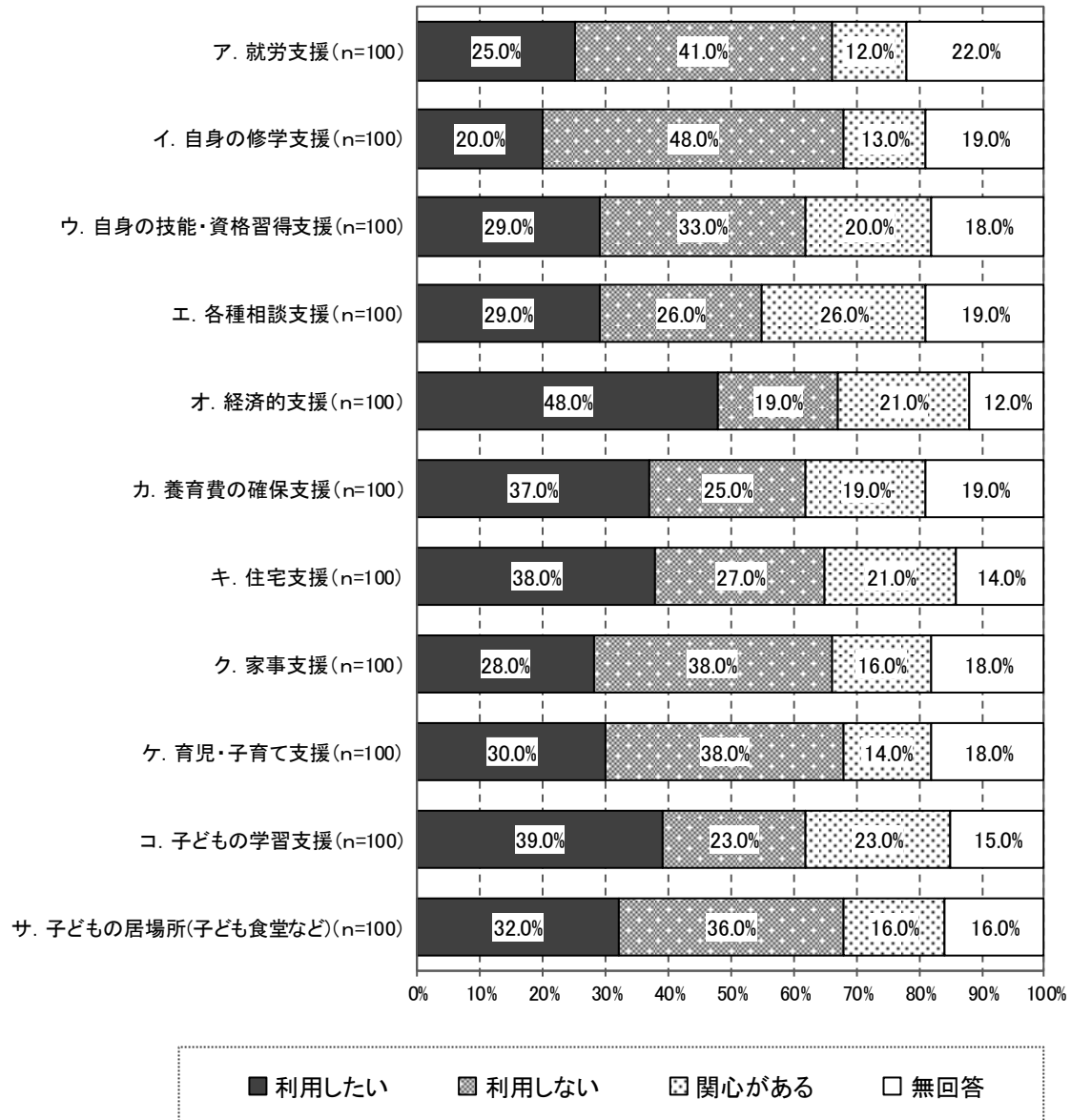
問 17 ひとり親家庭の生活の安定と自立促進を図るため、本市が実施している支援や施策を知っているか。【MA】

「母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金事業」が47.0%と最も高く、次いで、「ひとり親家庭相談」・「母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金事業」（42.0%で同率）の順となっています。



問 18 各支援や施策についての利用意向。

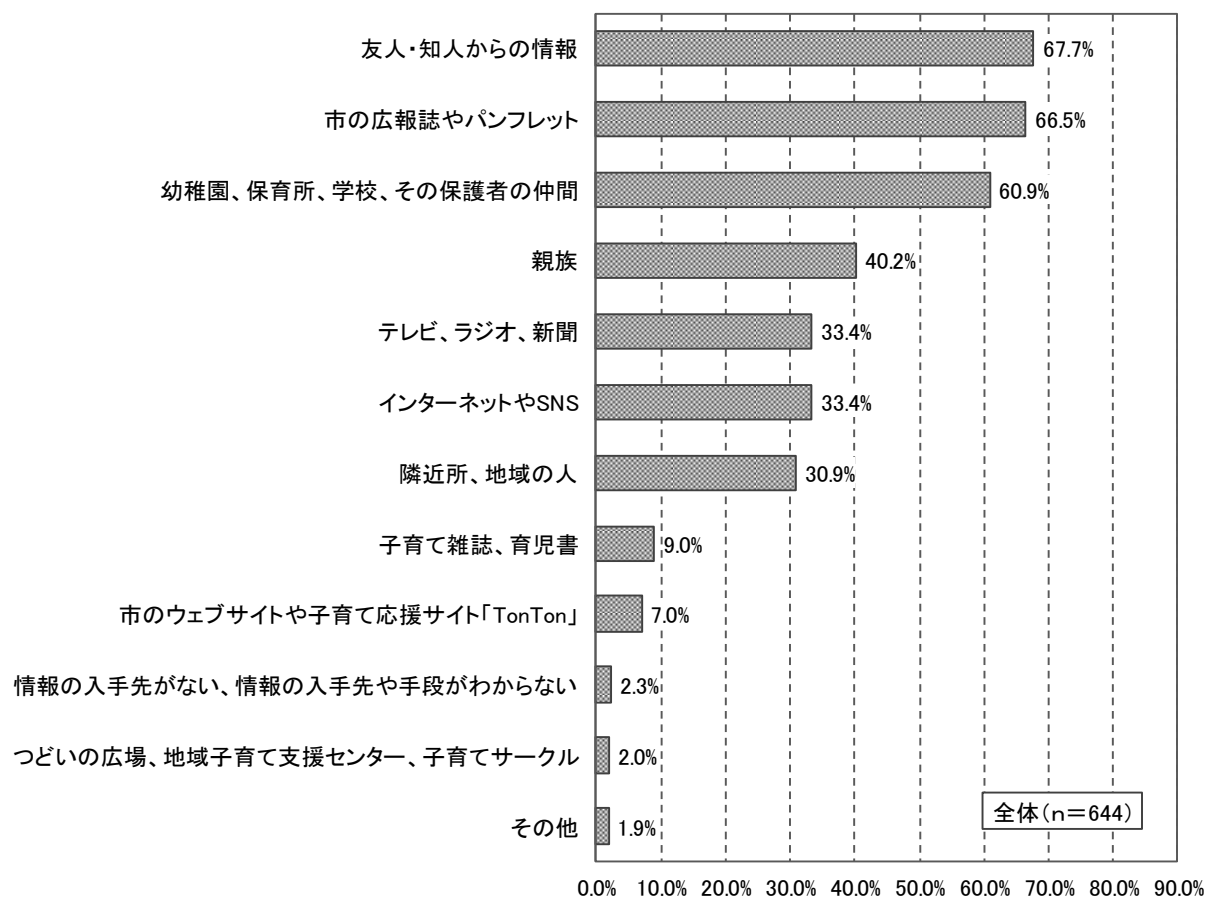
各支援や施策の利用意向について、「利用したい」が最も高いのは「オ. 経済的支援」（48.0%）であり、次いで、「コ. 子どもの学習支援」（39.0%）、「キ. 住宅支援」（38.0%）の順となっています。



9. 子育てに関する情報源について

問 19 子育てに必要な情報をどのようなところから入手しているか。【MA】

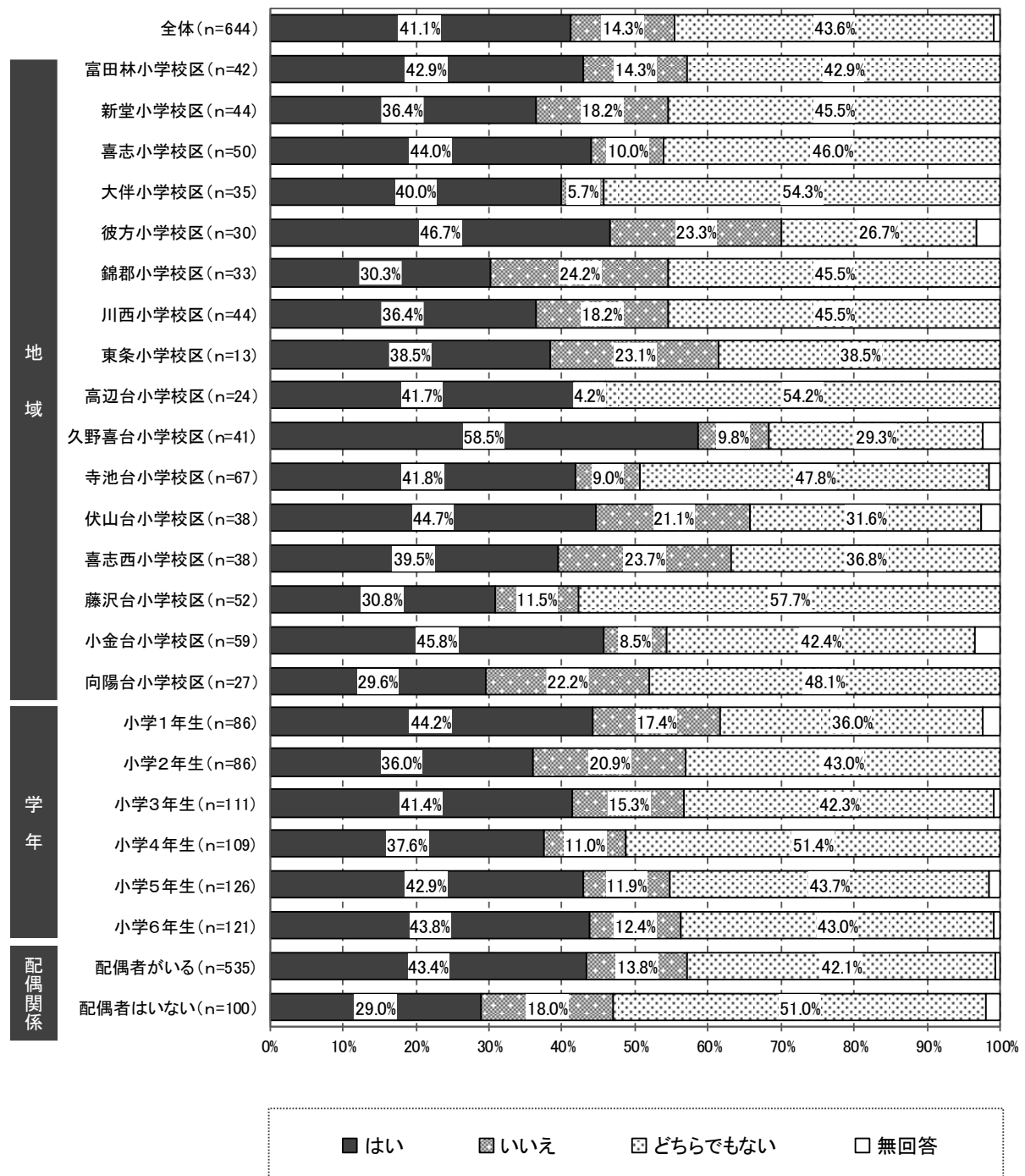
「友人・知人からの情報」が67.7%と最も高く、次いで、「市の広報誌やパンフレット」(66.5%)、「幼稚園、保育所、学校、その保護者の仲間」(60.9%)の順となっています。



10. 本市の子育て支援全般について

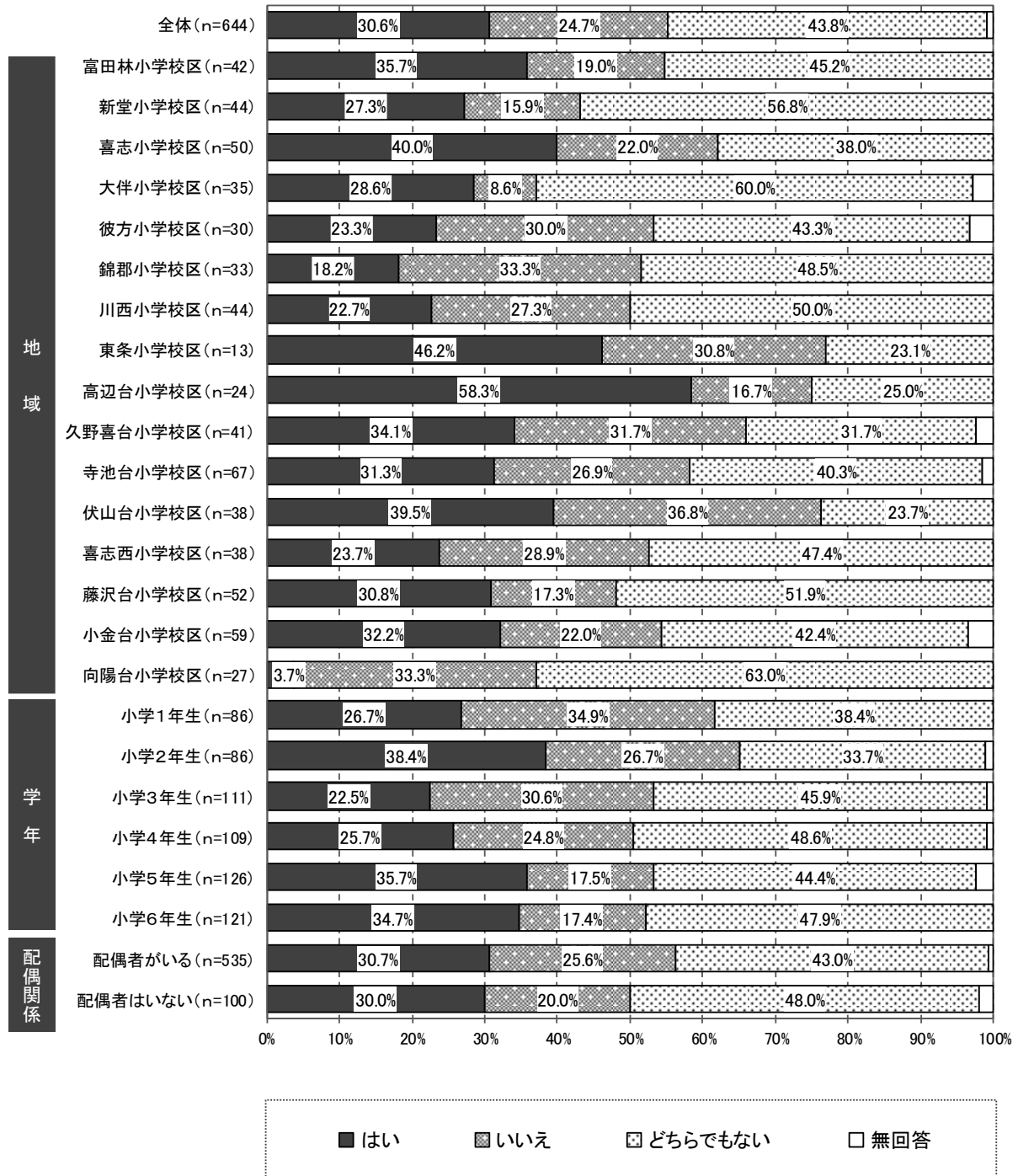
問 20ーア 幼児教育・保育の環境や子育て支援サービスに満足しているか。

全体では、「はい」が41.1%、「いいえ」が14.3%、「どちらでもない」が43.6%となっています。地域でみると、久野喜台で「はい」の割合が高く、錦郡・藤沢台・向陽台で「はい」の割合が低くなっています。配偶関係でみると、配偶者はいない（ひとり親家庭）で「はい」の割合が低くなっています。



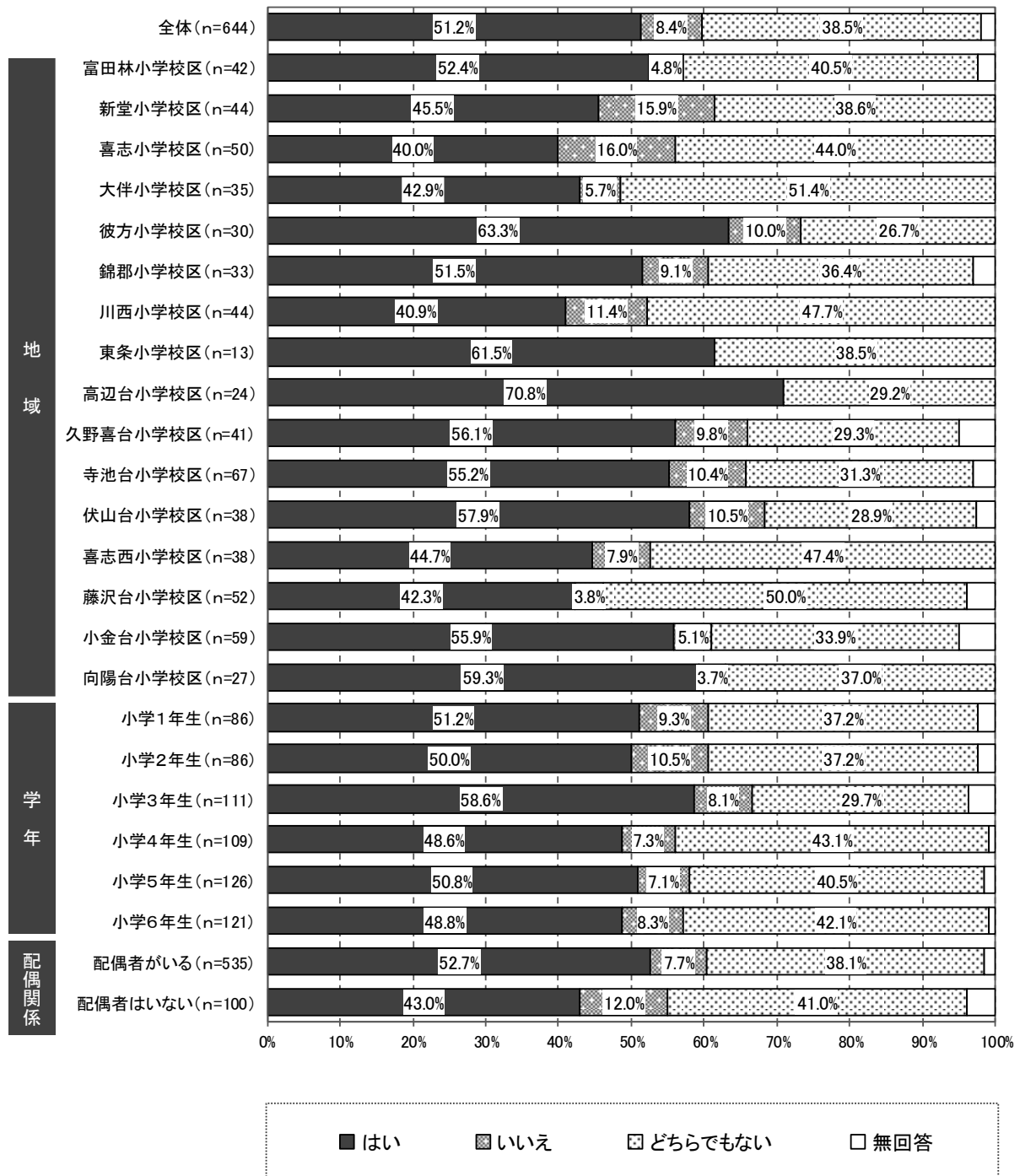
問 20ーイ 子どもがいても安心して働けると感じるか。

全体では、「はい」が30.6%、「いいえ」が24.7%、「どちらでもない」が43.8%となっています。地域でみると、喜志・東条・高辺台・伏山台で「はい」の割合が高く、彼方・錦郡・川西・喜志西・向陽台で「はい」の割合が低くなっています。



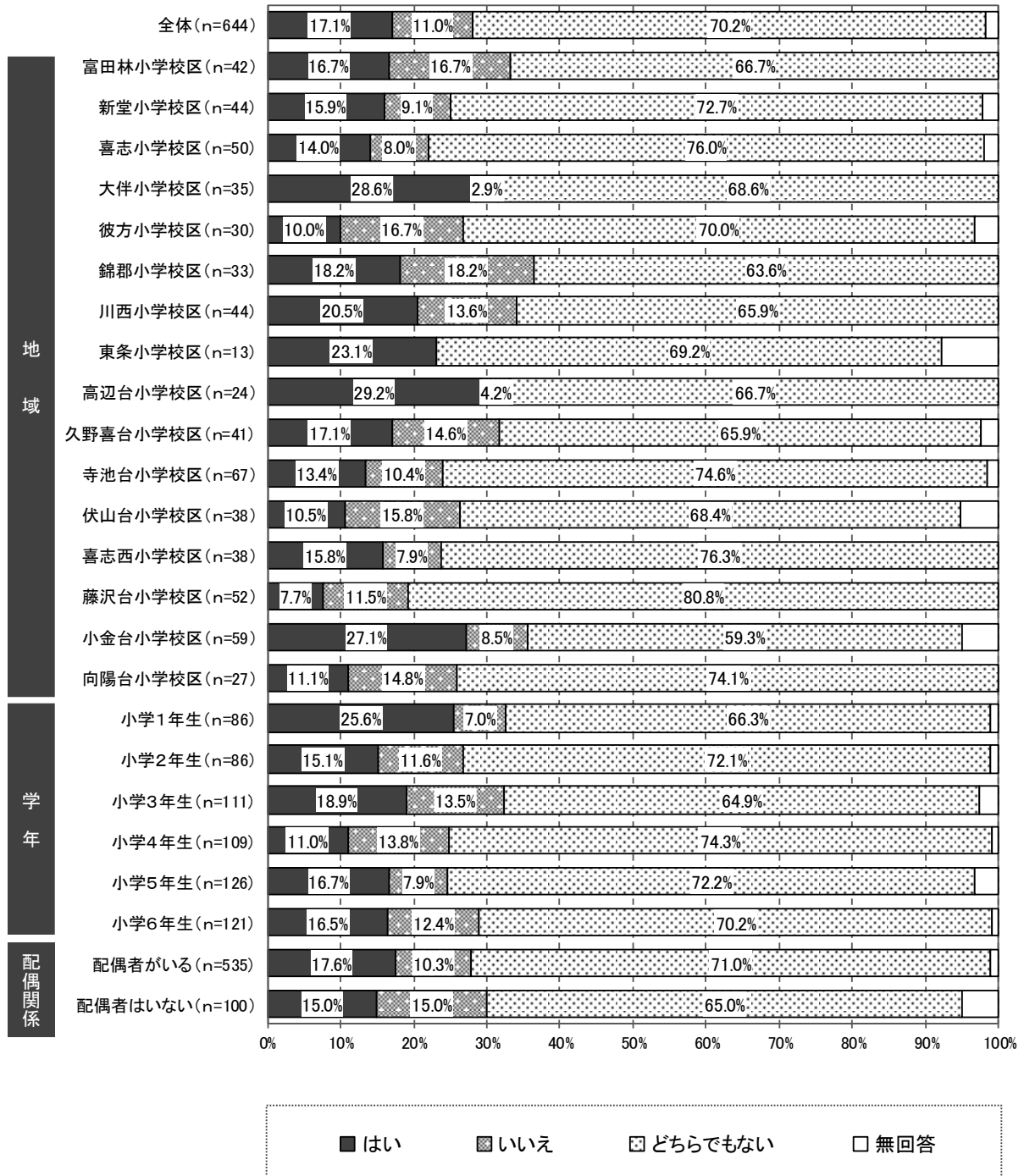
問 20-U 子どもにとって、本市が愛着のあるふるさととして認識され、成長できる環境にあると思うか。

全体では、「はい」が51.2%、「いいえ」が8.4%、「どちらでもない」が38.5%となっています。地域で見ると、彼方・東条・高辺台で「はい」の割合が高く、喜志・大伴・川西・喜志西・藤沢台で「はい」の割合が低くなっています。配偶関係で見ると、配偶者はいない（ひとり親家庭）で「はい」の割合が低くなっています。



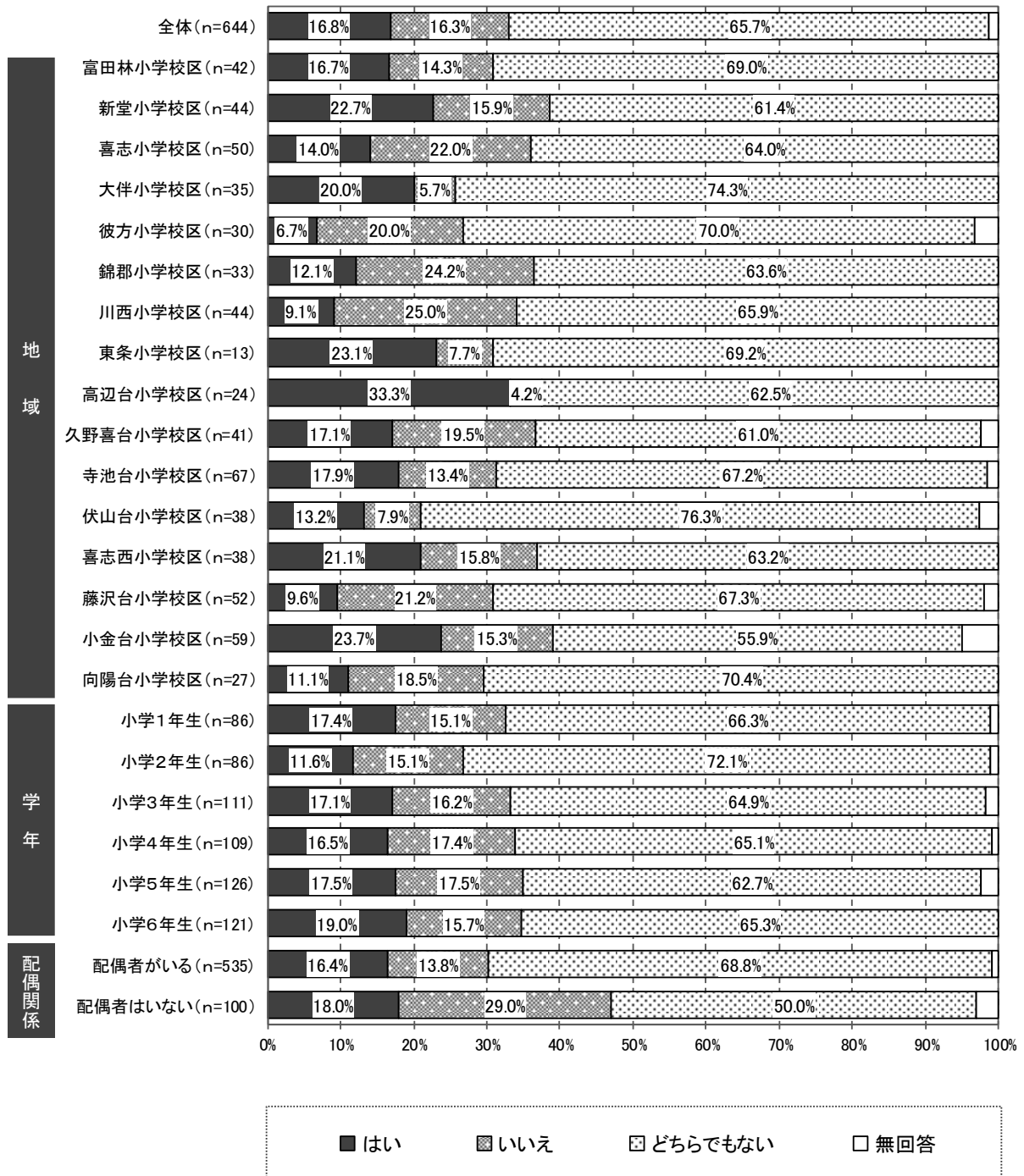
問 20-エ 障がいのある子どもを安心して育てられる環境であると感じるか。

全体では、「はい」が17.1%、「いいえ」が11.0%、「どちらでもない」が70.2%となっています。地域でみると、大伴・高辺台で「はい」の割合が高く、彼方・伏山台・藤沢台・向陽台で「はい」の割合が低くなっています。



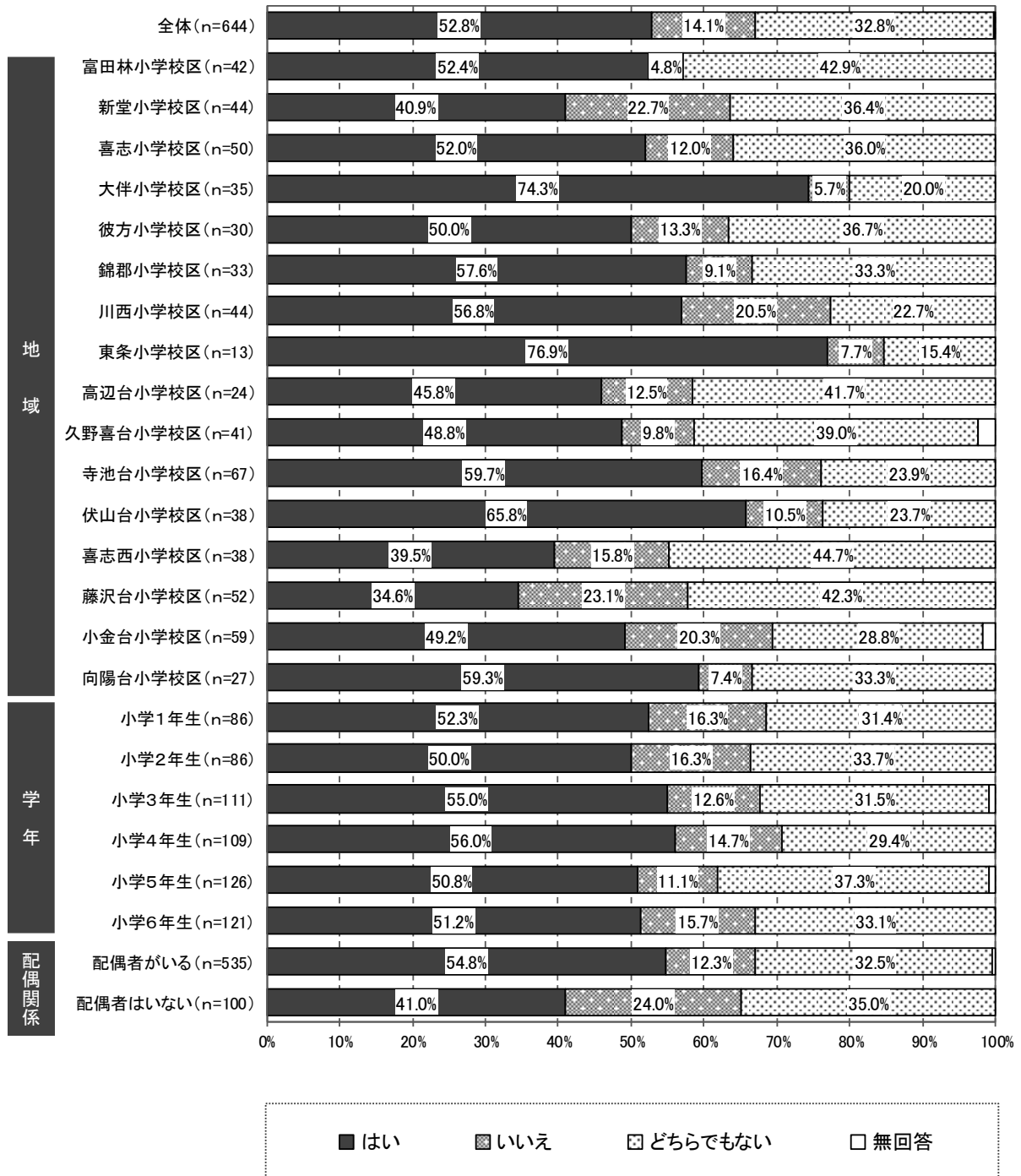
問 20-オ ひとり親世帯や核家族世帯が、子どもを安心して育てられる環境であると感じるか。

全体では、「はい」が16.8%、「いいえ」が16.3%、「どちらでもない」が65.7%となっています。地域でみると、高辺台で「はい」の割合が高く、彼方・川西・藤沢台で「はい」の割合が低くなっています。



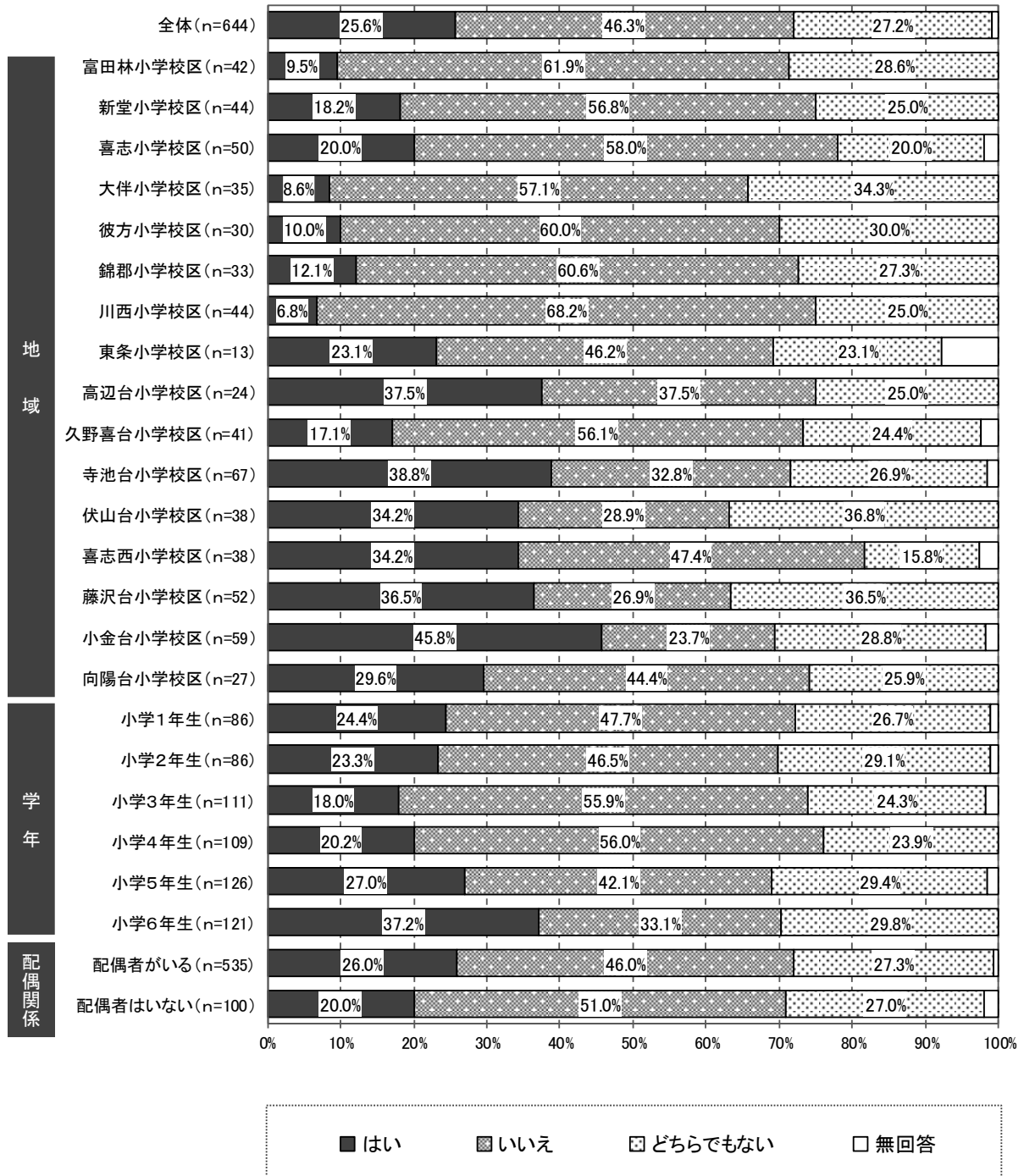
問 20ーカ 子育てが地域の人たちに支えられていると感じるか。

全体では、「はい」が52.8%、「いいえ」が14.1%、「どちらでもない」が32.8%となっています。地域でみると、大伴・東条・伏山台で「はい」の割合が高く、新堂・喜志西・藤沢台で「はい」の割合が低くなっています。配偶関係でみると、配偶者はいない（ひとり親家庭）で「はい」の割合が低くなっています。



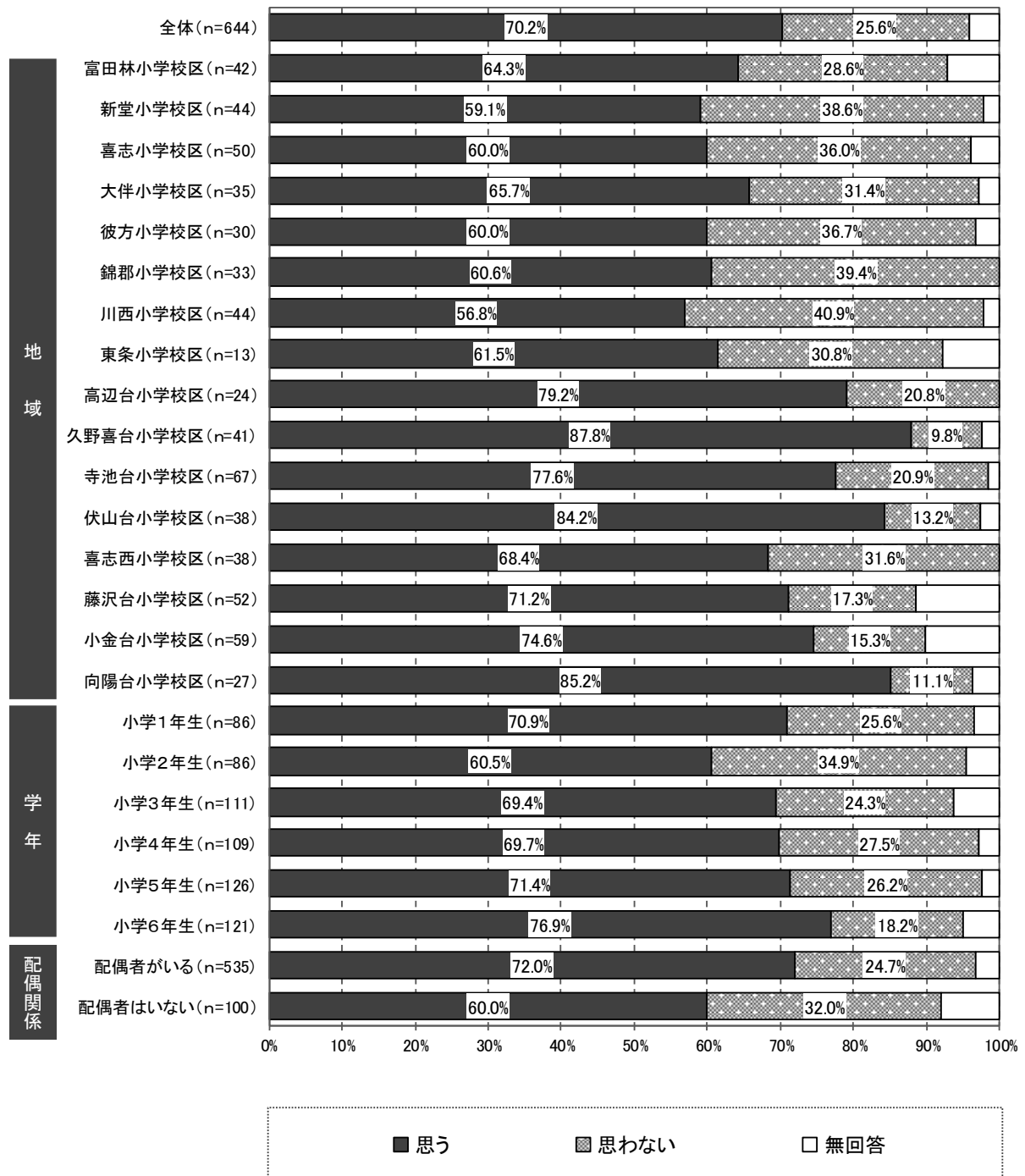
問 20ーキ 公園や遊具など遊び場が充実していると思うか。

全体では、「はい」が25.6%、「いいえ」が46.3%、「どちらでもない」が27.2%となっています。地域でみると、高辺台・寺池台・伏山台・喜志西・藤沢台・小金台で「はい」の割合が高く、富田林・大伴・彼方・錦郡・川西で「はい」の割合が低くなっています。



問 21 富田林市は、子育てしやすいまちだと思うか。

全体では、「はい」が70.2%、「いいえ」が25.6%となっています。地域でみると、高辺台・久野喜台・寺池台・伏山台・向陽台で「はい」の割合が高く、新堂・喜志・彼方・錦郡・川西・東条で「はい」の割合が低くなっています。配偶関係でみると、配偶者はいない（ひとり親家庭）で「はい」の割合が低くなっています。



「第2期富田林市子ども・子育て支援計画」策定のための
ニーズ調査

《報告書》

令和元年6月

企画・編集 富田林市 子育て福祉部 こども未来室